
田辺市
第6期障害福祉計画及び
第2期障害児福祉計画策定に係る
アンケート調査報告書

令和2年 11 月
田辺市

～目次～

調査の概要	1
I 回答者の基本的事項について	3
II 生活支援について	17
III 福祉サービスについて	29
IV 医療・保健について.....	42
V 仕事や日中の生活について	47
VI 生活全般について	62
VII 災害時などの緊急時の避難について.....	64
VIII 差別や偏見について	70
IX 障害者施策に対する希望と実態について	75
X 家庭内の主な介助者の方の状況について	84

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、田辺市第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画を策定するにあたり、障害のある方の生活状況や福祉サービスの利用状況、利用意向、ご意見等を把握し、計画策定の基礎資料として、田辺市の実情を反映した障害者福祉の推進を図ることを目的に実施しました。

2. 調査項目

- (1)調査対象者の基本的な事柄(性別・年齢・所持手帳等級・生活場所等)
- (2)障害者福祉サービス利用状況、今後の利用意向等

3. 調査設計

- 調査地域 : 田辺市全域
調査対象者 : 令和2年7月現在、田辺市に住んでいる身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者
調査期間 : 令和2年8月13日(木)～令和2年8月30日(日)
調査方法 : 調査票による本人記入方式(本人が記入できない場合は家族等) 郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

4. 回収結果

所持手帳		調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
合計		2,000	953	47.7%
内 訳	身体障害者手帳		542	
	療育手帳		289	
	精神障害者保健福祉手帳		188	

※各種手帳の有効回収数は、調査票に記入された所持手帳を手帳ごとに合計した件数です。そのため、重複して所持されている方がいるため、各手帳の合計数は調査票回収合計数を上回っています。

5. 報告書の見方

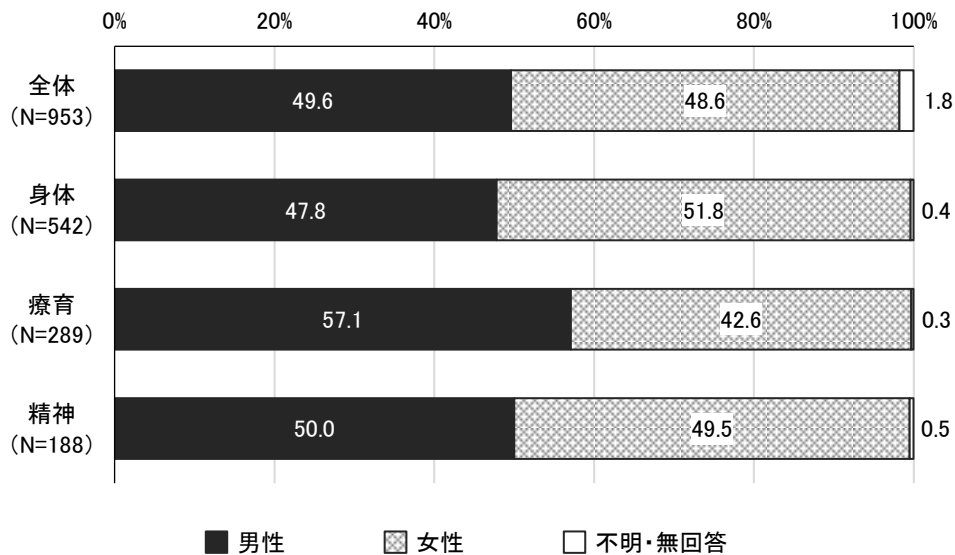
- 回答結果は、少数点第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表のN数は、有効標本数(集計対象者総数)を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 分析文の記載に当たって、「その他」を除外して記載しています。

I 回答者の基本的事項について

問1 性別(SA)

性別についてみると、「男性」が49.6%、「女性」が48.6%となっています。

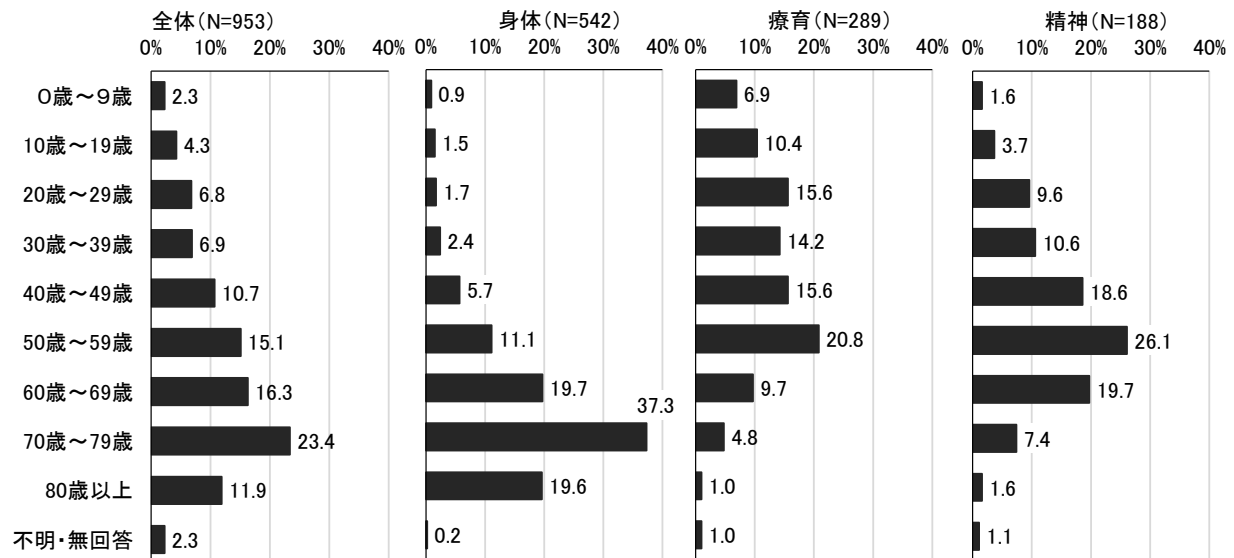
また、所持手帳別にもと、【身体】では「女性」が51.8%、【療育】では「男性」が57.1%、【精神】では「男性」が50.0%となっています。



問2 年齢(数量)

年齢についてみると、「70歳～79歳」が23.4%と最も高く、次いで「60歳～69歳」が16.3%、「50歳～59歳」が15.1%となっています。

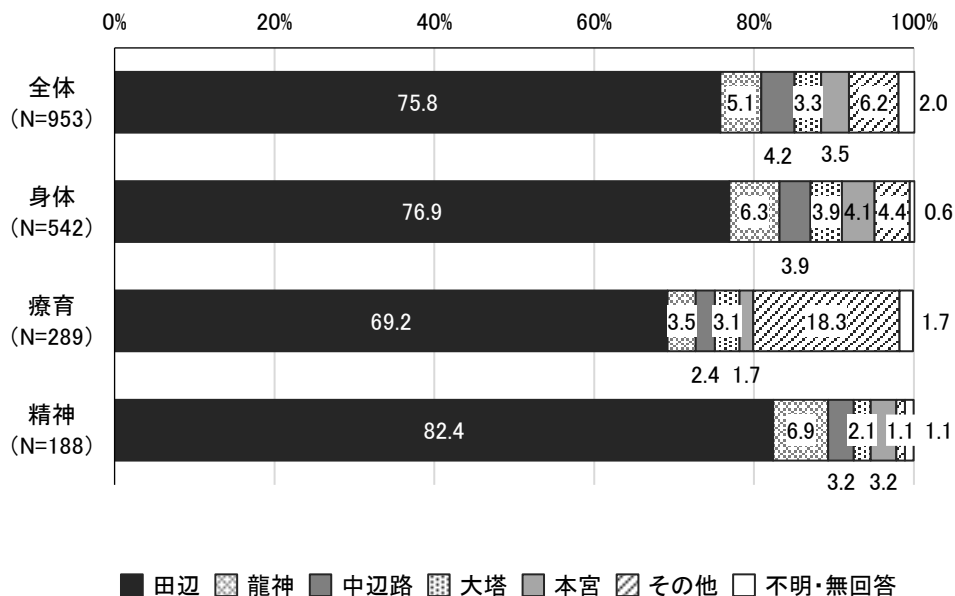
また、所持手帳別にもと、【身体】では「70歳～79歳」が37.3%、【療育】では「50歳～59歳」が20.8%、【精神】では「50歳～59歳」が26.1%とそれぞれ最も高くなっています。



問3 居住地区(SA)

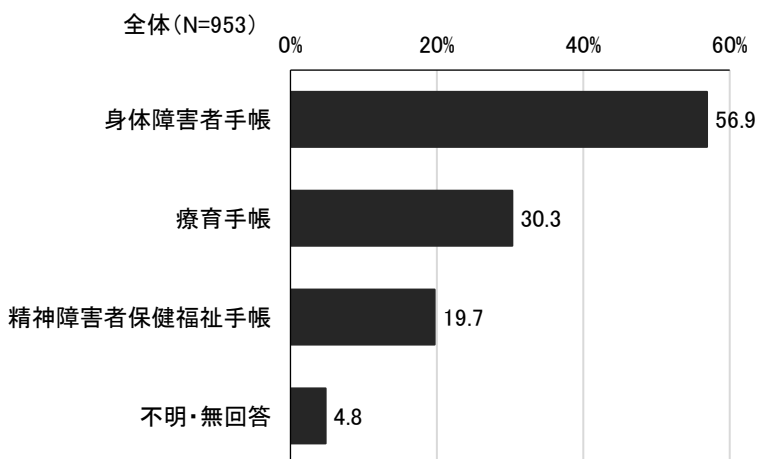
居住地区についてみると、「田辺」が75.8%と最も高く、次いで「龍神」が5.1%、「中辺路」が4.2%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「田辺」が76.9%、【療育】では「田辺」が69.2%、【精神】では「田辺」が82.4%とそれぞれ最も高くなっています。



問4 所持手帳(MA)

所持手帳についてみると、「身体障害者手帳」が56.9%、「療育手帳」が30.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が19.7%となっています。



内容	件数
関節機能の障害	26
脳性麻痺	5
指の欠損・機能障害	4
免疫機能障害	3

内容	件数
脳挫傷による障害	2
左下肢機能全廃	1
右大腿機能障害	1
右下肢機能障害	1

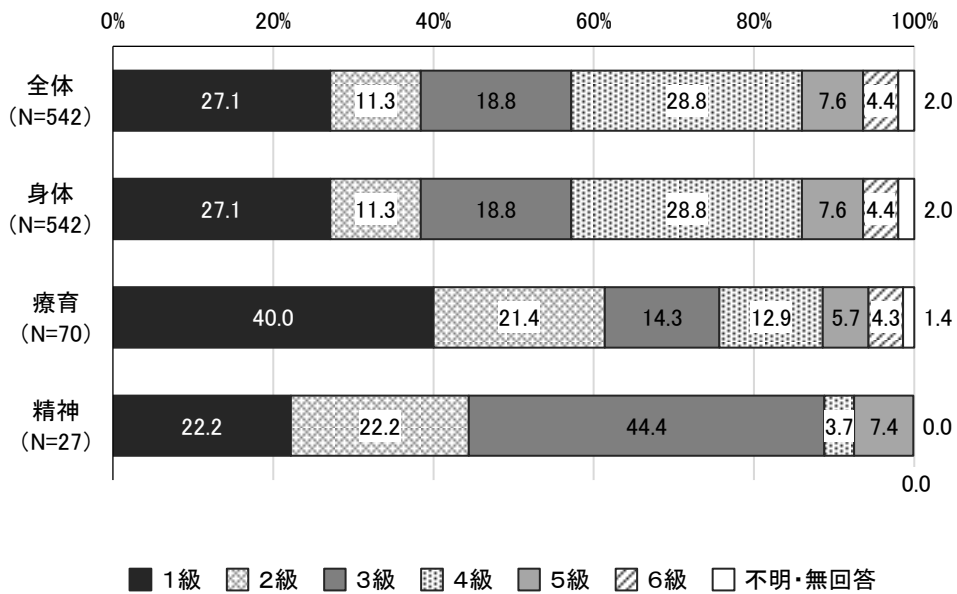
内容	件数
リマウチ	1
膝の障害	1
その他	4

身体障害者手帳を所持している方のみ

問4 「身体障害者手帳」の等級(SA)

「身体障害者手帳」の等級についてみると、「4級」が 28.8%と最も高く、次いで「1級」が 27.1%、「3級」が 18.8%となっています。

また、所持手帳別にみると、【療育】では「1級」が 40.0%、【精神】では「3級」が 44.4%とそれぞれ最も高くなっています。



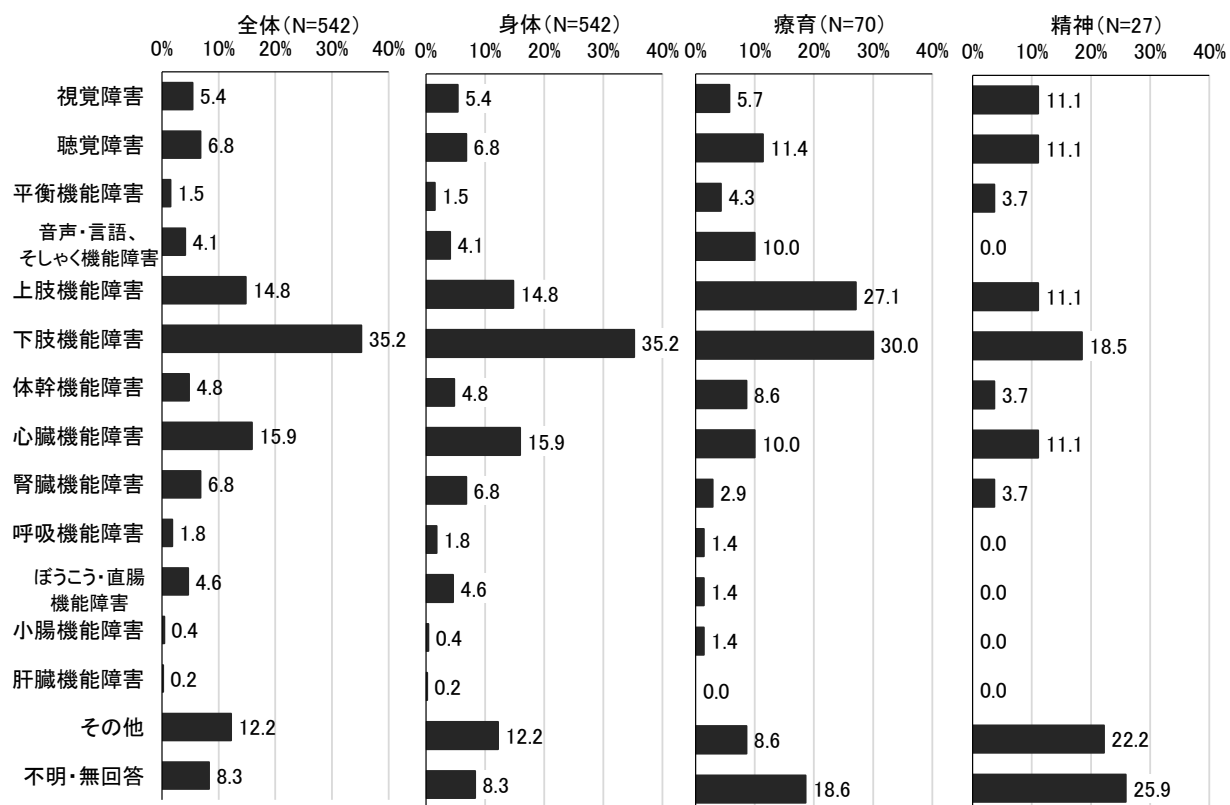
※身体障害者手帳所持者を対象としているため、【全体】と【身体】は同じデータですが、他のグラフとの体裁を統一するため、便宜上併記しています。以下、【療育】【精神】についても同様。

身体障害者手帳を所持している方のみ

問4 どのような障害ですか(MA)

どのような障害ですかについてみると、「下肢機能障害」が 35.2%と最も高く、次いで「心臓機能障害」が 15.9%、「上肢機能障害」が 14.8%となっています。

また、所持手帳別にみると、【療育】では「下肢機能障害」が 30.0%、【精神】では「その他」が 22.2%とそれぞれ最も高くなっています。

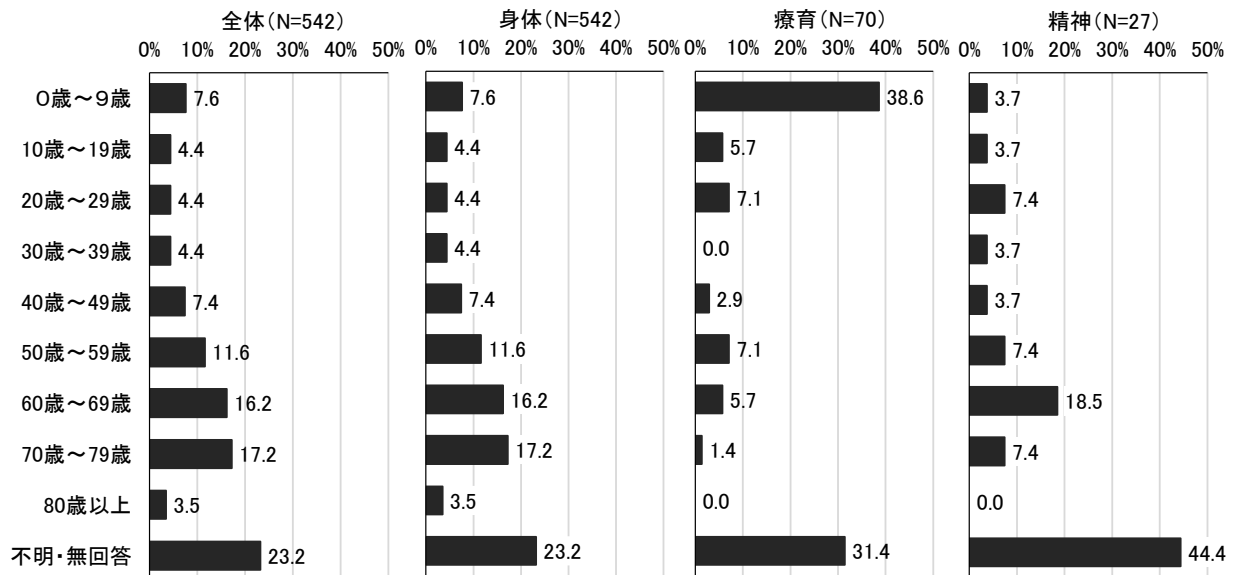


身体障害者手帳を所持している方のみ

問4 身体障害者手帳を初めて取得したのは、何歳でしたか(数量)

身体障害者手帳を初めて取得した年齢についてみると、「70歳～79歳」が17.2%と最も高く、次いで「60歳～69歳」が16.2%、「50歳～59歳」が11.6%となっています。

また、所持手帳別にみると、【療育】では「0歳～9歳」が38.6%、【精神】では「60歳～69歳」が18.5%とそれぞれ最も高くなっています。

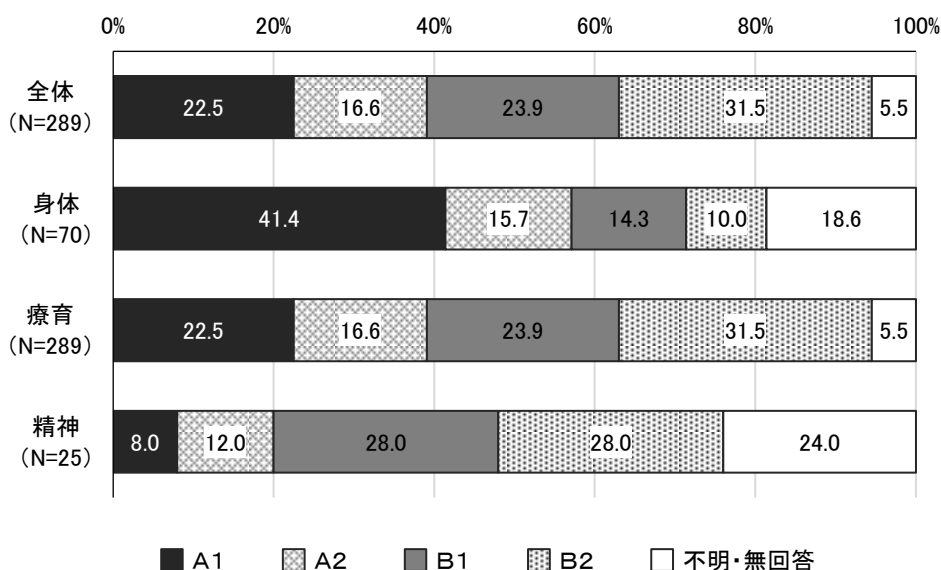


療育手帳を所持している方のみ

問4 「療育手帳」の等級(SA)

療育手帳の等級についてみると、「B2」が31.5%と最も高く、次いで「B1」が23.9%、「A1」が22.5%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「A1」が41.4%、【精神】では「B1」「B2」がともに28.0%とそれぞれ最も高くなっています。

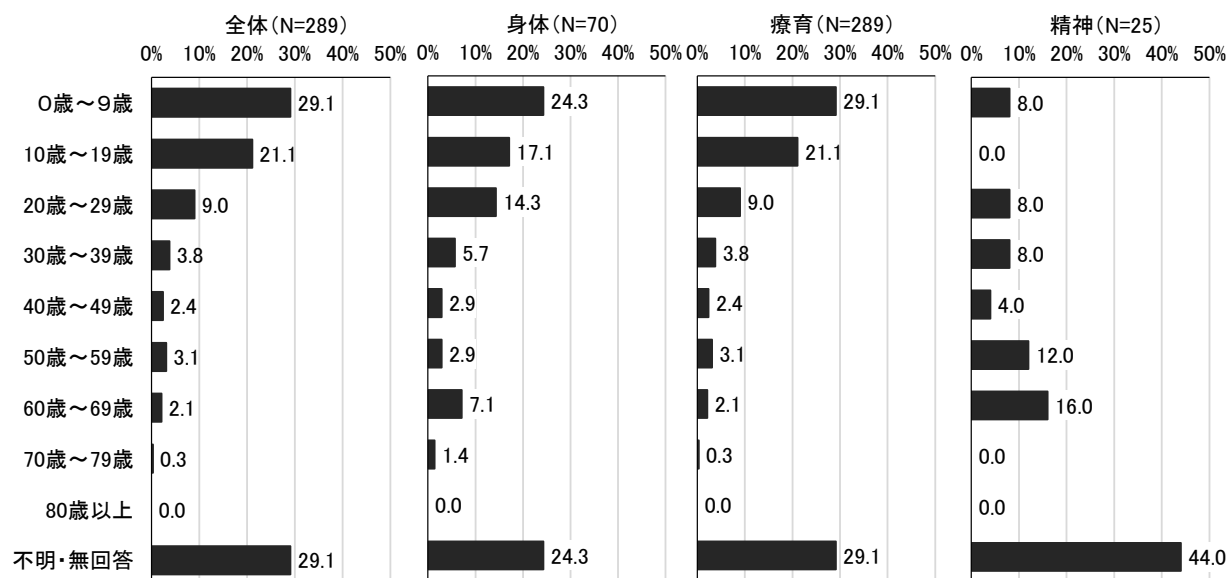


療育手帳を所持している方のみ

問4 療育手帳を初めて取得したのは、何歳でしたか(数量)

療育手帳を初めて取得したのは、何歳でしたかについてみると、「0歳～9歳」が 29.1%と最も高く、次いで「10歳～19歳」が 21.1%、「20歳～29歳」が 9.0%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「0歳～9歳」が 24.3%、【精神】では「60歳～69歳」が 16.0%とそれぞれ最も高くなっています。

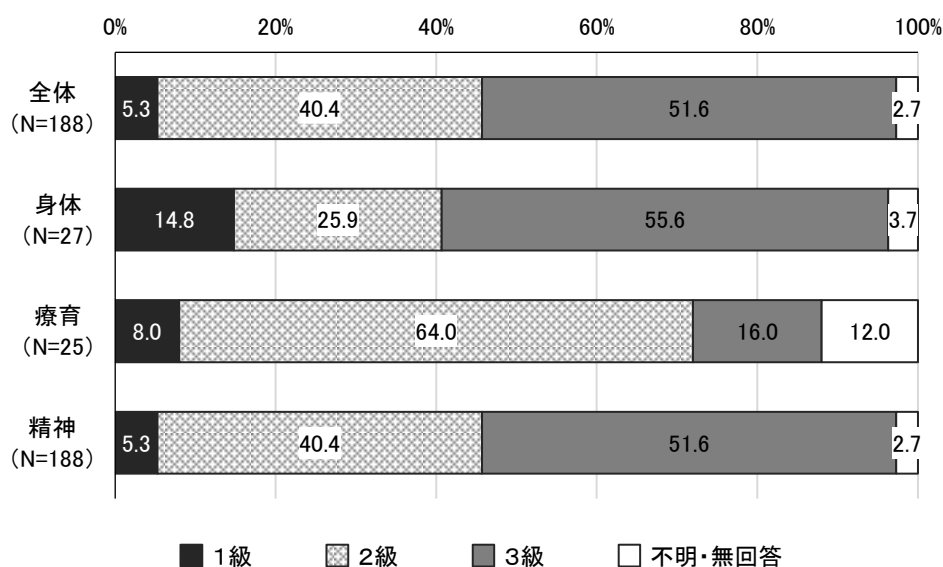


精神障害者保健福祉手帳を所持している方のみ

問4 「精神障害者保健福祉手帳」の等級(SA)

精神障害者保健福祉手帳の等級についてみると、「3級」が 51.6%と最も高く、次いで「2級」が 40.4%、「1級」が 5.3%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「3級」が 55.6%、【療育】では「2級」が 64.0%とそれぞれ最も高くなっています。

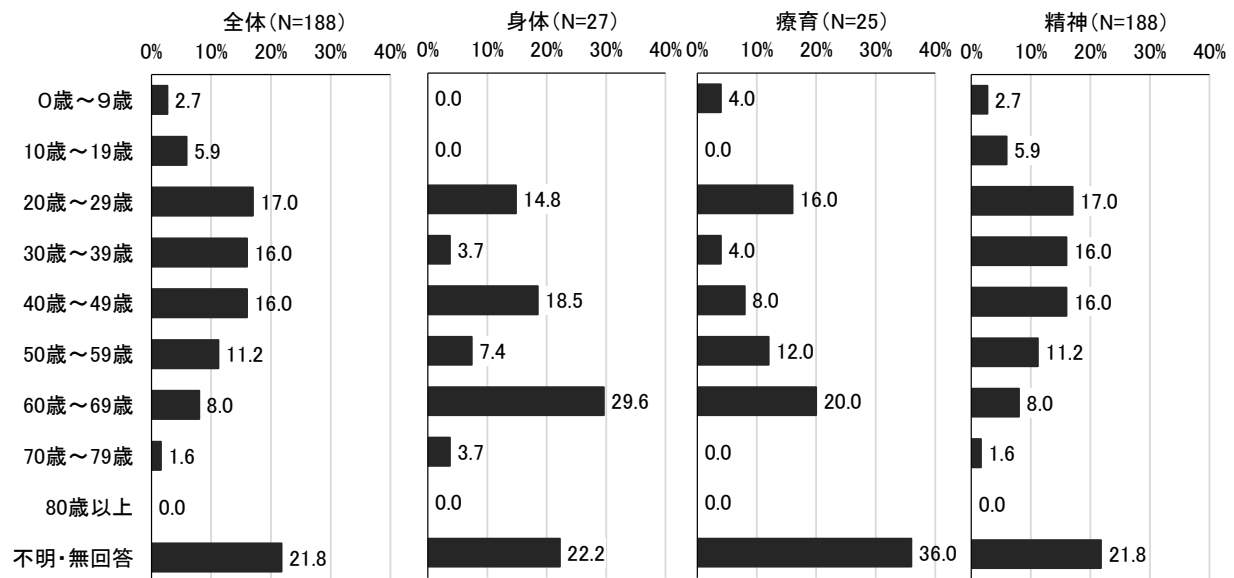


精神障害者保健福祉手帳を所持している方のみ

問4 精神障害者保健福祉手帳を初めて取得したのは、何歳でしたか(数量)

精神障害者保健福祉手帳を初めて取得した年齢についてみると、「20歳～29歳」が17.0%と最も高く、次いで「30歳～39歳」が16.0%、「40歳～49歳」が16.0%となっています。

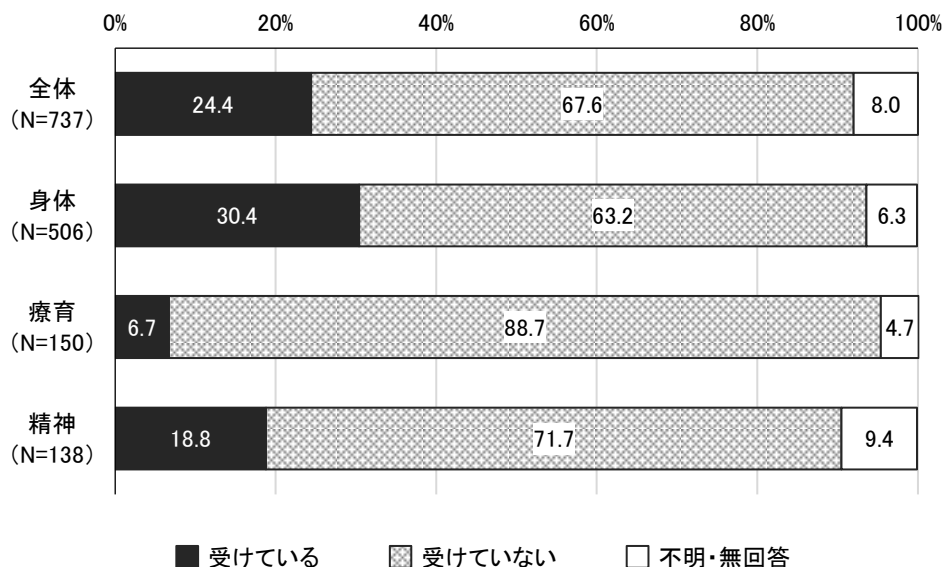
また、所持手帳別にみると、【身体】では「60歳～69歳」が29.6%、【療育】では「60歳～69歳」が20.0%とそれぞれ最も高くなっています。



問5 介護保険法の要介護認定を受けていますか(SA)

介護保険法の要介護認定を受けているかについてみると、「受けていない」が67.6%、「受けている」が24.4%となっています。

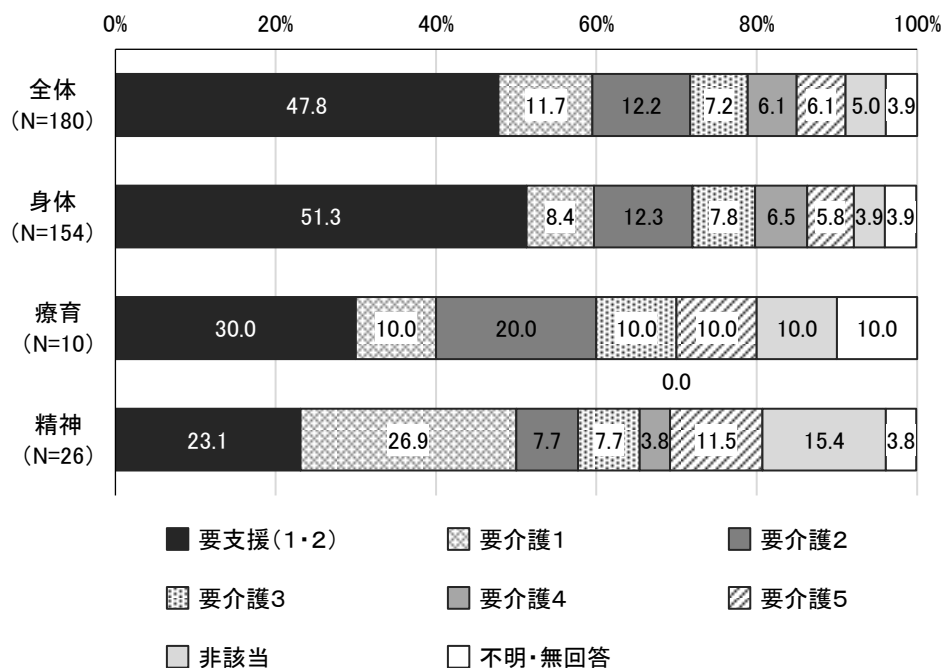
また、所持手帳別にみると、【身体】では「受けていない」が63.2%、【療育】では「受けていない」が88.7%、【精神】では「受けていない」が71.7%となっています。



問5 要介護度(SA)

要介護度についてみると、「要支援(1・2)」が47.8%と最も高く、次いで「要介護2」が12.2%、「要介護1」が11.7%となっています。

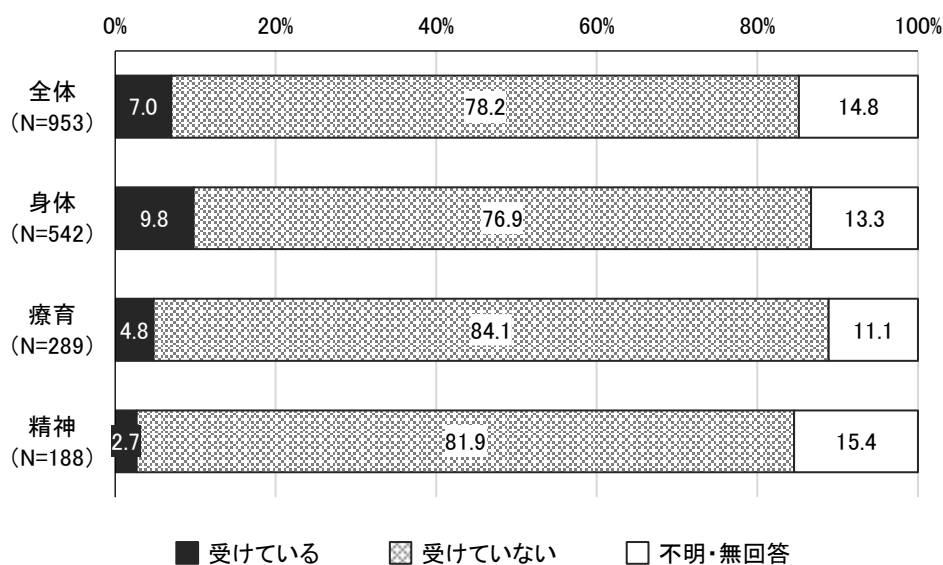
また、所持手帳別にみると、【身体】では「要支援(1・2)」が51.3%、【療育】では「要支援(1・2)」が30.0%、【精神】では「要介護1」が26.9%とそれぞれ最も高くなっています。



問6 難病(指定難病)の認定を受けていますか(SA)

難病(指定難病)の認定状況についてみると、「受けていない」が78.2%、「受けている」が7.0%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「受けていない」が76.9%、【療育】では「受けていない」が84.1%、【精神】では「受けていない」が81.9%となっています。

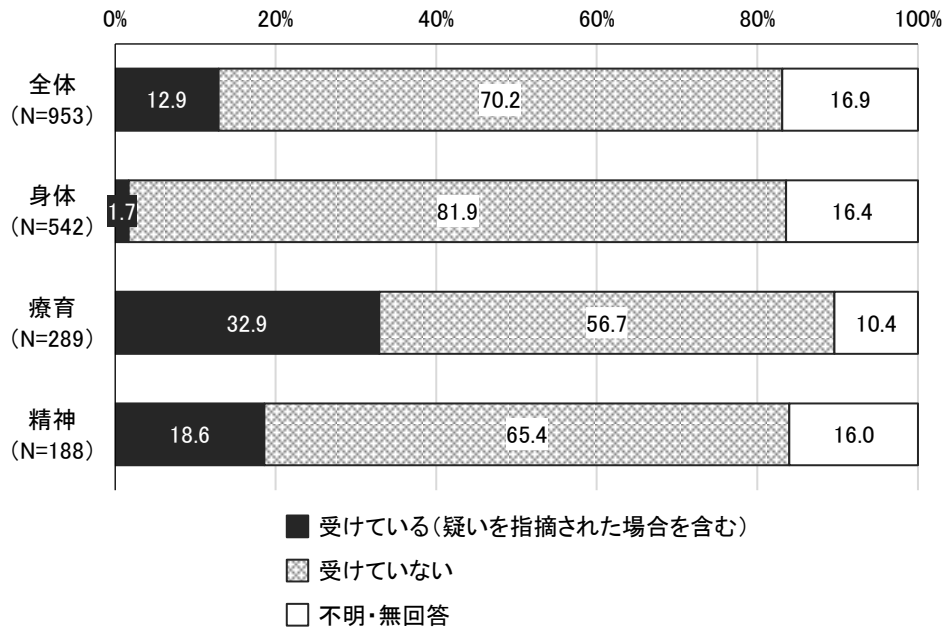


内容	件数	内容	件数	内容	件数
リウマチ	3	橋本病	1	後縦靭帯骨化症	1
シェーグレン症候群	3	特発性拡張型心筋症	1	間質性肺炎	1
膠原病	3	バージャー病	1	網膜色素変性症	1
パーキンソン病	2	高安動脈炎	1	網膜色素変性症	1
筋ジストロフィー症	2	腎臓機能障害	1	黄斑ジストロフィー	1
もやもや病	2	中枢性尿崩症	1	原発性胆汁性	1
特発性大腿骨頭壊死症	2	低カリウム血症	1	全身性エリテマトーデス	1
慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1	ミオパチー	1	プラダーウィリー症候群	1
レックリングハウゼン病	1	自己免疫性溶血性貧血	1	糖尿病	1
多発性筋炎	1	常染色体優性多発性嚢胞腎	1	腎不全	1
進行性核上性麻痺	1	透析中	1		
脊髄小脳変性症	1	ハンチントン病	1		
ベーチェット病	1	全前脳胞症	1		
		てんかん	1		

問7 発達障害(広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など)の診断を受けていますか(SA)

発達障害の診断を受けているかについてみると、「受けていない」が70.2%、「受けている(疑いを指摘された場合を含む)」が12.9%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「受けていない」が81.9%、【療育】では「受けていない」が56.7%、【精神】では「受けていない」が65.4%となっています。



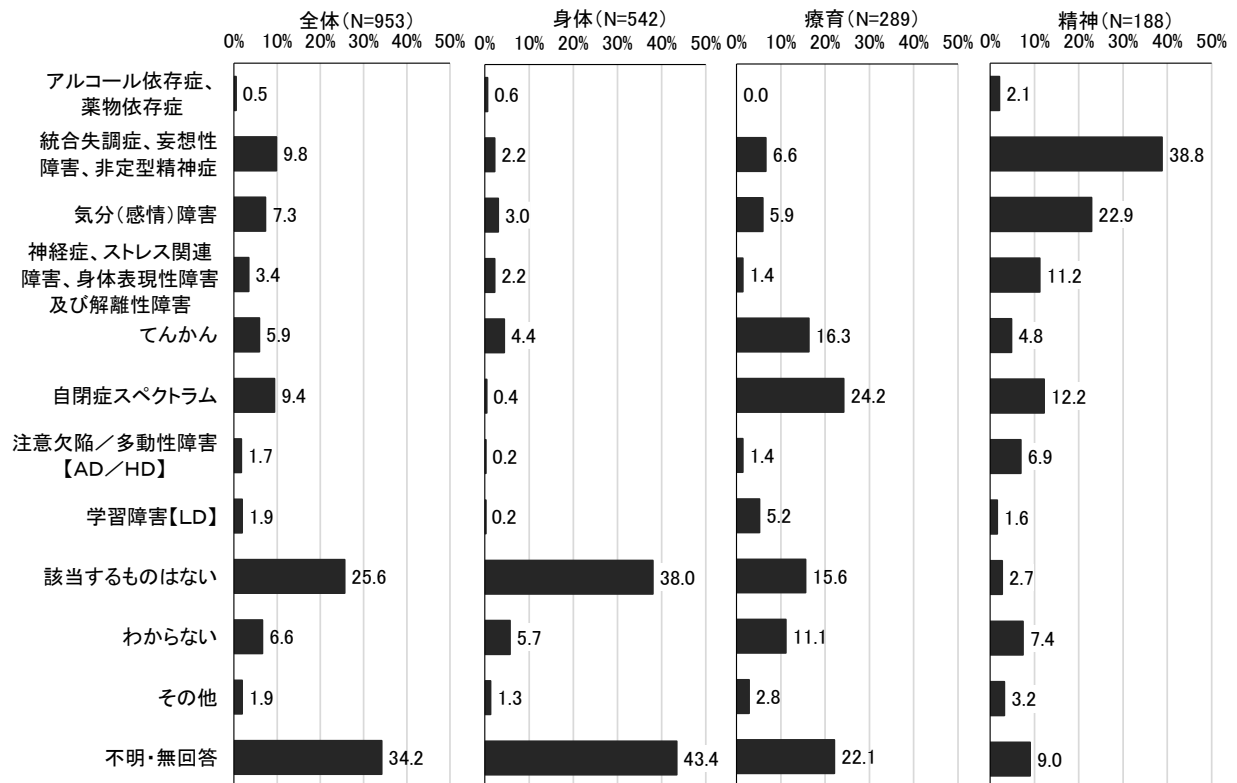
内容	件数
パニック障害	3
プラダーウィリー症候群	2
知的障害	2
解離性障害	1
PTSD	1
摂食障害	1
腎臓機能障害	1
右手4指機能の著しい障害	1
左手全指機能の軽度の障害	1
左股関節機能障害	1

内容	件数
軽い脳梗塞のため右腕が不自由	1
顔面神経麻痺	1
運動障害、手足のしびれ	1
圧迫骨折	1
ダウン症	1
不安障害	1
依存性パーソナリティ障害	1
高次脳機能障害	1
気分変調症	1
てんかん性精神病	1

問8 該当する症状について (MA)

該当する症状についてみると、「該当するものはない」が25.6%と最も高く、次いで「統合失調症、妄想性障害、非定型精神症」が9.8%、「自閉症スペクトラム」が9.4%となっています。

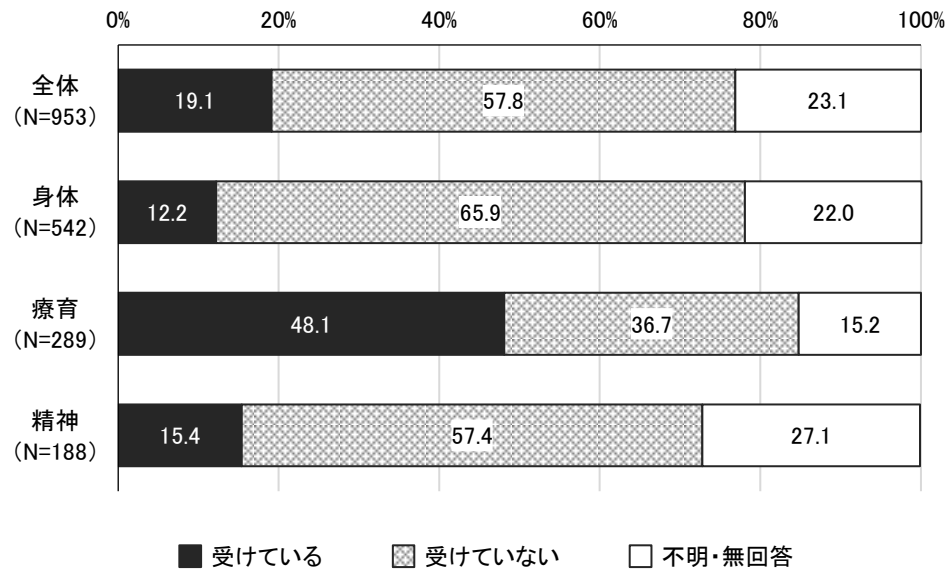
また、所持手帳別にみると、【身体】では「該当するものはない」が38.0%、【療育】では「自閉症スペクトラム」が24.2%、【精神】では「統合失調症、妄想性障害、非定型精神症」が38.8%とそれぞれ最も高くなっています。



問9 障害者総合支援法の障害支援区分を受けていますか(SA)

障害者総合支援法の障害支援区分についてみると、「受けていない」が 57.8%、「受けている」が 19.1%となっています。

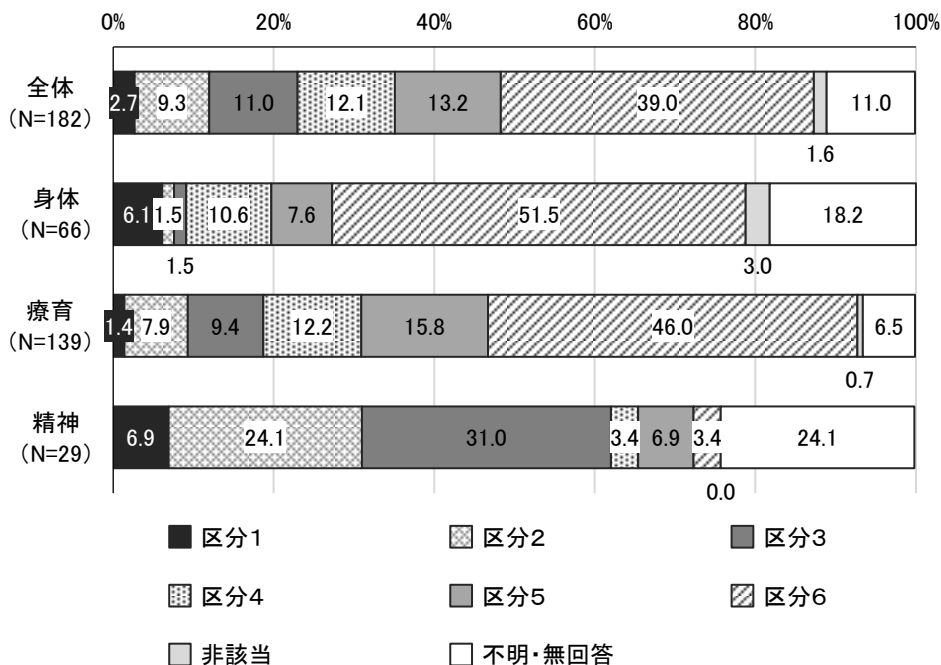
また、所持手帳別にみると、【身体】では「受けていない」が 65.9%、【療育】では「受けている」が 48.1%、【精神】では「受けていない」が 57.4%となっています。



問9 障害支援区分(SA)

障害者支援区分についてみると、「区分6」が 39.0%と最も高く、次いで「区分5」が 13.2%、「区分4」が 12.1%となっています。

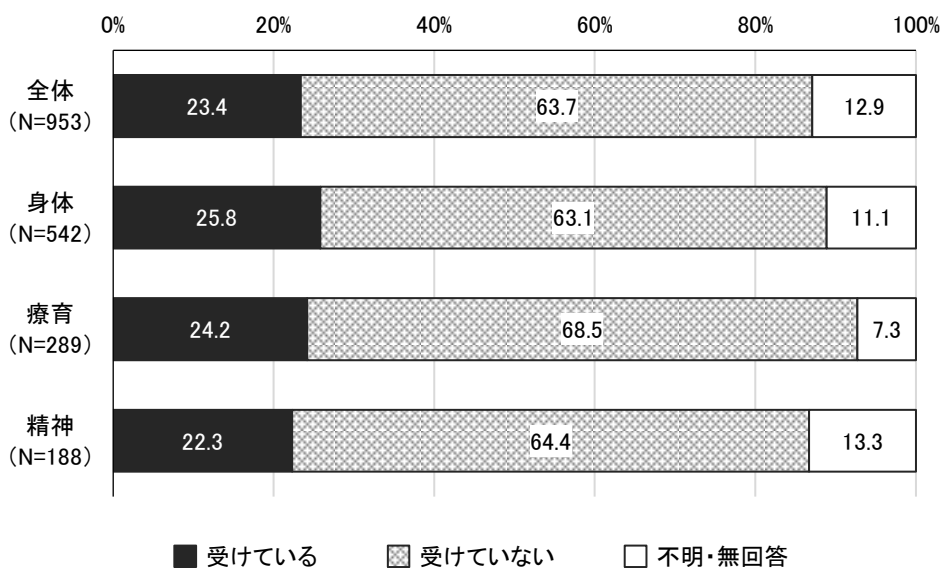
また、所持手帳別にみると、【身体】では「区分6」が 51.5%、【療育】では「区分6」が 46.0%、【精神】では「区分3」が 31.0%とそれぞれ最も高くなっています。



問10 現在医療的ケアを受けていますか(SA)

医療的ケアを受けているかについてみると、「受けていない」が 63.7%、「受けている」が 23.4%となっています。

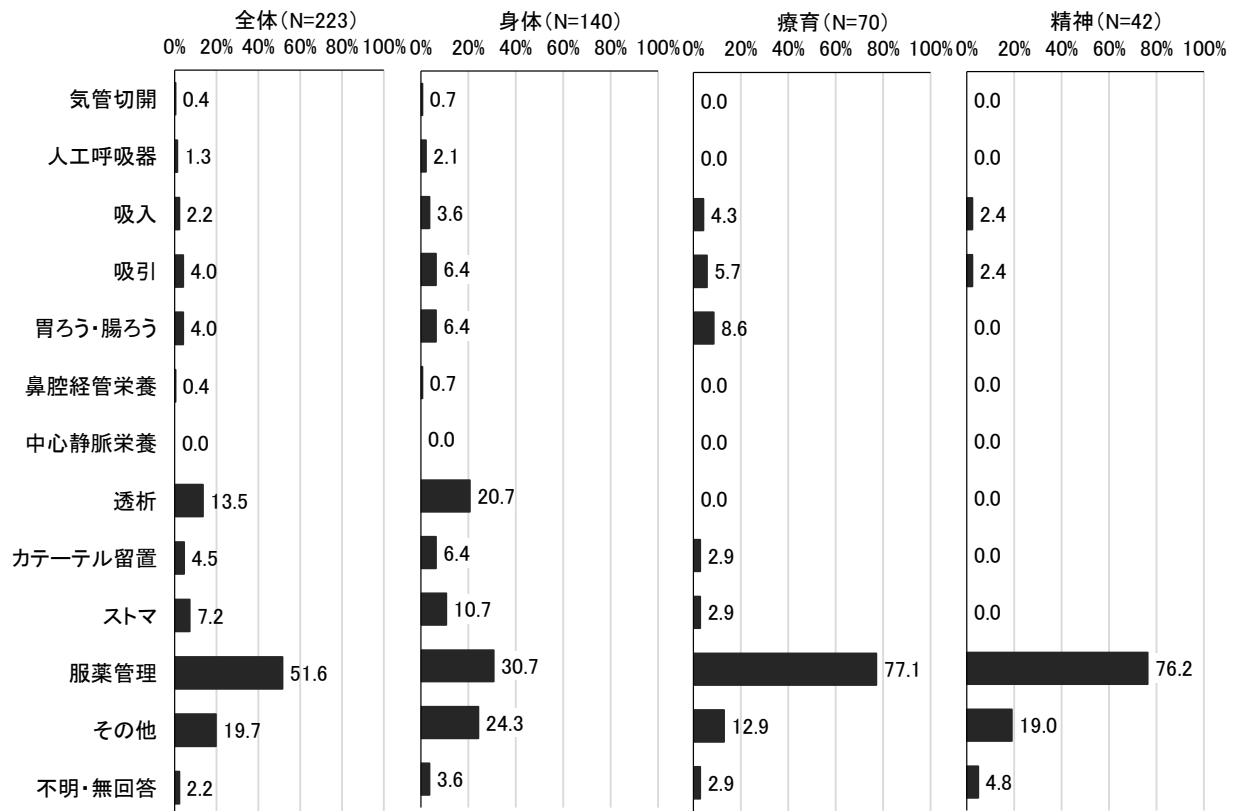
また、所持手帳別にみると、【身体】では「受けていない」が 63.1%、【療育】では「受けていない」が 68.5%、【精神】では「受けていない」が 64.4%となっています。



問 10 受けている医療的ケア(MA)

受けている医療的ケアについてみると、「服薬管理」が51.6%と最も高く、次いで「透析」が13.5%、「ストマ」が7.2%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「服薬管理」が30.7%、【療育】では「服薬管理」が77.1%、【精神】では「服薬管理」が76.2%とそれぞれ最も高くなっています。

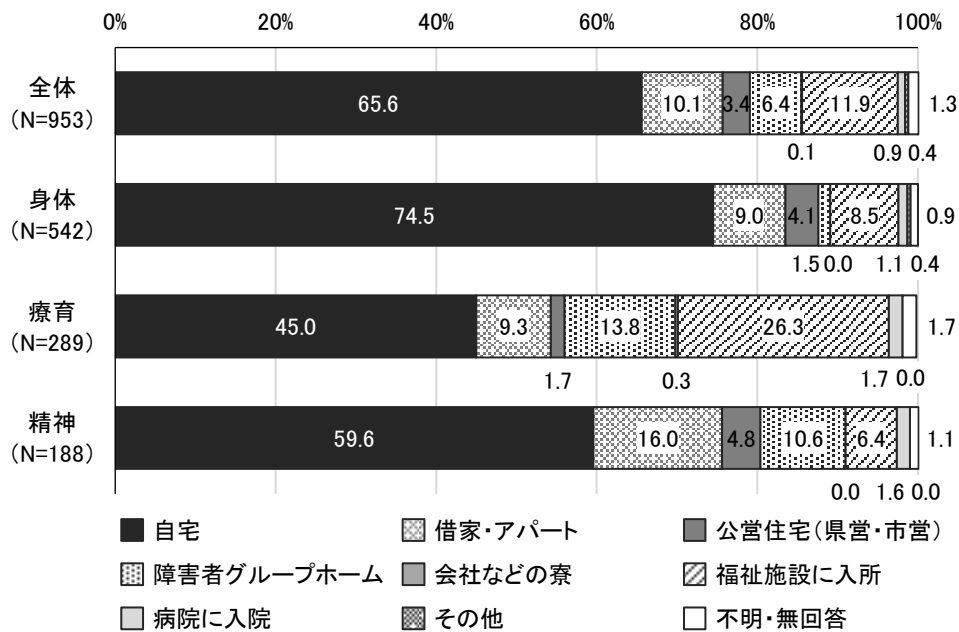


Ⅱ 生活支援について

問 11 現在どこで暮らしていますか(SA)

現在の住まいについてみると、「自宅」が 65.6%と最も高く、次いで「福祉施設に入所」が 11.9%、「借家・アパート」が 10.1%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「自宅」が 74.5%、【療育】では「自宅」が 45.0%、【精神】では「自宅」が 59.6%とそれぞれ最も高くなっています。

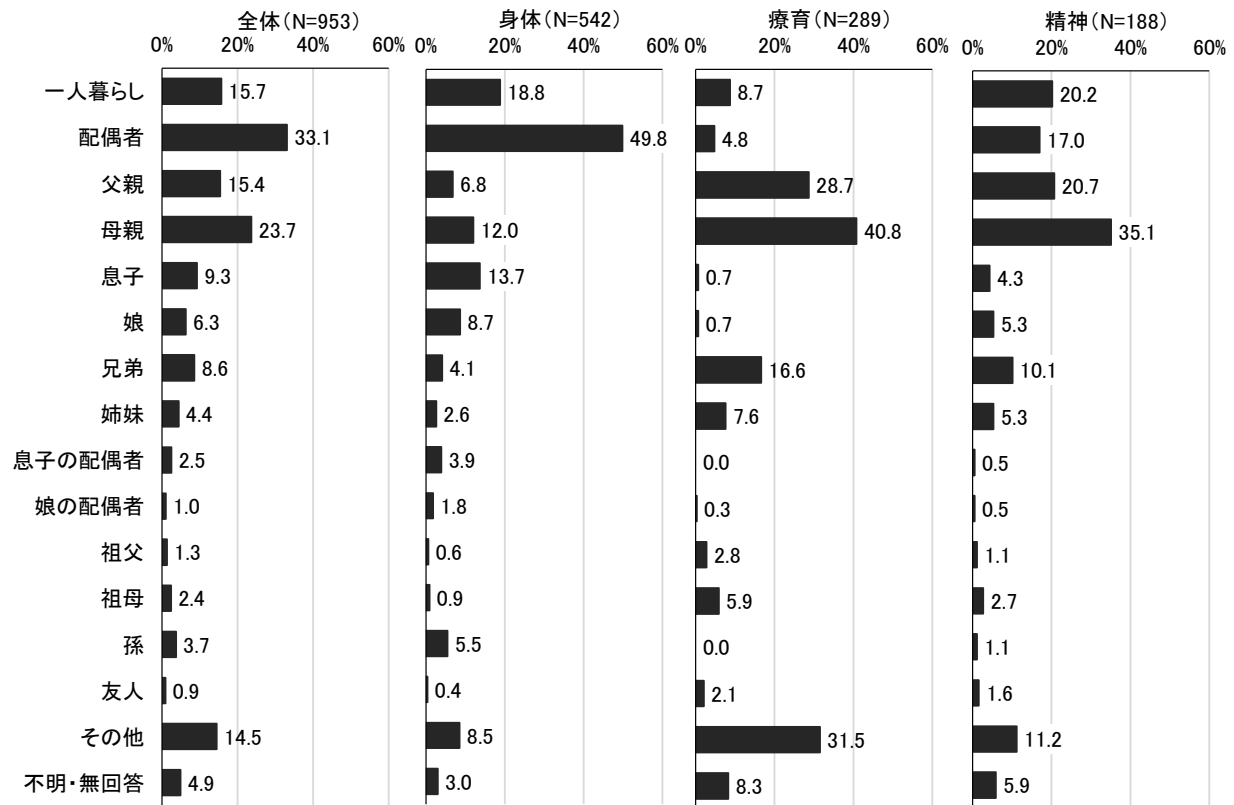


内容	件数
民間の介護施設	1
支援ハウス	1
いとこの家	1
シェアハウス	1

問 12 現在、あなたと一緒に暮らしている方は、どなたですか(MA)

現在、一緒に暮らしている方についてみると、「配偶者」が 33.1%と最も高く、次いで「母親」が 23.7%、「一人暮らし」が 15.7%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「配偶者」が 49.8%、【療育】では「母親」が 40.8%、【精神】では「母親」が 35.1%とそれぞれ最も高くなっています。

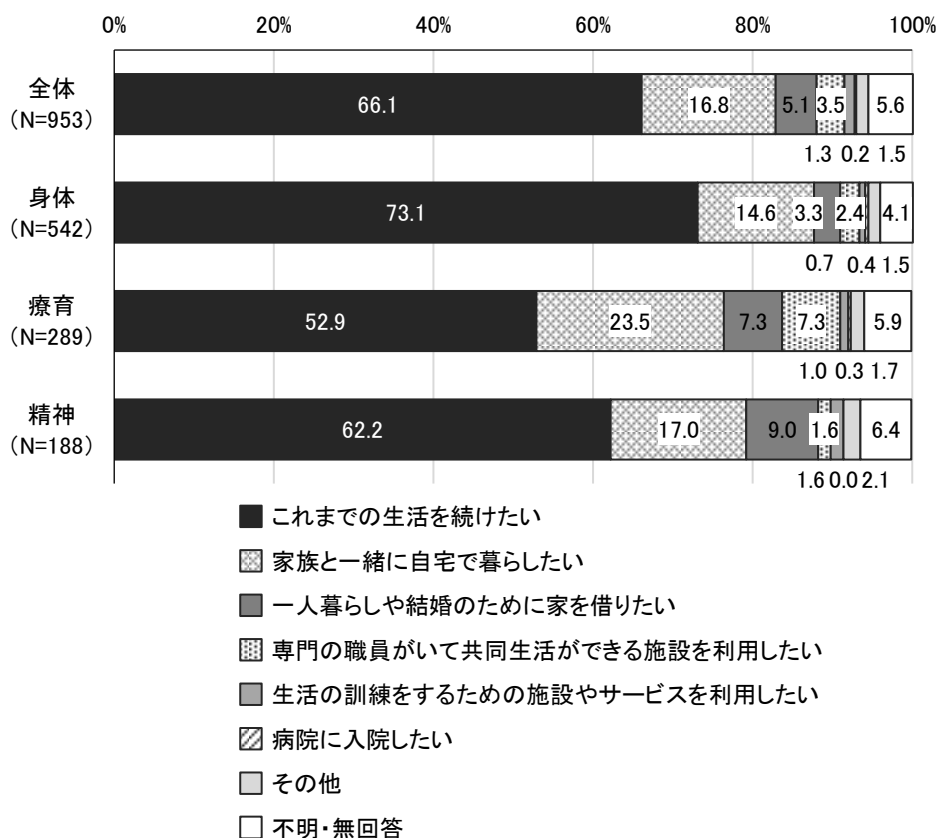


内容	件数
施設の人	43
グループホーム入居者	8
いところ	5
長期入院	4
おじ・おば	4
その他親戚	2
パートナー	1

問 13 「生活の場」のうち、今後、暮らしたいと思うものはどれですか(SA)

「生活の場」のうち、今後、暮らしたいと思うものについてみると、「これまでの生活を続けたい」が66.1%と最も高く、次いで「家族と一緒に自宅で暮らしたい」が16.8%、「一人暮らしや結婚のために家を借りたい」が5.1%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「これまでの生活を続けたい」が73.1%、【療育】では「これまでの生活を続けたい」が52.9%、【精神】では「これまでの生活を続けたい」が62.2%とそれぞれ最も高くなっています。

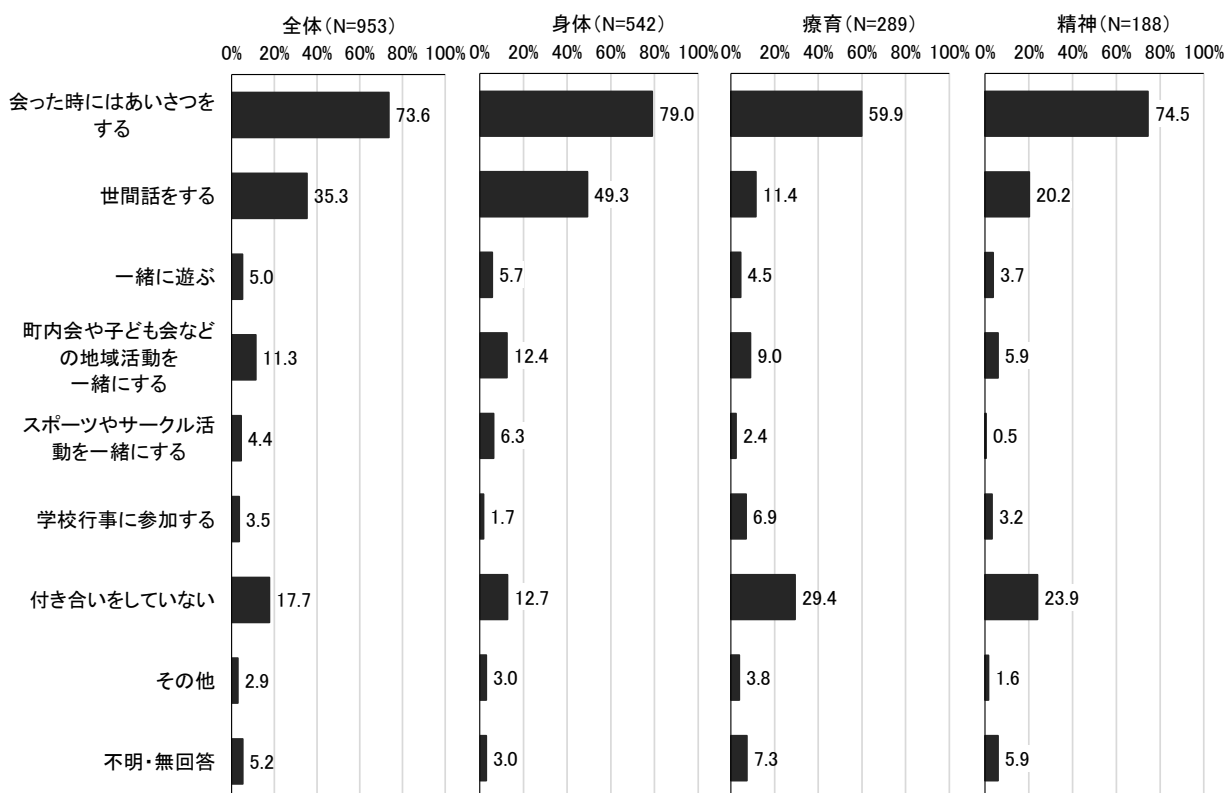


内容	件数
現在の住居に暮らし続けたいが、老朽化しているため困っている。	1
介助者が1ヶ月に2回来てくれるような暮らしがしたい。	1
休日は実家に戻る。	1
家族と別に暮らしたい。	1
1人でも安心して静かに生活できる場がほしい。	1
市営住宅に入居したい。	1
サービス付き高齢者住宅に入居して楽しみたい。	1
現在の施設から身体障害者を中心に支援している施設を利用したい。	1
本人の希望が聞けない。	1
自分で生活できなくなったときは安楽死したい。	1

問 14 地域の人とどのようなお付き合いをされていますか(MA)

地域の人とどのようなお付き合いをしているかについてみると、「会った時にはあいさつをする」が73.6%と最も高く、次いで「世間話をする」が35.3%、「付き合いをしていない」が17.7%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「会った時にはあいさつをする」が79.0%、【療育】では「会った時にはあいさつをする」が59.9%、【精神】では「会った時にはあいさつをする」が74.5%とそれぞれ最も高くなっています。



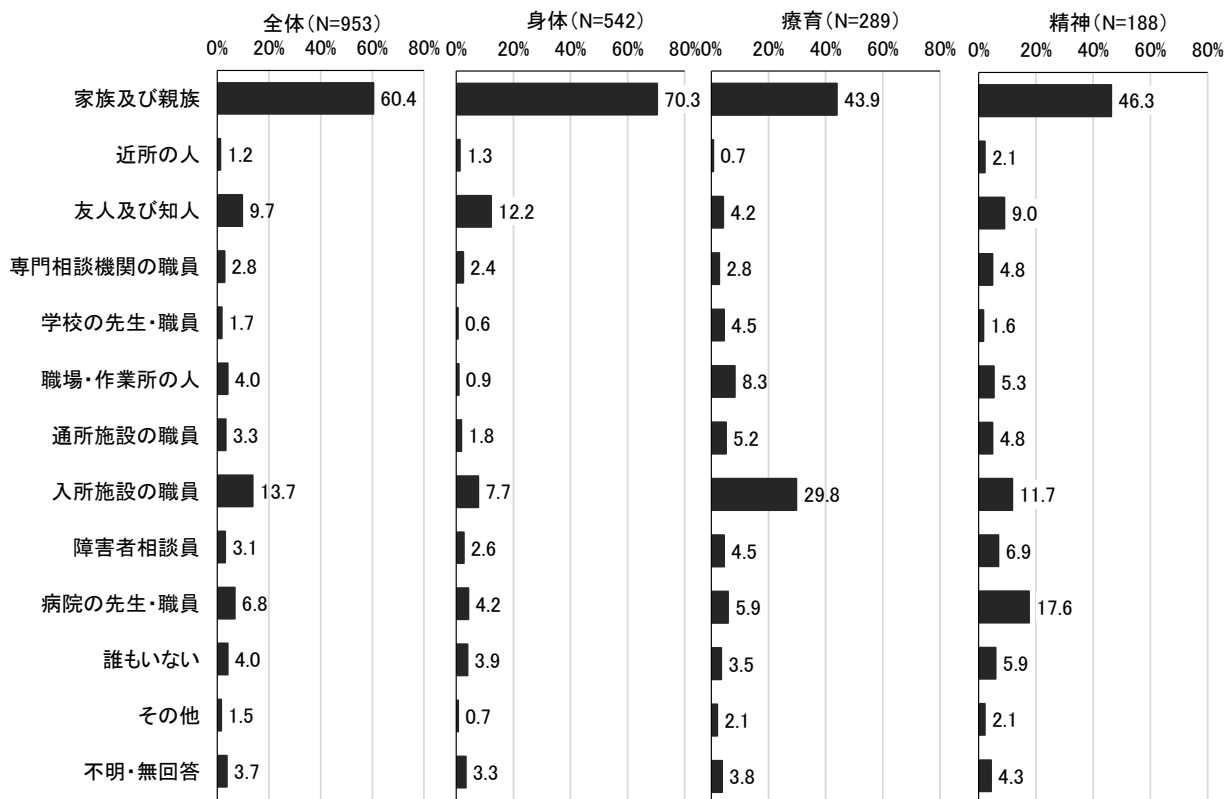
内容	件数
どんぐり参加、ピアノ教室	1
通学	1
老人会活動と一緒にする、シニア体操、詩吟	1
1年間、班長をした	1
趣味を一緒に行う	1
デイサービスを利用中	1
交流学习をする	1
地域イベントに参加	1
地域祭礼やイベント見学	1
グループホーム入居者同士で顔を合わせている。	1
リサイクルセンター	1

内容	件数
週1回移動販売で出会う	1
協会の会議や学習会	1
歩行が少し困難なためあまり外出できない	1
友人がいる	1
買い物のおきに出会う	1
機会がない	1
ほとんど家にいる	1
付き合いができない	1
外に出ることができない	1
今は新型コロナウイルス感染症の影響でほとんど自宅で過ごしている	1
意思疎通ができない	1

問 15 悩みや困ったことを相談するのはどなた・どこですか(MA)

悩みや困ったことを相談するのはどなた・どこかについてみると、「家族及び親族」が 60.4%と最も高く、次いで「入所施設の職員」が 13.7%、「友人及び知人」が 9.7%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「家族及び親族」が 70.3%、【療育】では「家族及び親族」が 43.9%、【精神】では「家族及び親族」が 46.3%とそれぞれ最も高くなっています。



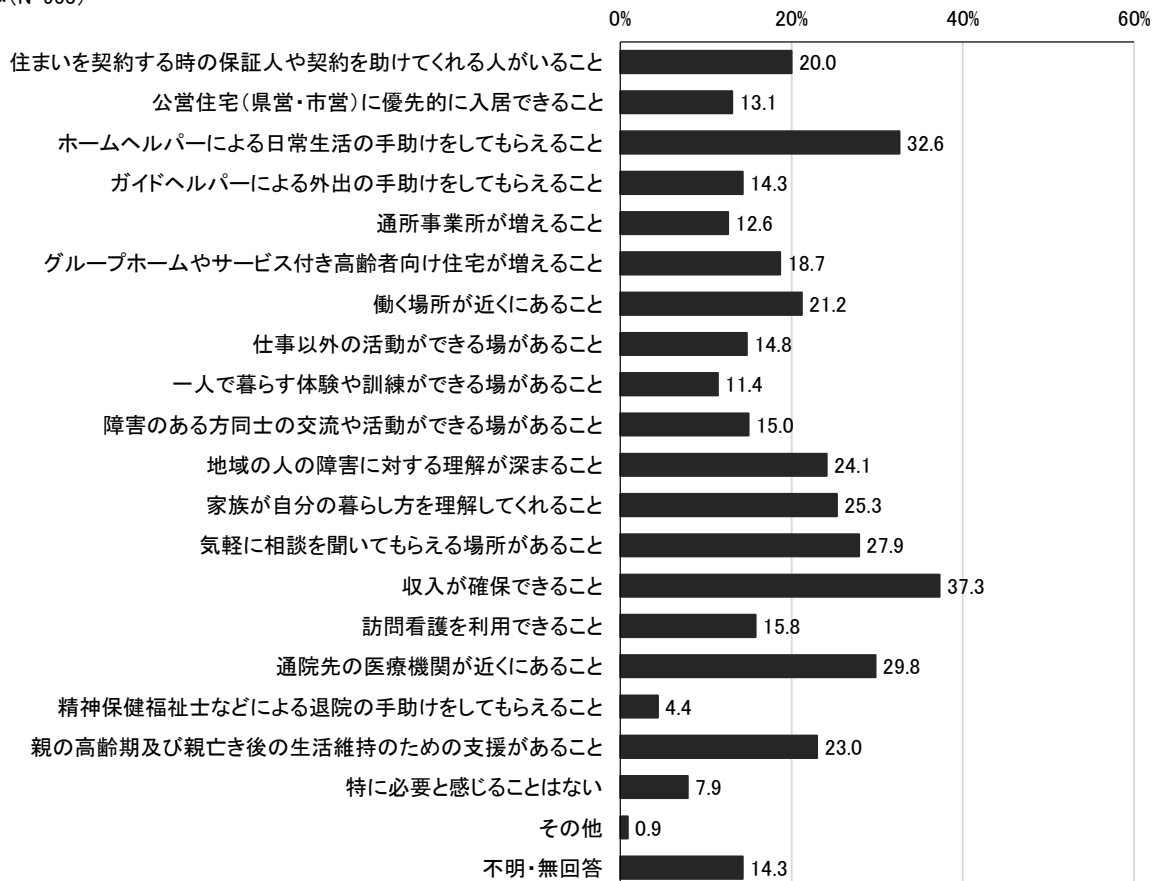
内容	件数
グループホーム職員、世話人	2
作業所職員	1
ゆめふる	1
南部センター	1
カウンセラー	1
障害者就業生活支援センター	1

問 16 地域で自立した生活をするにあたって、どのようなことが必要だと思いますか(MA)

地域で自立した生活をするにあたって、どのようなことが必要だと思うかについてみると、「収入が確保できること」が 37.3%と最も高く、次いで「ホームヘルパーによる日常生活の手助けをしてもらえること」が 32.6%、「通院先の医療機関が近くにあること」が 29.8%となっています。

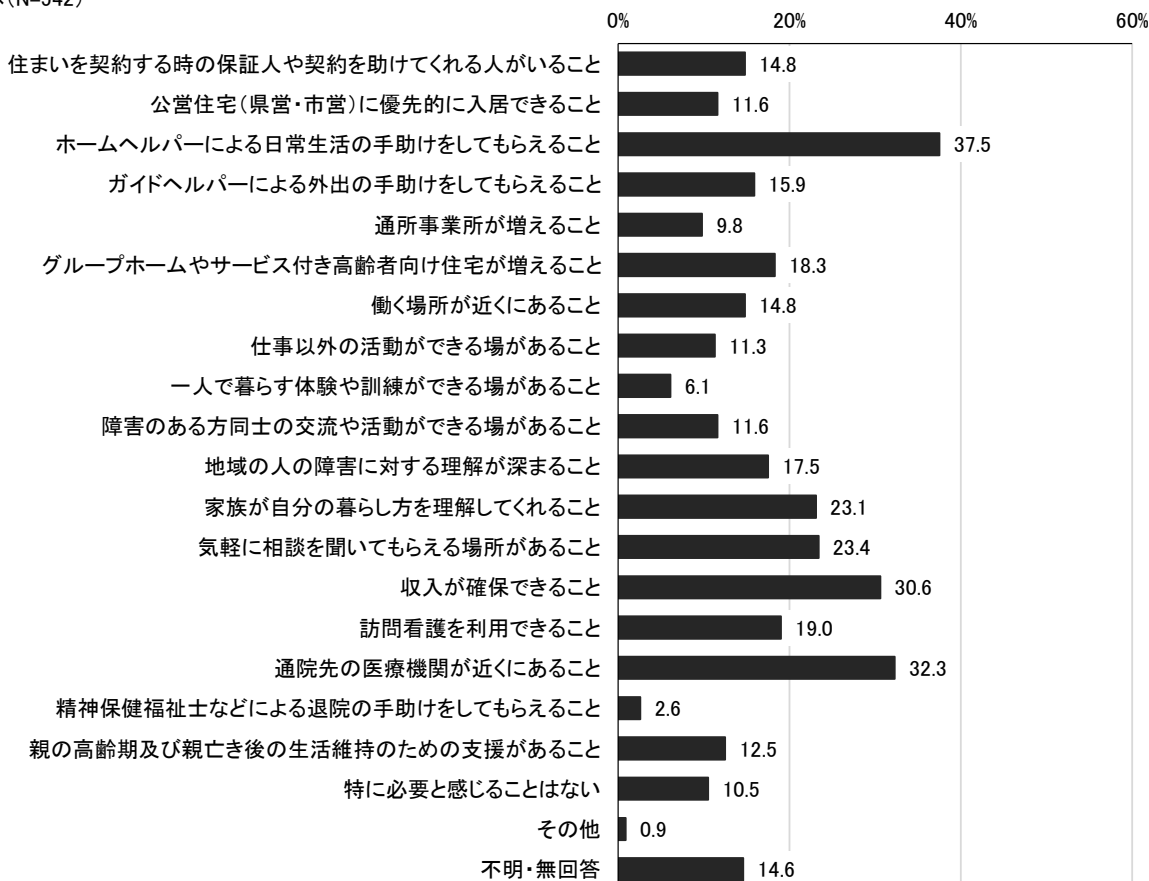
また、所持手帳別にみると、【身体】では「ホームヘルパーによる日常生活の手助けをしてもらえること」が 37.5%、【療育】では「親の高齢期及び親亡き後の生活維持のための支援があること」が 39.4%、【精神】では「収入が確保できること」が 55.3%とそれぞれ最も高くなっています。

全体(N=953)

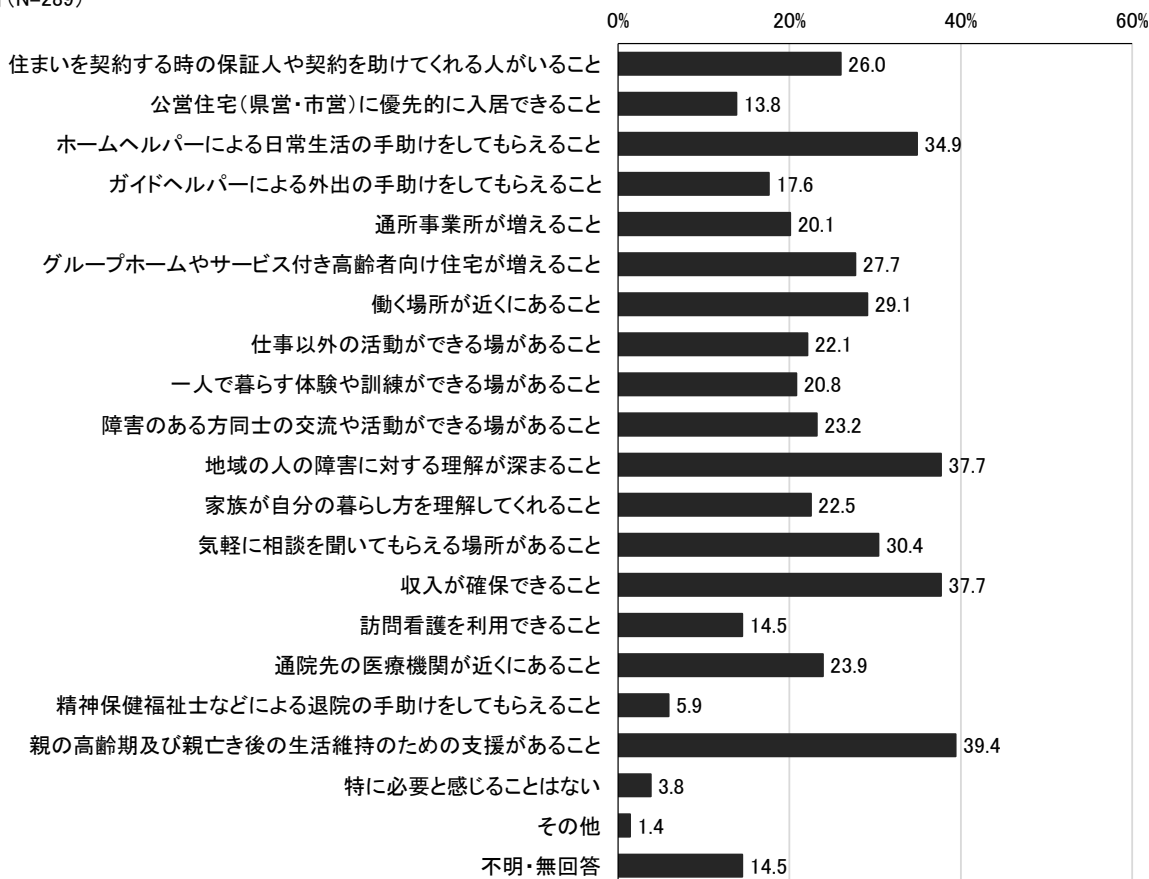


内容	件数
自立した生活ができない	2
海外移住の相談者	1
トイレの中におむつ替え用の長いす	1

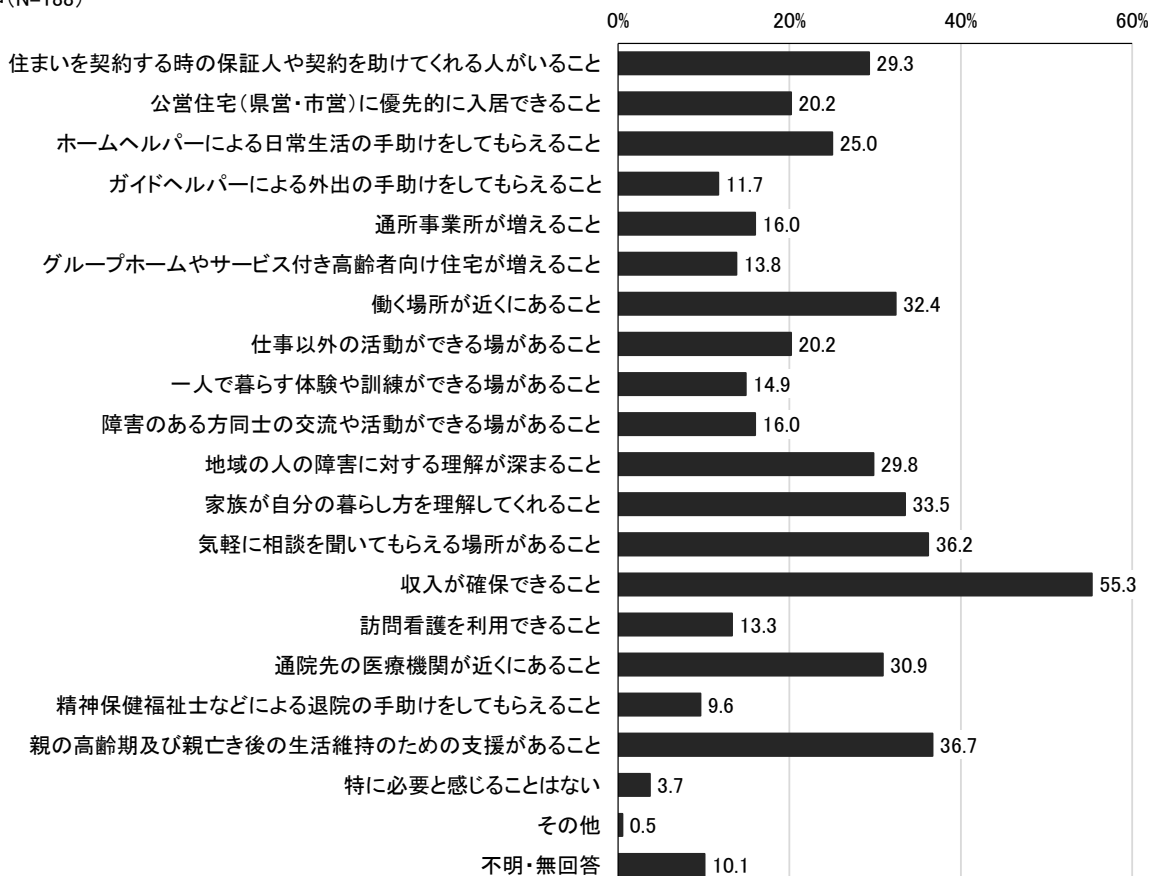
身体 (N=542)



療育 (N=289)

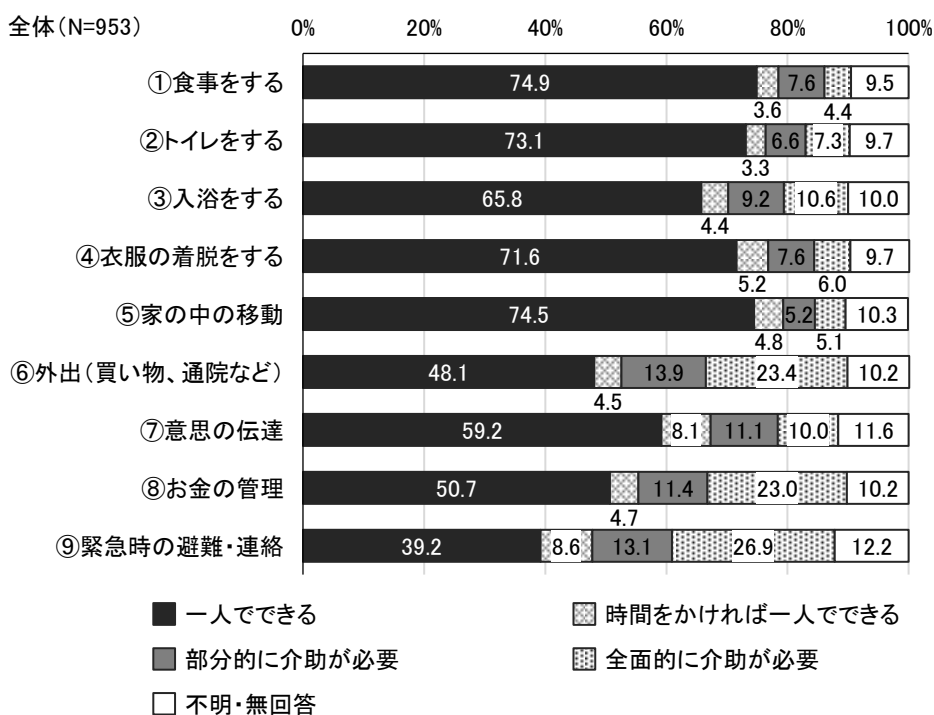


精神 (N=188)



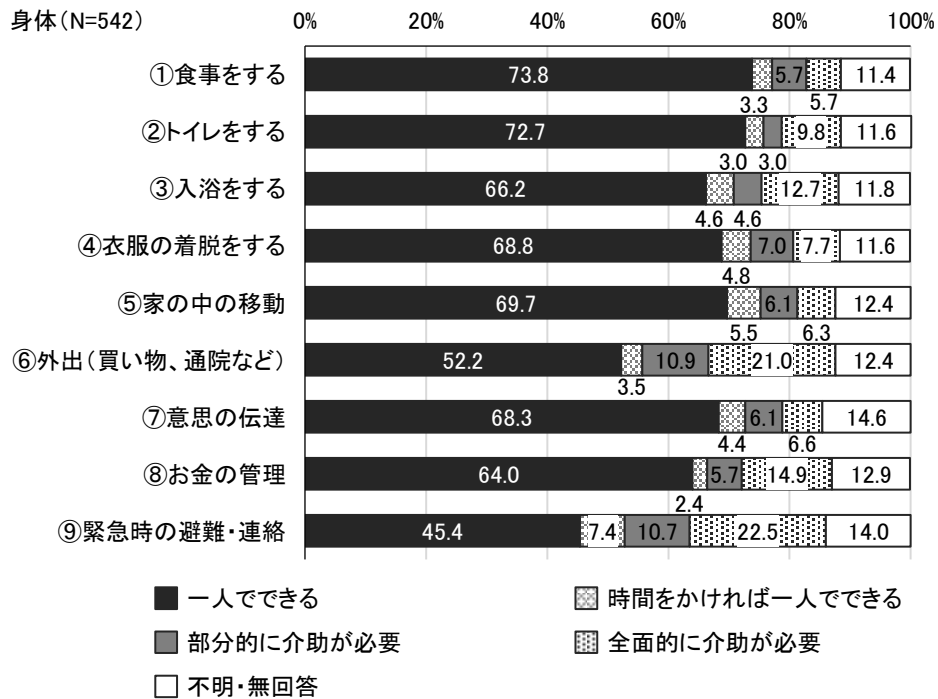
問 17(1) 介助が必要な生活動作について (SA)

介助が必要な生活動作についてみると、『①食事をする』『②トイレをする』『③入浴をする』『④衣服の着脱をする』『⑤家の中の移動』『⑦意思の伝達』『⑧お金の管理』は「1人でできる」が5割以上となっています。『⑥外出(買い物、通院など)』『⑧お金の管理』『⑨緊急時の避難・連絡』は「全面的に介助が必要」が2割台となっています。

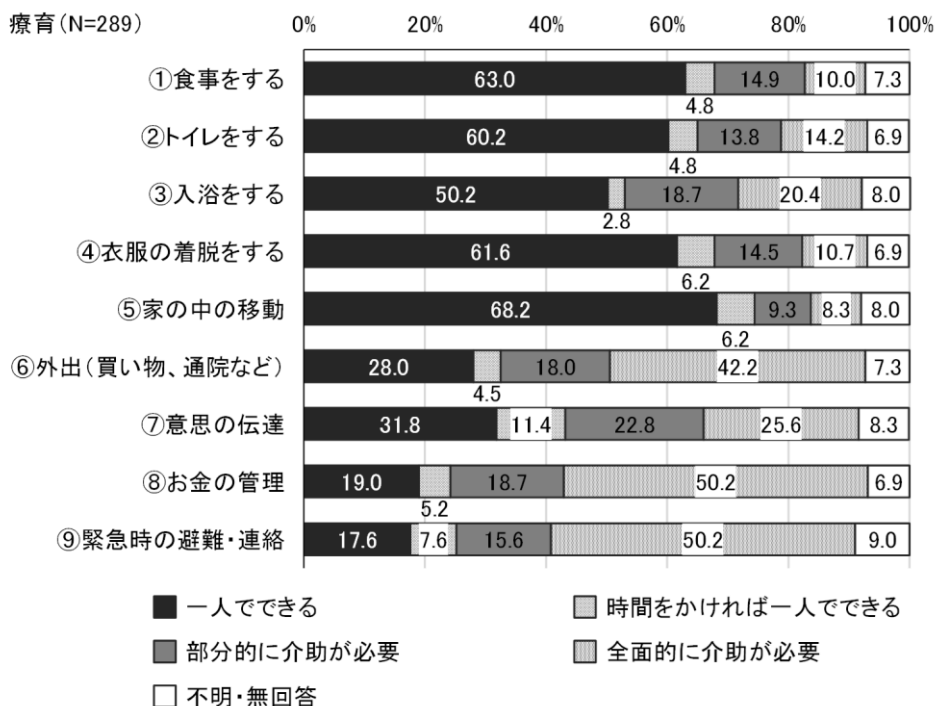


内容	件数
送迎・外出時の交通手段	3
料理や掃除、整頓、身の回りのこと	3
すべてのこと	2
歩行困難・補助	2
薬の管理・定期的な服薬、体調の管理	2
何事にも声掛けが必要	1
生活全般	1
右腕が動きにくい、転倒すると1人で立ち上がれない	1
杖が必要、目が見えづらい	1
食事や薬の時間がわからない	1
歯の仕上げ磨き、目薬や飲み薬の管理、点眼、時間や荷物の管理	1
心臓発作が起こったときに誰かそばにいてほしい	1
難聴で電話がないため何かあったときに知らせてくれること	1
緊急時の避難、連絡	1
段差、車の乗り降り、外出が1人でできない	1
外出時のトイレの補助	1

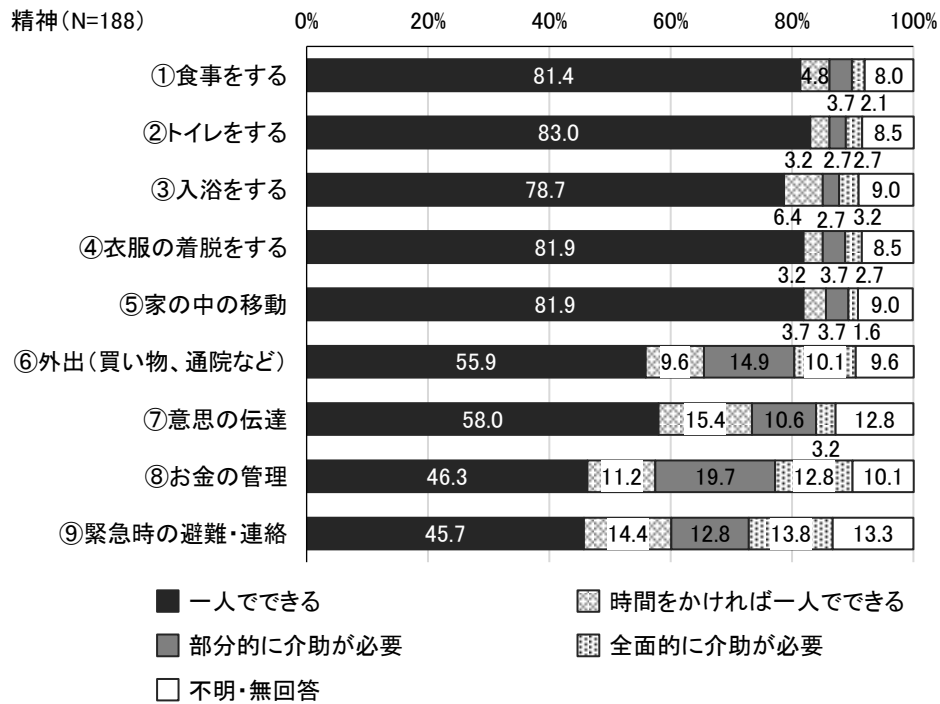
身体障害者手帳所持者の介助が必要な生活動作についてみると、『①食事をする』『②トイレをする』『③入浴をする』『④衣服の着脱をする』『⑤家の中の移動』『⑥外出(買い物、通院など)』『⑦意思の伝達』『⑧お金の管理』が「1人でできる」が5割以上となっています。『⑥外出(買い物、通院など)』『⑨緊急時の避難・連絡』は「全面的に介助が必要」が2割台となっています。



療育手帳所持者の介助が必要な生活動作についてみると、『①食事をする』『②トイレをする』『③入浴をする』『④衣服の着脱をする』『⑤家の中の移動』が「1人でできる」が5割以上となっています。『⑥外出(買い物、通院など)』『⑧お金の管理』『⑨緊急時の避難・連絡』は「全面的に介助が必要」が4割以上となっています。



精神障害者保健福祉手帳所持者の介助が必要な生活動作についてみると、『①食事をする』『②トイレをする』『③入浴をする』『④衣服の着脱をする』『⑤家の中の移動』『⑥外出(買い物、通院など)』『⑦意思の伝達』が「1人でできる」が5割以上となっています。

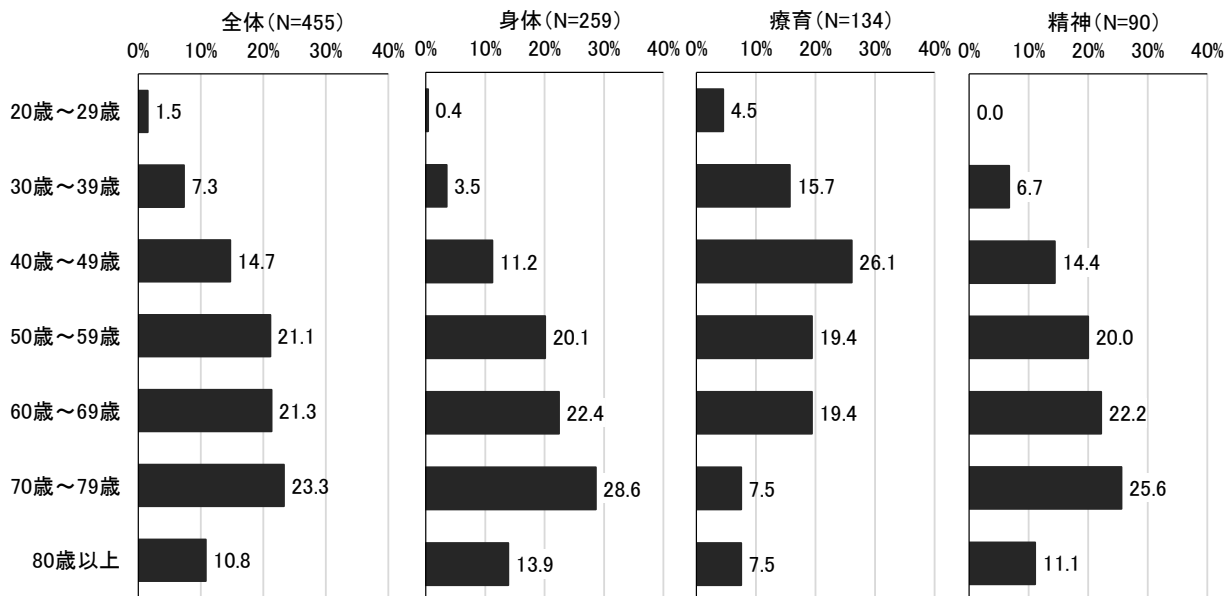


問 17(2) 主な介助者の年齢(数量)

主な介助者の年齢についてみると、「70歳～79歳」が23.3%と最も高く、次いで「60歳～69歳」が21.3%、「50歳～59歳」が21.1%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「70歳～79歳」が28.6%、【療育】では「40歳～49歳」が26.1%、【精神】では「70歳～79歳」が25.6%とそれぞれ最も高くなっています。

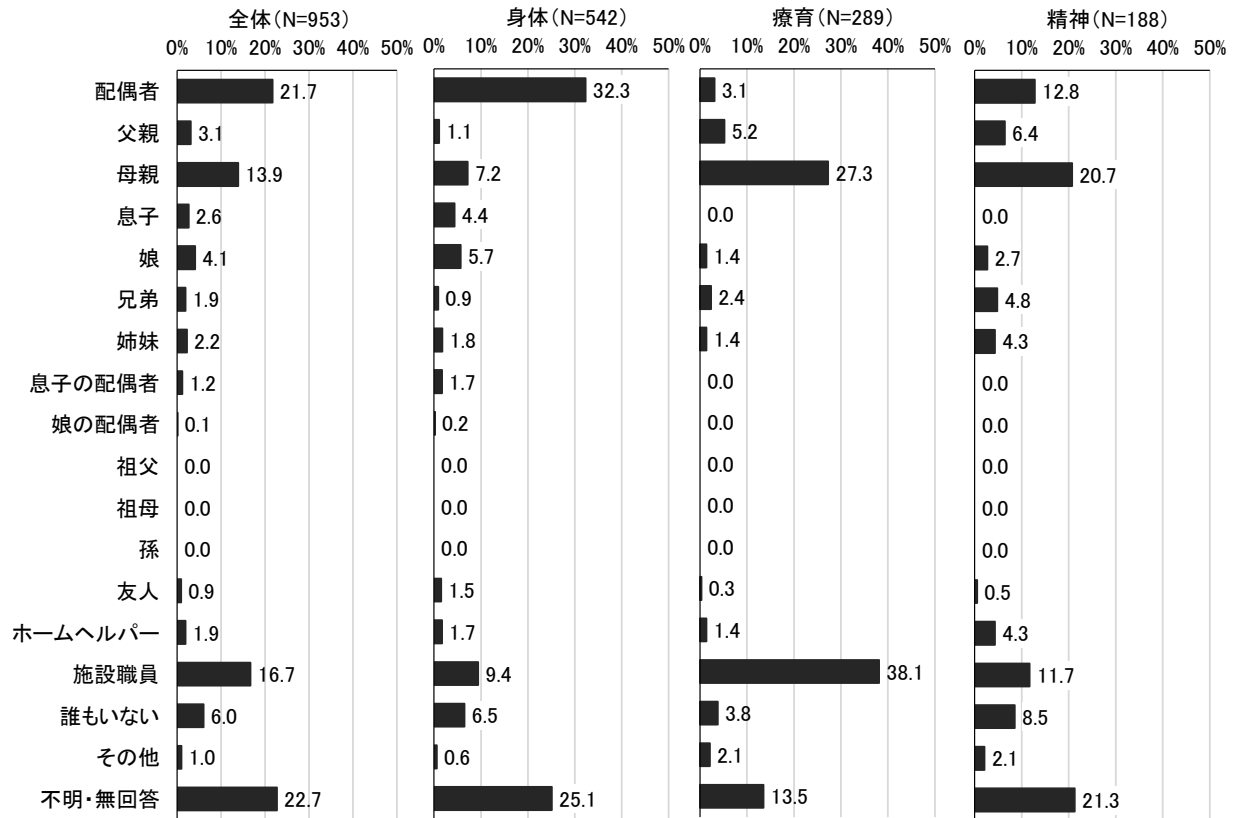
※不明・無回答は除く



問 17(3) 主な介助者はどなたですか(SA)

主な介助者についてみると、「配偶者」が 21.7%と最も高く、次いで「施設職員」が 16.7%、「母親」が 13.9%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「配偶者」が32.3%、【療育】では「施設職員」が38.1%、【精神】では「母親」が20.7%とそれぞれ最も高くなっています。



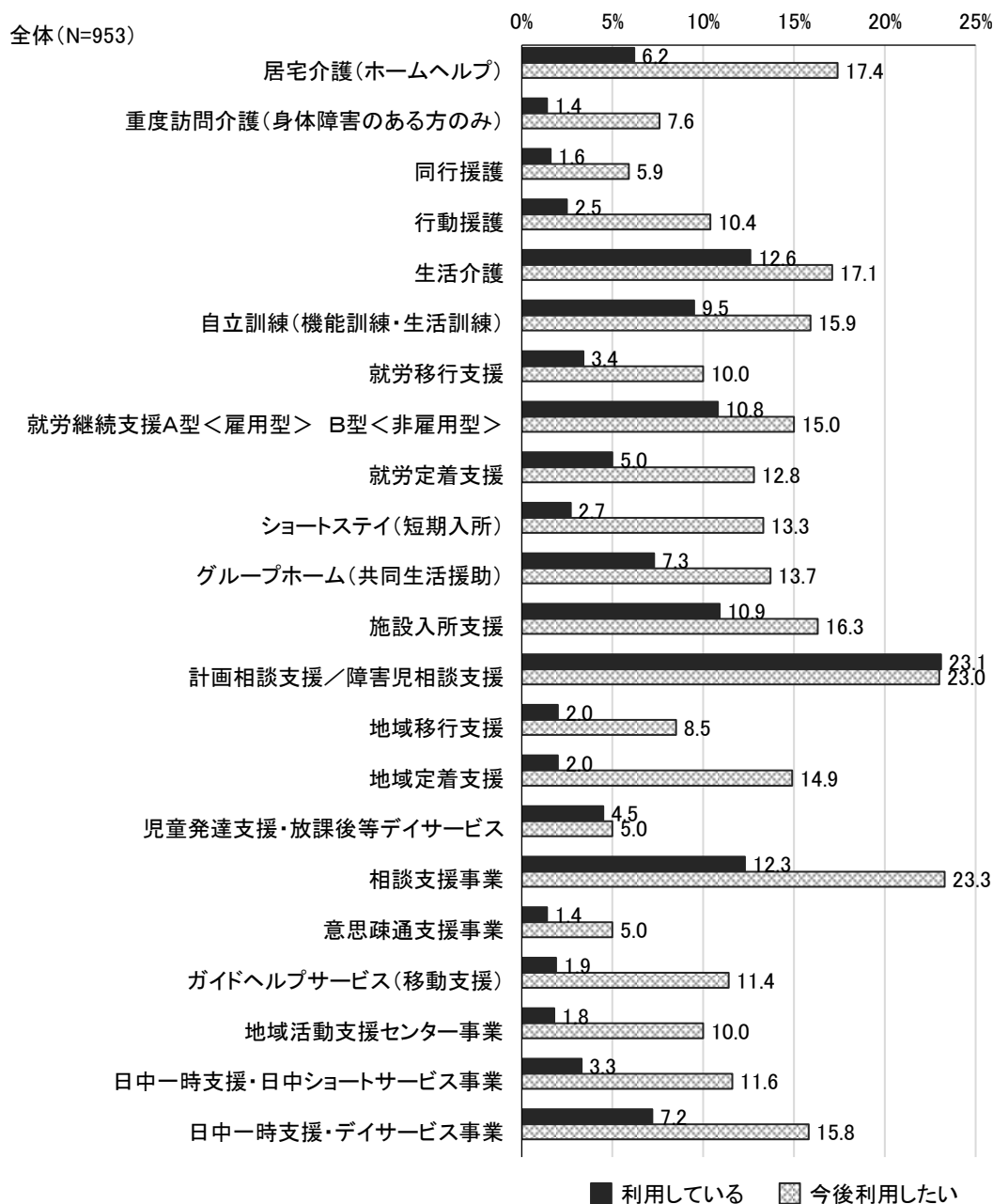
内容	件数
おば	3
施設職員	2
いとこ	1
市職員	1
相談員	1
民生委員	1

Ⅲ 福祉サービスについて

問 18 福祉サービスの利用状況と利用意向(SA)

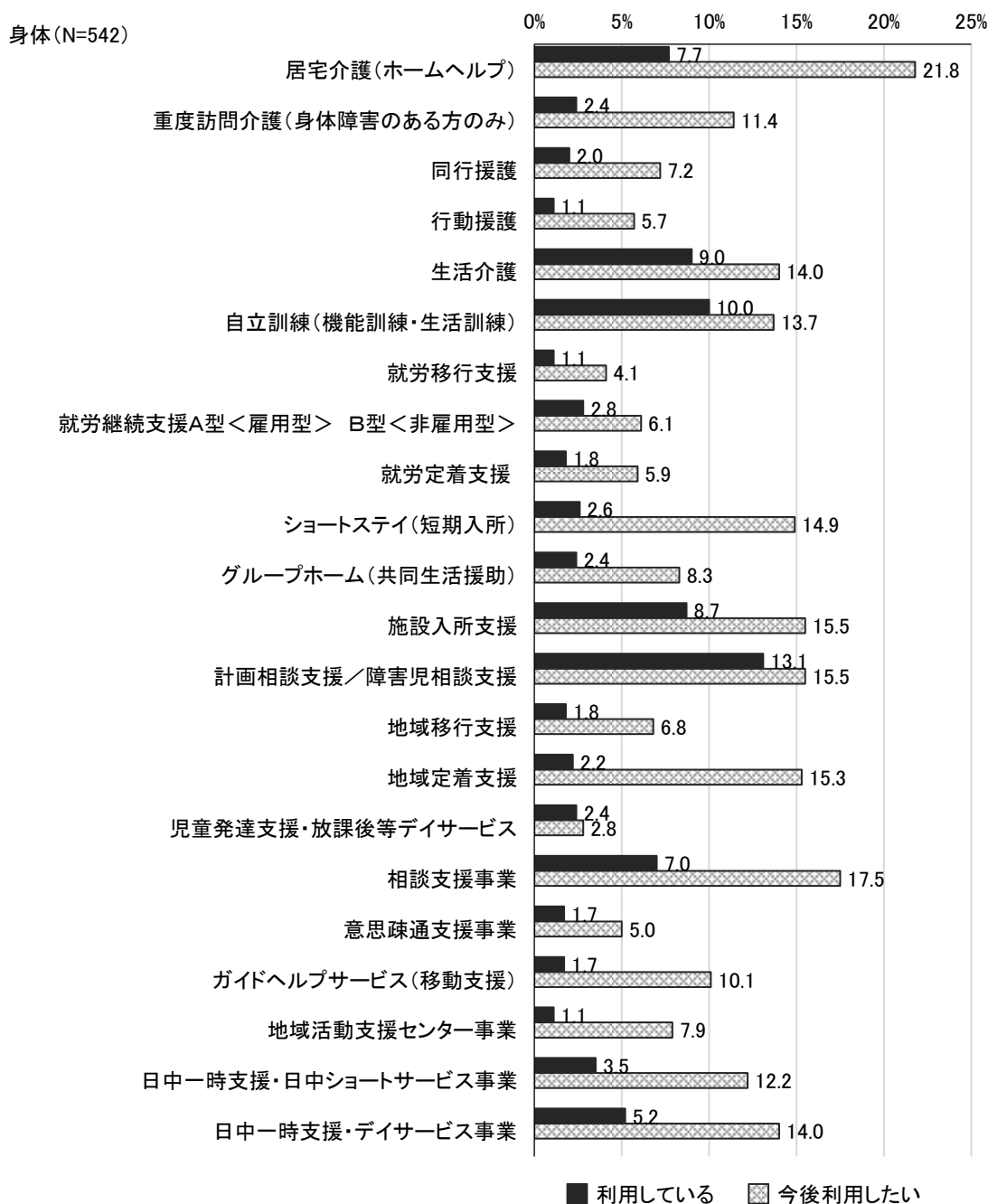
福祉サービスの利用状況についてみると、『計画相談支援／障害児相談支援』が23.1%と最も高く、次いで『生活介護』が12.6%、『相談支援事業』が12.3%となっています。

利用意向は『相談支援事業』が23.3%と最も高く、次いで『計画相談支援／障害児相談支援』が23.0%、『居宅介護(ホームヘルプ)』が17.4%となっています。



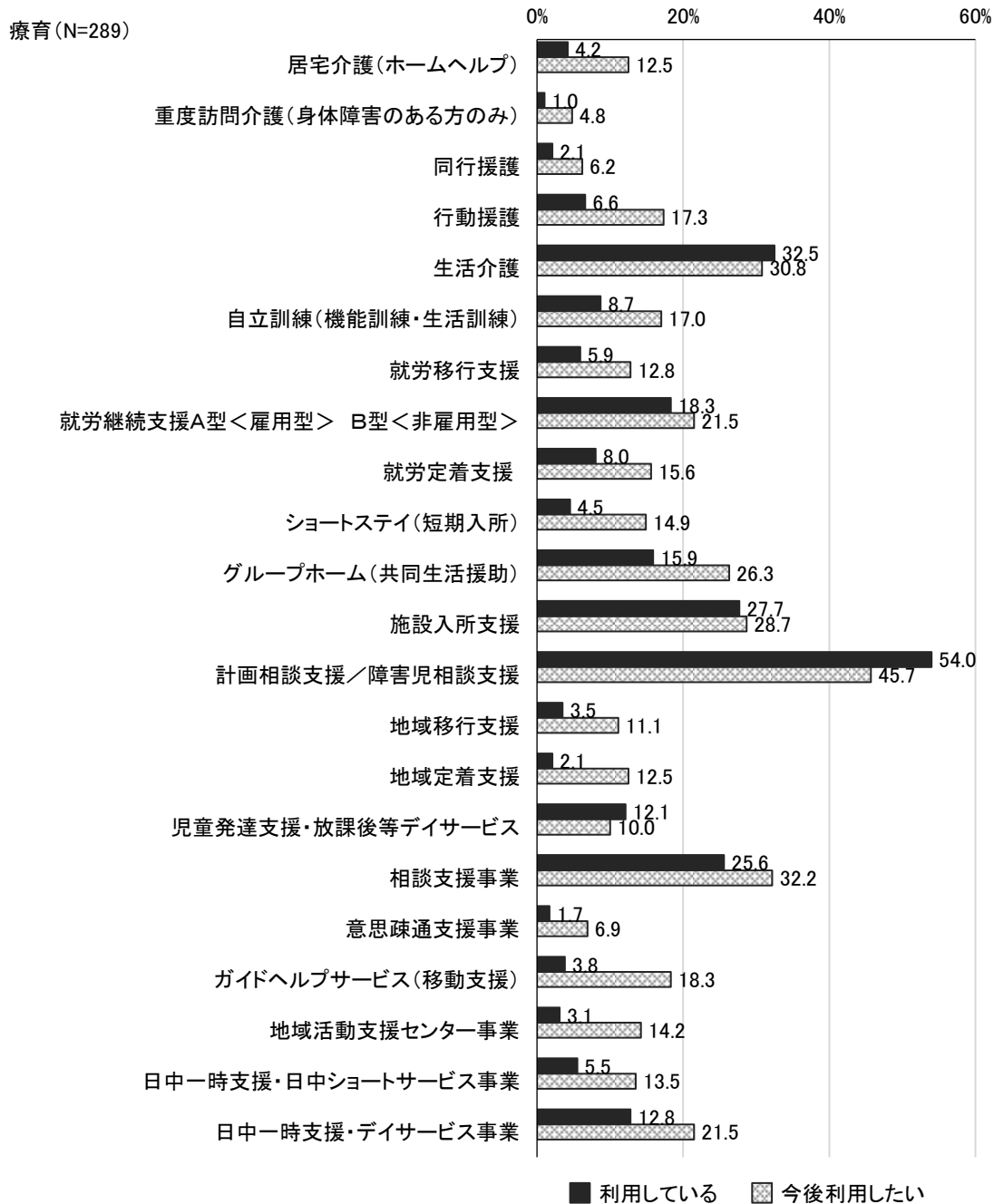
身体障害者手帳所持者の福祉サービスの利用状況についてみると、『計画相談支援／障害児相談支援』が13.1%と最も高く、次いで『自立訓練(機能訓練・生活訓練)』が10.0%、『生活介護』が9.0%となっています。

利用意向は『居宅介護(ホームヘルプ)』が21.8%と最も高く、次いで『相談支援事業』が17.5%、『施設入所支援』『計画相談支援／障害児相談支援』がともに15.5%となっています。



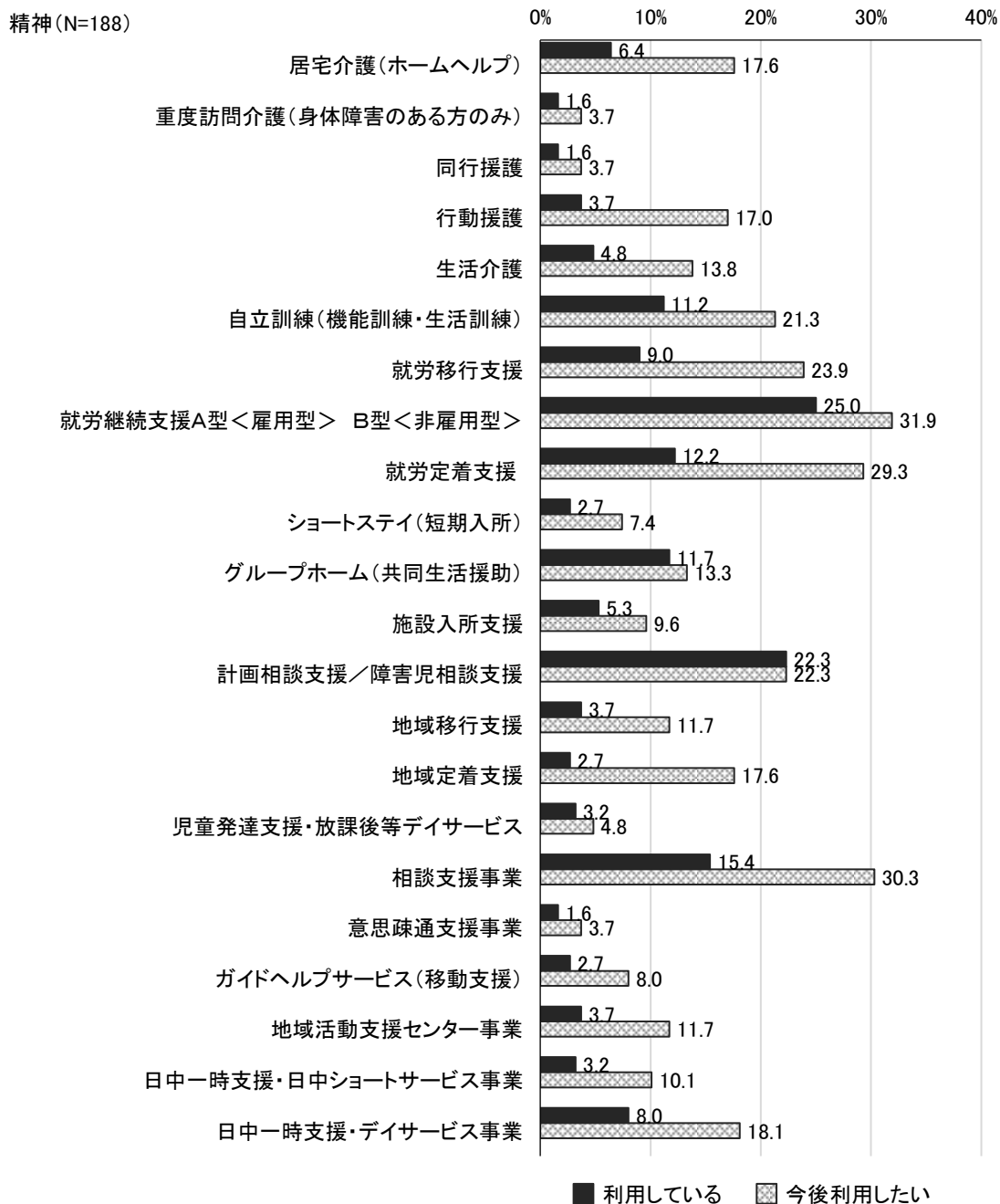
療育手帳所持者の福祉サービスの利用状況についてみると、『計画相談支援／障害児相談支援』が54.0%と最も高く、次いで『生活介護』が32.5%、『施設入所支援』が27.7%となっています。

利用意向は『計画相談支援／障害児相談支援』が45.7%と最も高く、次いで『相談支援事業』が32.2%、『生活介護』が30.8%となっています。



精神障害者保健福祉手帳所持者の福祉サービスの利用状況についてみると、『就労継続支援A型<雇用型> B型<非雇用型>』が25.0%と最も高く、次いで『計画相談支援/障害児相談支援』が22.3%、『相談支援事業』が15.4%となっています。

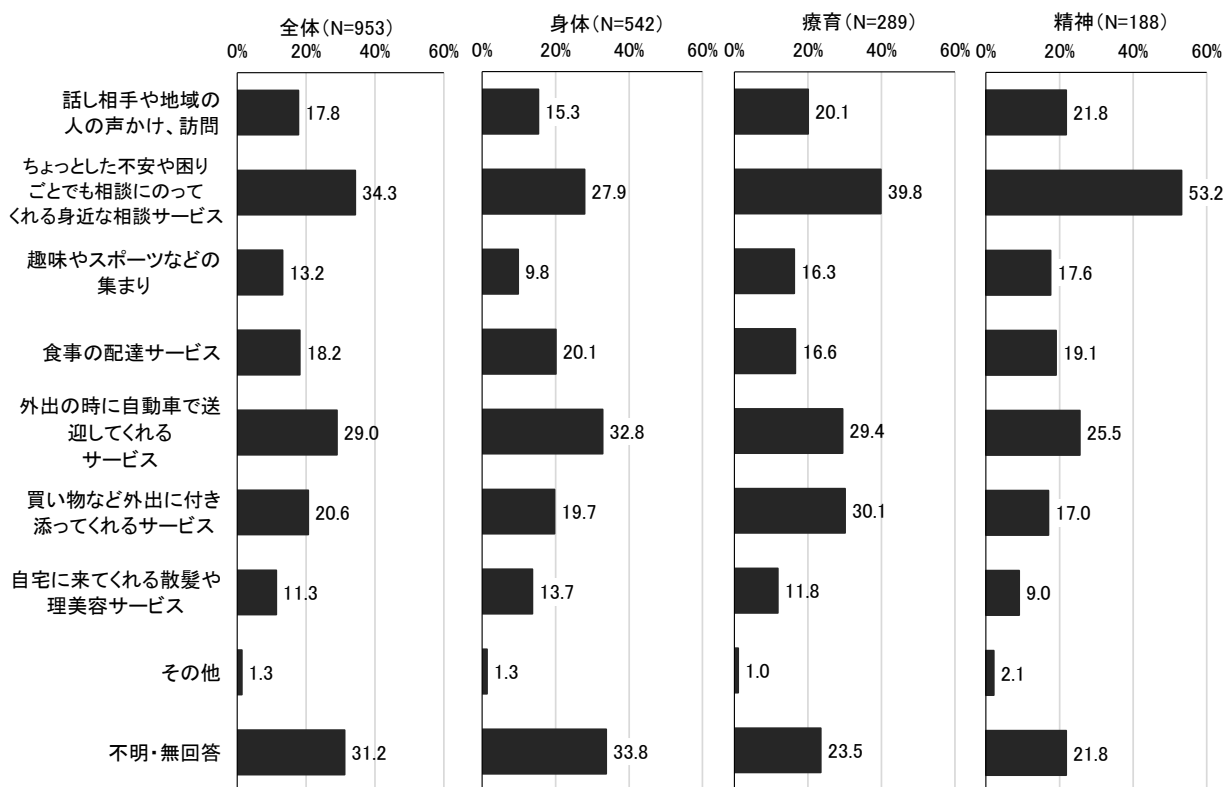
利用意向は『就労継続支援A型<雇用型> B型<非雇用型>』が31.9%と最も高く、次いで『相談支援事業』が30.3%、『就労定着支援』が29.3%となっています。



問 19 問 18 にあげた福祉サービス以外で、特にどのような支援が必要だと思いますか(MA)

問 18 にあげた福祉サービス以外で、特にどのような支援が必要だと思うかについてみると、「ちょっとした不安や困りごとでも相談にのってくれる身近な相談サービス」が 34.3%と最も高く、次いで「外出の時に自動車で送迎してくれるサービス」が 29.0%、「買い物など外出に付き添ってくれるサービス」が 20.6%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「外出の時に自動車で送迎してくれるサービス」が 32.8%、【療育】では「ちょっとした不安や困りごとでも相談にのってくれる身近な相談サービス」が 39.8%、【精神】では「ちょっとした不安や困りごとでも相談にのってくれる身近な相談サービス」が 53.2%とそれぞれ最も高くなっています。

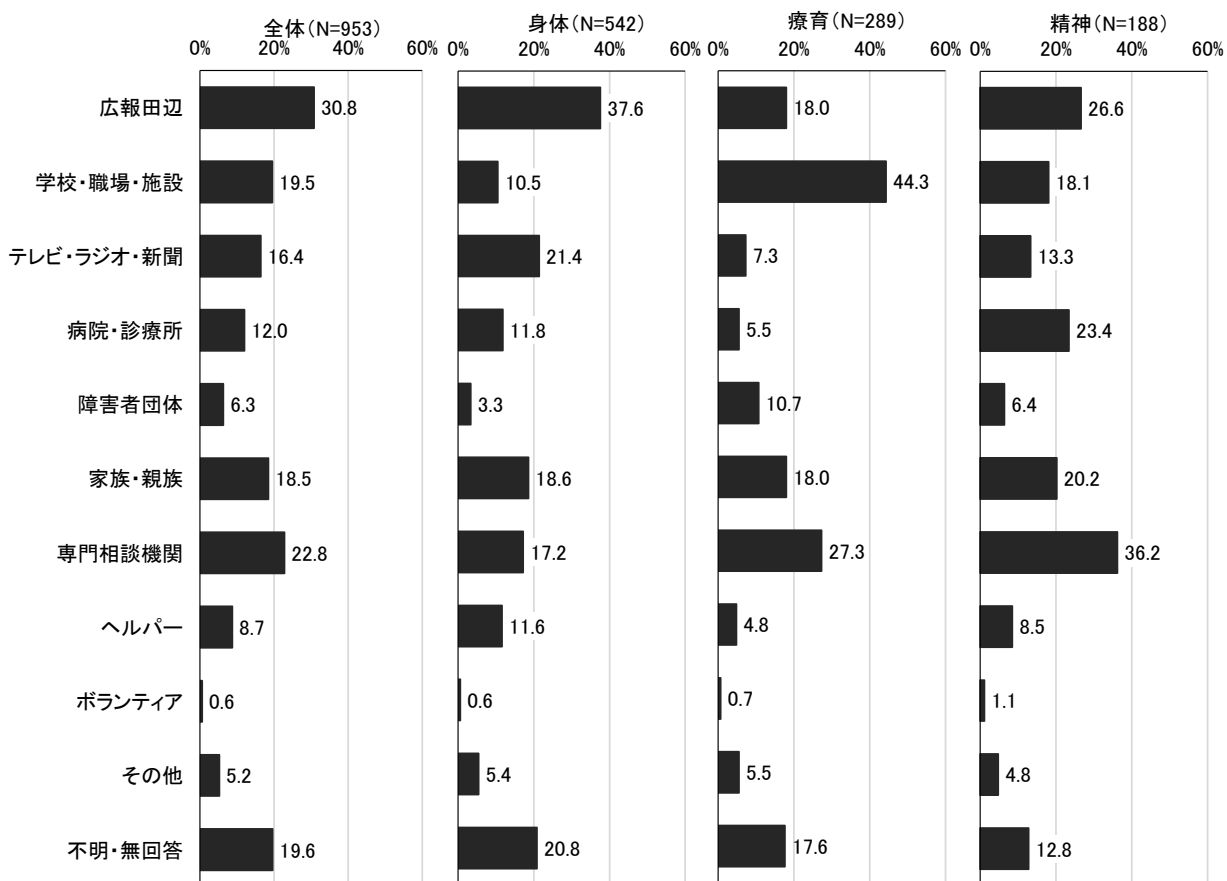


内容	件数
生活全般	1
手厚い支援	1
見守り理解していただけること	1
インターネットで必要かつ正しい情報がわかりやすく検索できて見つけられること	1
書類など申請の代理	1

問 20 現在、サービスに関する情報をどこから入手していますか(MA)

現在、サービスに関する情報をどこから入手しているかについてみると、「広報田辺」が 30.8%と最も高く、次いで「専門相談機関」が 22.8%、「学校・職場・施設」が 19.5%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「広報田辺」が 37.6%、【療育】では「学校・職場・施設」が 44.3%、【精神】では「専門相談機関」が 36.2%とそれぞれ最も高くなっています。



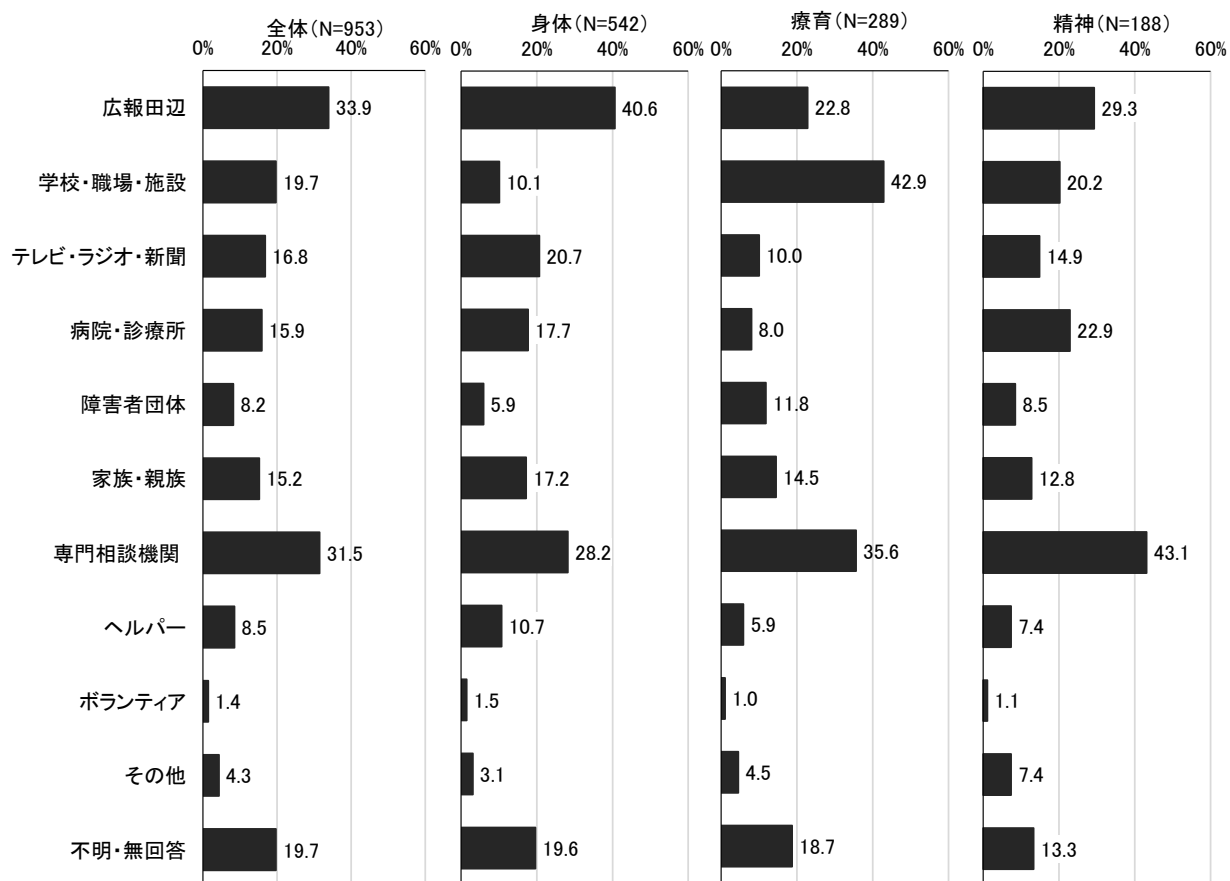
内容	件数
ケアマネジャー	12
インターネット	8
施設職員	5
友人・知人	5
田辺市などのホームページ	2
専用アプリ	1
市役所	1
南部センター	1

内容	件数
ホーム生活支援員	1
行政局担当課 保健師	1
施設職員	1
グループホーム職員	1
リハビリ	1
訪問看護師	1
障害を持つ子どもの母親	1

問 21 今後、サービスに関する情報をどこから入手したいと思いますか(MA)

今後、サービスに関する情報をどこから入手したいと思うかについてみると、「広報田辺」が33.9%と最も高く、次いで「専門相談機関」が31.5%、「学校・職場・施設」が19.7%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「広報田辺」が40.6%、【療育】では「学校・職場・施設」が42.9%、【精神】では「専門相談機関」が43.1%とそれぞれ最も高くなっています。



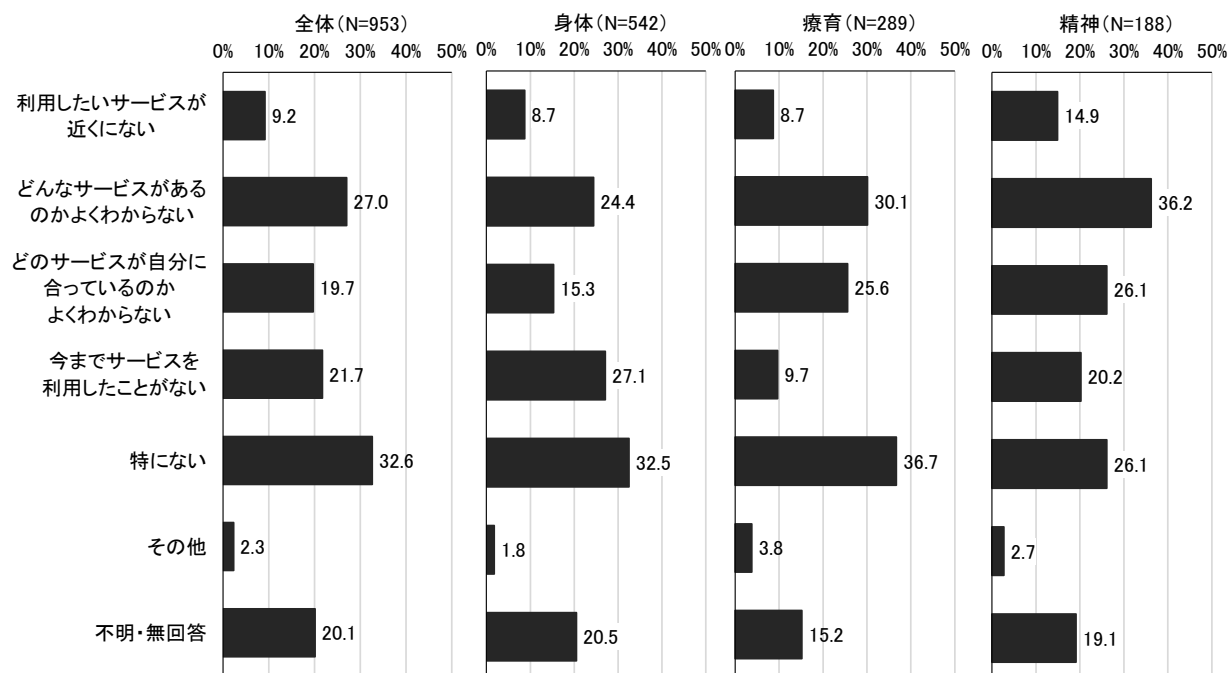
内容	件数
インターネット	10
施設職員	5
ケアマネジャー	5
田辺市などのホームページ	3
友人	2
グループホーム職員	1
行政局担当課 保健師	1

内容	件数
電話	1
専用アプリ	1
サービスの情報を自宅に直接郵送	1
南部センター	1
駅、道の駅、サービスエリアなど	1
どこでも	1
精神障害の情報があまりない	1

問 22 サービス利用について不満や困ったことはありますか(MA)

サービス利用について不満や困った経験についてみると、「特にない」が 32.6%と最も高く、次いで「どんなサービスがあるのかよくわからない」が 27.0%、「今までサービスを利用したことがない」が 21.7%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「特にない」が 32.5%、【療育】では「特にない」が 36.7%、【精神】では「どんなサービスがあるのかよくわからない」が 36.2%とそれぞれ最も高くなっています。



内容
精神障害のサービス自体があるのかも知らない
それぞれのサービスを受けられる要件がはっきりわからない。サービス、制度の名称から具体的なサービス内容がわからない。
サービス利用のためにタクシー料金が高額になること。
金銭的に利用できない。
サービスを利用すれば高額になること。
利用したいと思っても定員がいっぱいで利用できない。
空きがない。
医療的ケアが必要という理由でサービスや施設利用が制限されること。
ショートステイ施設が足りない。利用したいのにできない。
介護判定してもらえなかったため、けがをして直ぐに利用できるサービスがなかった

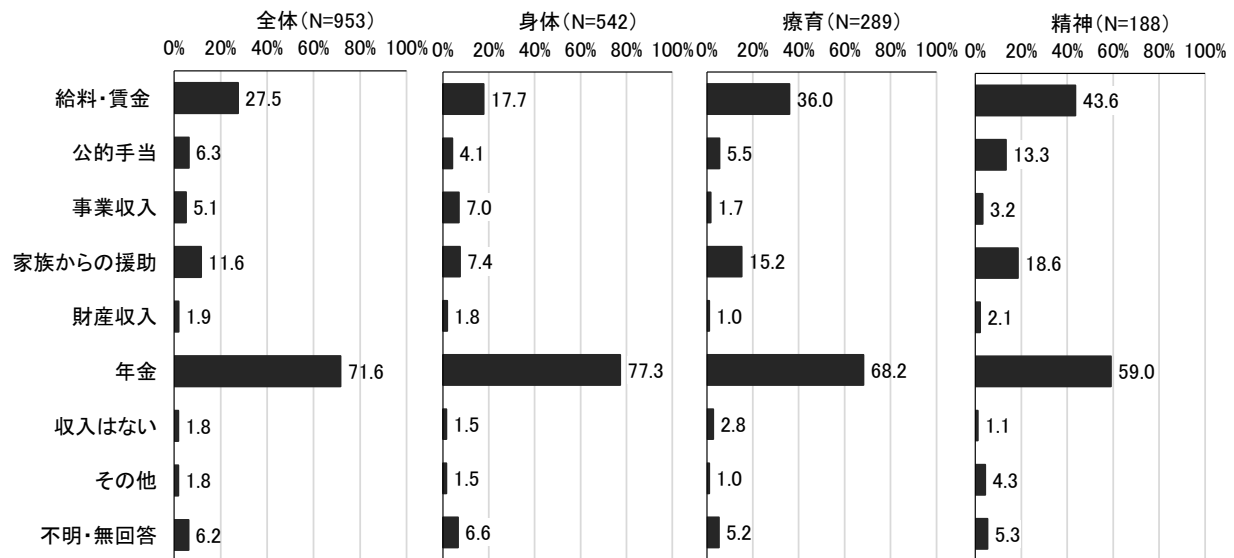
内容
作業所の指導員の態度がこわい
知っている職員でないと利用しにくい。
障害者や家族側に立ってやさしく相談に応じてくれる人がほしい。
柔軟な対応をしてくれると介護者の不安も少なくなると感じる。
対人関係が確立できない。
サービスが合っていない。
18歳以上の人向けのデイサービス(土日祝日)を充実してほしい。
インターネット
施設入所中

※各項目1件ずつのため、件数の表記は省略しています。

問 23 あなたの世帯の主な収入源は何ですか(MA)

あなたの世帯の主な収入源についてみると、「年金」が 71.6%と最も高く、次いで「給料・賃金」が 27.5%、「家族からの援助」が 11.6%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「年金」が 77.3%、【療育】では「年金」が 68.2%、【精神】では「年金」が 59.0%とそれぞれ最も高くなっています。

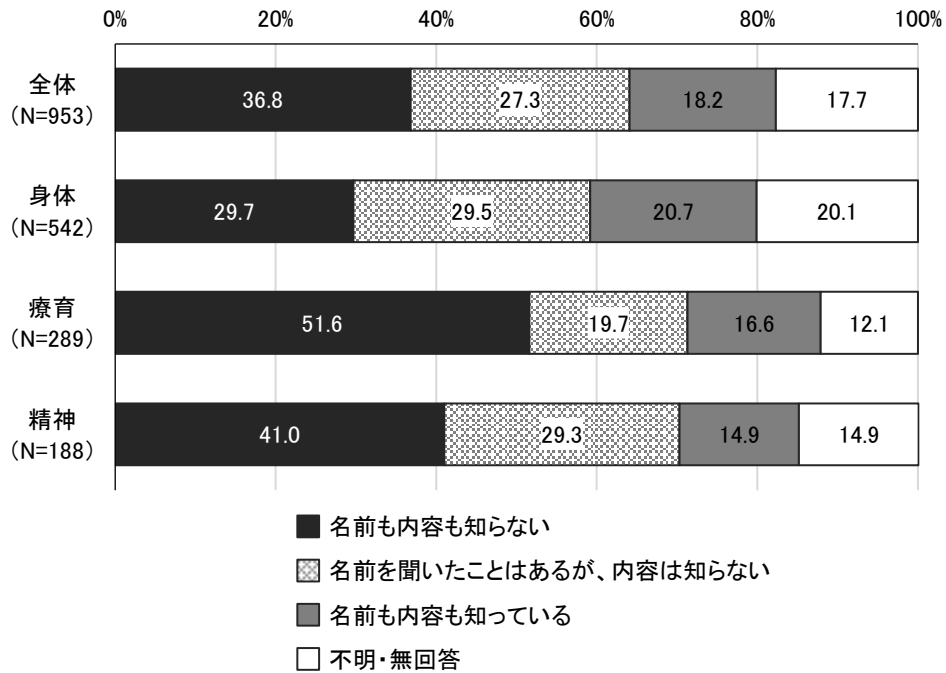


内容	件数
生活保護	7

問 24 成年後見制度の認知度(SA)

成年後見制度の認知度についてみると、「名前も内容も知らない」が 36.8%と最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が 27.3%、「名前も内容も知っている」が 18.2%となっています。

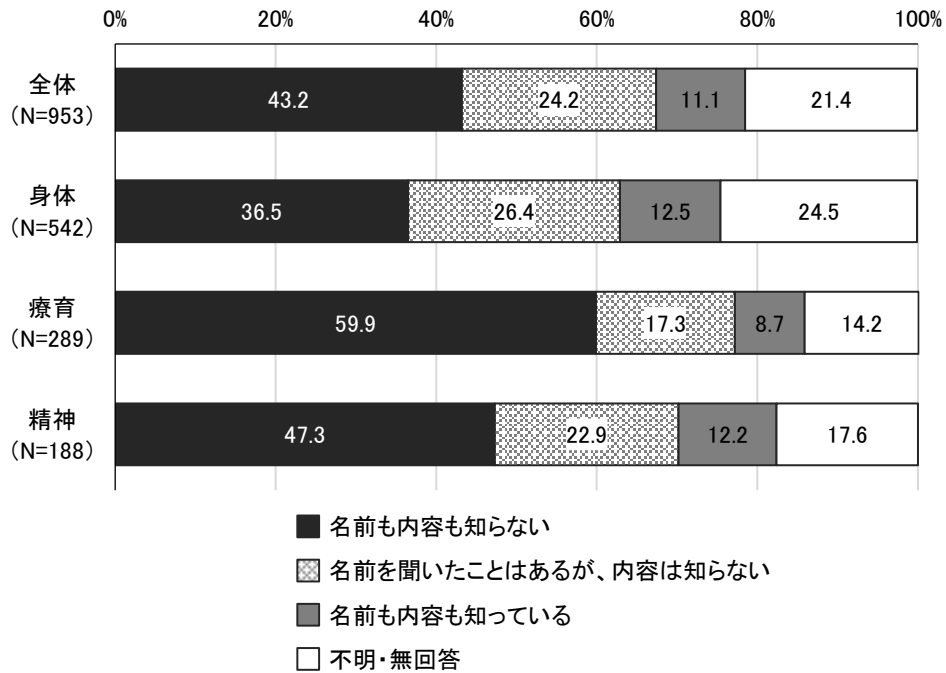
また、所持手帳別にみると、【身体】では「名前も内容も知らない」が 29.7%、【療育】では「名前も内容も知らない」が 51.6%、【精神】では「名前も内容も知らない」が 41.0%とそれぞれ最も高くなっています。



問 24 日常生活自立支援事業の認知度(SA)

日常生活自立支援事業の認知度についてみると、「名前も内容も知らない」が43.2%と最も高く、次いで「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が24.2%、「名前も内容も知っている」が11.1%となっています。

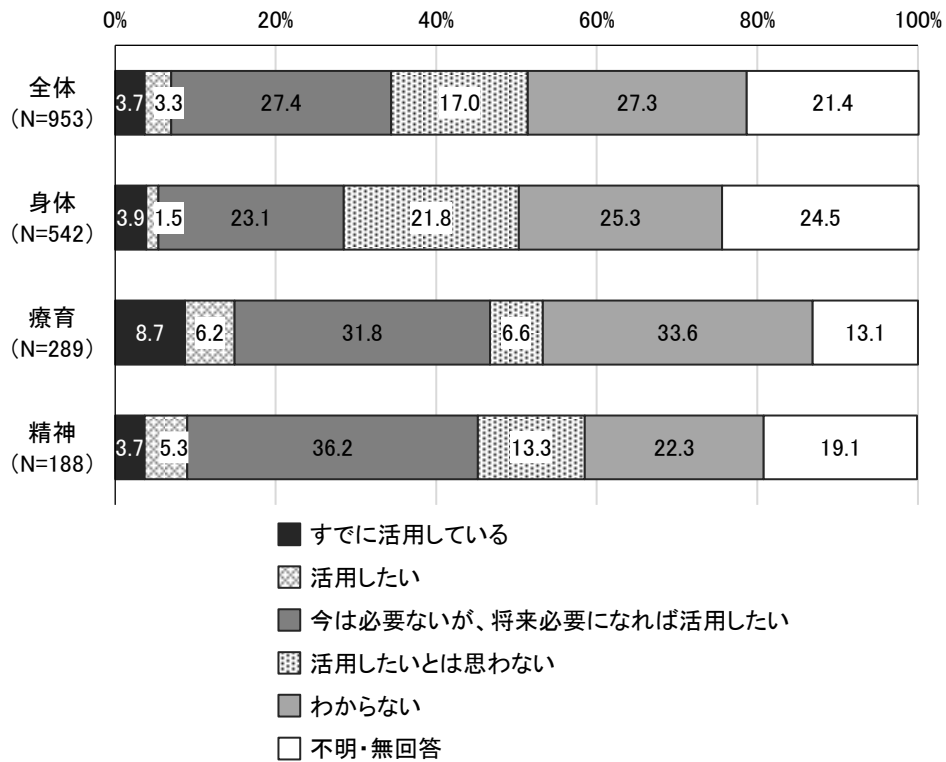
また、所持手帳別にみると、【身体】では「名前も内容も知らない」が36.5%、【療育】では「名前も内容も知らない」が59.9%、【精神】では「名前も内容も知らない」が47.3%とそれぞれ最も高くなっています。



問 25 成年後見制度の利用意向(SA)

成年後見制度の利用意向についてみると、「今は必要ないが、将来必要になれば活用したい」が27.4%と最も高く、次いで「わからない」が27.3%、「活用したいとは思わない」が17.0%となっています。

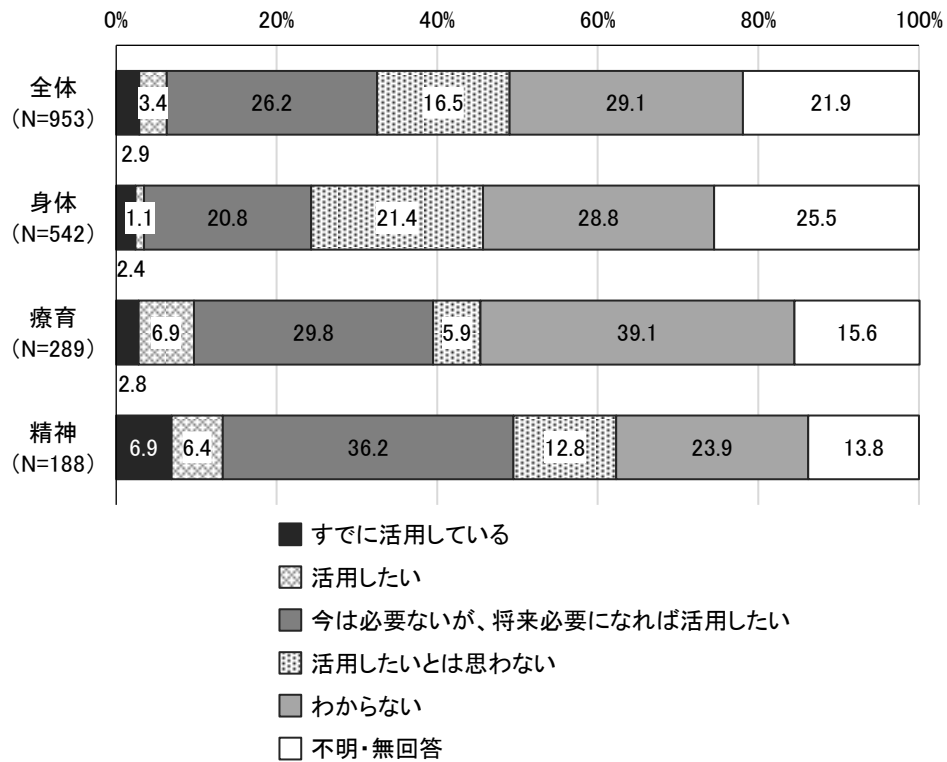
また、所持手帳別にみると、【身体】では「わからない」が25.3%、【療育】では「わからない」が33.6%、【精神】では「今は必要ないが、将来必要になれば活用したい」が36.2%とそれぞれ最も高くなっています。



問 25 日常生活自立支援事業の利用意向(SA)

日常生活自立支援事業の利用意向についてみると、「わからない」が 29.1%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来必要になれば活用したい」が 26.2%、「活用したいとは思わない」が 16.5%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「わからない」が 28.8%、【療育】では「わからない」が 39.1%、【精神】では「今は必要ないが、将来必要になれば活用したい」が 36.2%とそれぞれ最も高くなっています。

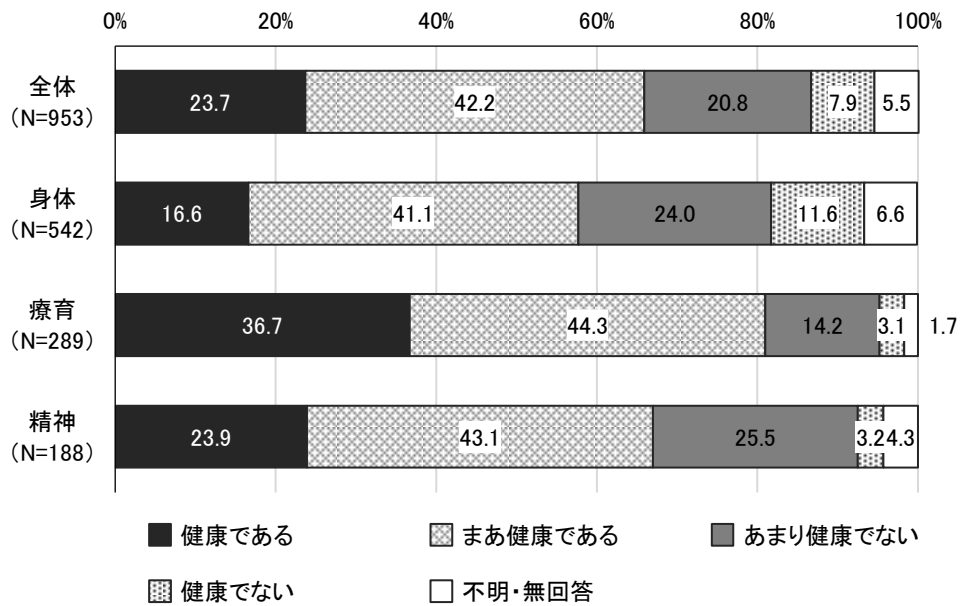


IV 医療・保健について

問 26 あなたの健康状態はいかがですか(SA)

健康状態についてみると、「まあ健康である」が 42.2%と最も高く、次いで「健康である」が 23.7%、「あまり健康でない」が 20.8%となっています。

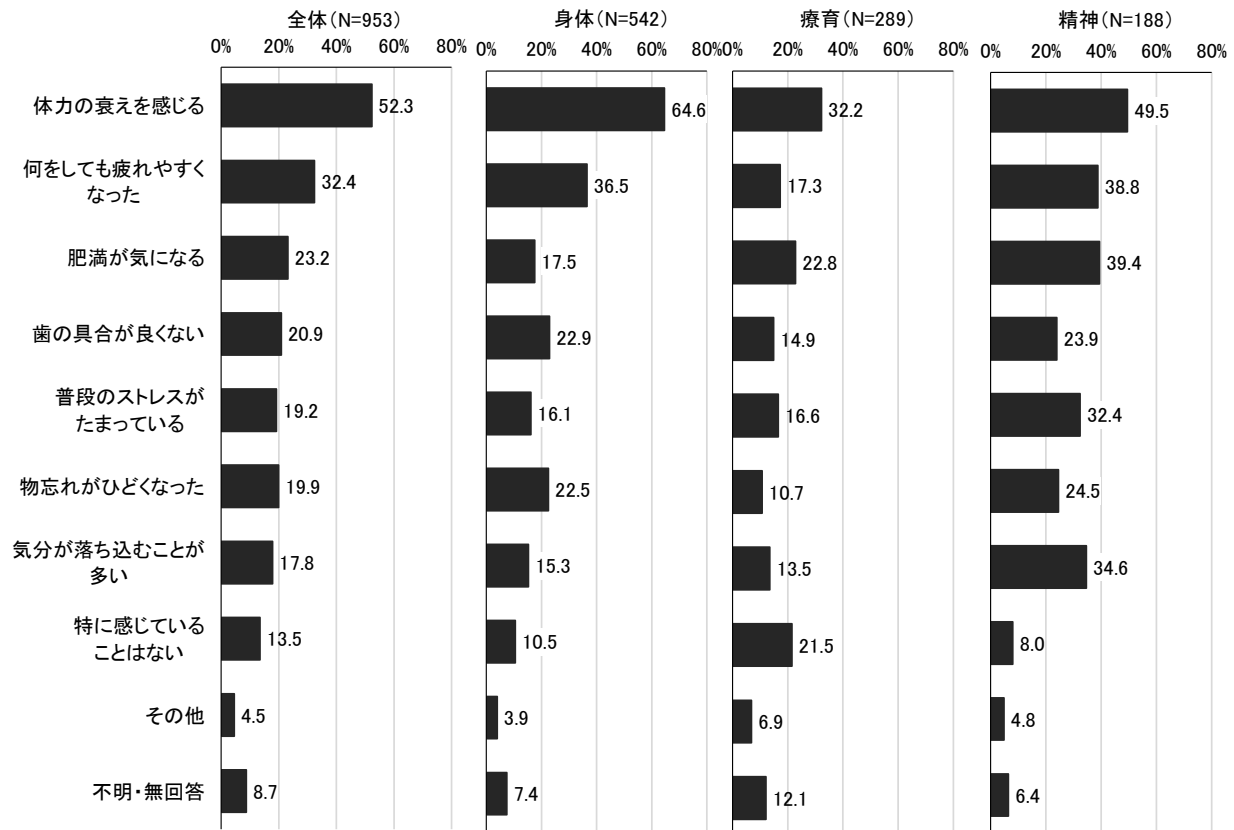
また、所持手帳別にみると、【身体】では「まあ健康である」が 41.1%、【療育】では「まあ健康である」が 44.3%、【精神】では「まあ健康である」が 43.1%とそれぞれ最も高くなっています。



問 27 最近、健康状態で、感じていることは何ですか(MA)

最近、健康状態で、感じていることについてみると、「体力の衰えを感じる」が 52.3%と最も高く、次いで「何をしても疲れやすくなった」が 32.4%、「肥満が気になる」が 23.2%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「体力の衰えを感じる」が 64.6%、【療育】では「体力の衰えを感じる」が 32.2%、【精神】では「体力の衰えを感じる」が 49.5%とそれぞれ最も高くなっています。



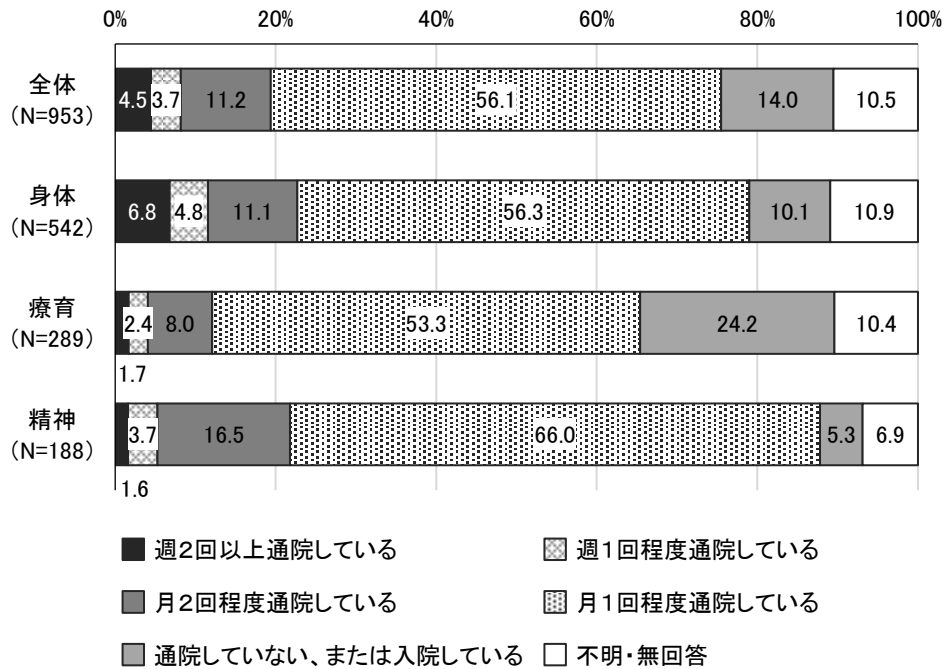
内容	件数
薬の副作用がある	3
現在、通院中	2
腰痛がある	2
病気である	1
持病以外に新たな病気になっているかもしれないこと	1
持病の状態	1
寝たきり	1
眠れない	1
あまり食欲がない	1

内容	件数
足が弱くなっている	1
歩けなくなっている	1
膝が痛い	1
耳が遠くなった	1
仕事をしている時や終わった後に疲れる	1
ノイローゼ	1
職場環境の状態	1
社会と交流を持ちたい	1
人との対応をどうしたら良いのかわからない	1

問 28 あなたは通院していますか。また、通院の頻度はどのくらいですか(SA)

通院の頻度についてみると、「月1回程度通院している」が56.1%と最も高く、次いで「通院していない、または入院している」が14.0%、「月2回程度通院している」が11.2%となっています。

また、所持手帳別に見ると、【身体】では「月1回程度通院している」が56.3%、【療育】では「月1回程度通院している」が53.3%、【精神】では「月1回程度通院している」が66.0%とそれぞれ最も高くなっています。

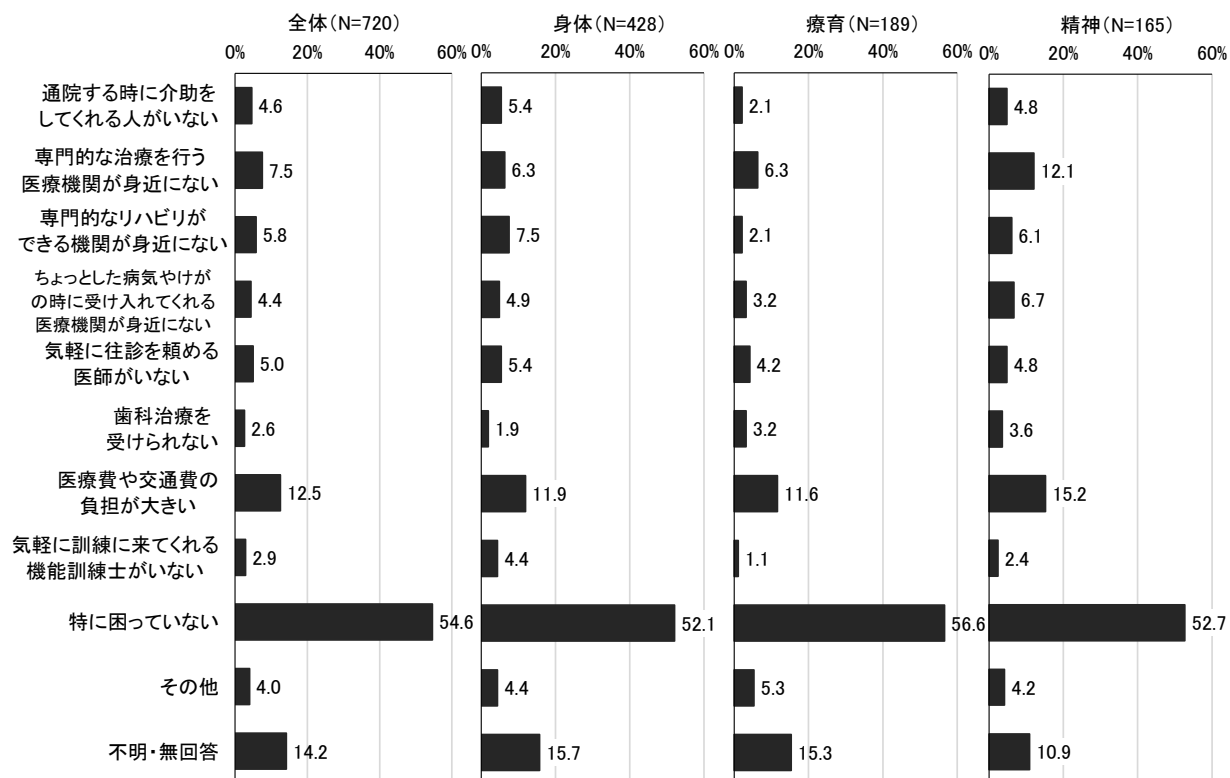


問 28 で「1～4」と回答した「通院している」方のみ

問 29 通院などでお困りのことはありますか(MA)

通院などでの困りごとについてみると、「特に困っていない」が 54.6%と最も高く、次いで「医療費や交通費の負担が大きい」が 12.5%、「専門的な治療を行う医療機関が身近にない」が 7.5%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「特に困っていない」が 52.1%、【療育】では「特に困っていない」が 56.6%、【精神】では「特に困っていない」が 52.7%とそれぞれ最も高くなっています。



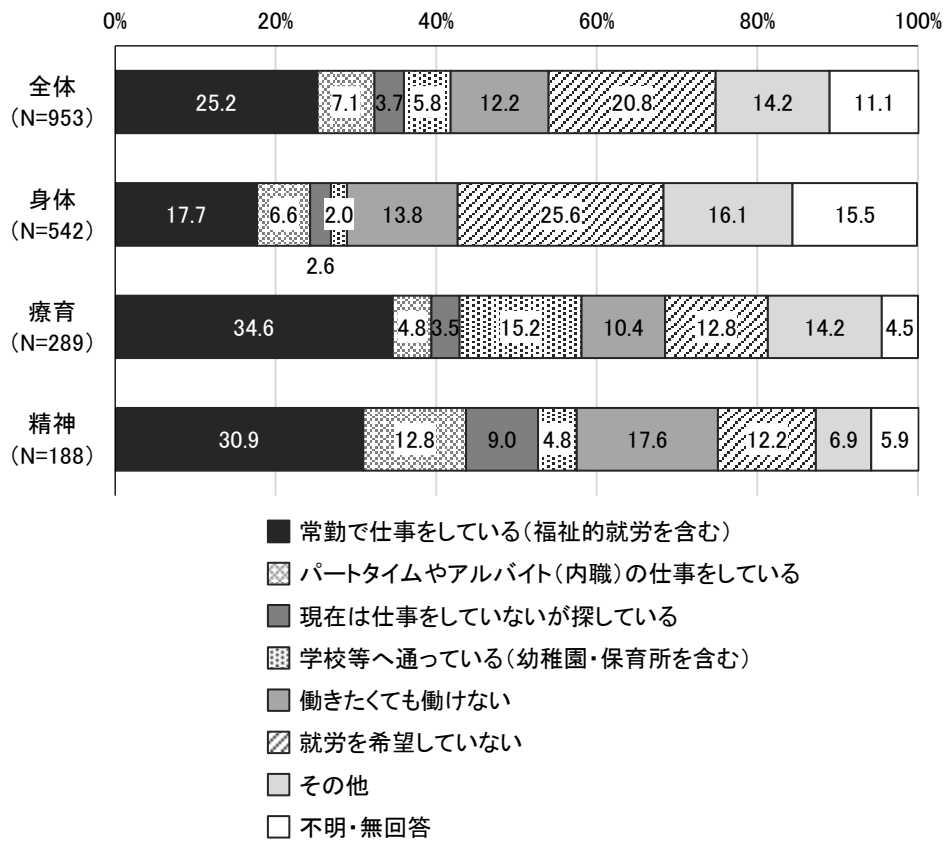
内容	件数
病院が遠い。	2
病院まで送迎してくれる人が高齢になるため、自動車の運転が心配である。	1
交通の便が少ない。	1
交通手段が乗りたい時間に利用できない。	1
調子の悪いときや雨天のときは通院しにくい。	1
運転免許証返納した後の交通手段に困ること。	1
体調が悪いときに車を運転して通院しなければならないこと	1
病院の車いす用駐車場に屋根がない、オムツを替えるベッドがない	1
透析など決められた通院日であるときは問題ないが、急な病気などは介助者である家族が仕事があるため困っている。	1
介助者である親が通院時にトイレなどに行くときに一時的に預かってほしい。	1
眼科で目薬を点眼された後は1人で帰宅しづらい。	1
薬の副作用と考えられる事項があるため病院を変えようか悩んでいる	1
外に出ることが不安なため母親が薬を取りに行ったり代診をしている。	1
かかりつけの病院が一ヶ所しかないため、薬や症状のことを他の病院で聞いてみたい。	1
予約診察が多く、自分の時間と合わないことが多い。	1
かかりつけ医が決まっていない。どうやって決めたら良いのかわからない。	1
1人では対応しにくい。	1
リハビリの回数や受けたいリハビリが人数が多いため受けられない。	1
色々な科で受診しなければならないこと	1
新型コロナウイルス感染症の影響で検査に行けない。	1
看護師のサービスが悪い	1
なかなか状態が良くならない。	1

V 仕事や日中の生活について

問 30 日中は主にどのように過ごされていますか(SA)

日中の主な過ごし方についてみると、「常勤で仕事をしている(福祉的就労を含む)」が 25.2%と最も高く、次いで「就労を希望していない」が 20.8%、「その他」が 14.2%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「就労を希望していない」が 25.6%、【療育】では「常勤で仕事をしている(福祉的就労を含む)」が 34.6%、【精神】では「常勤で仕事をしている(福祉的就労を含む)」が 30.9%とそれぞれ最も高くなっています。



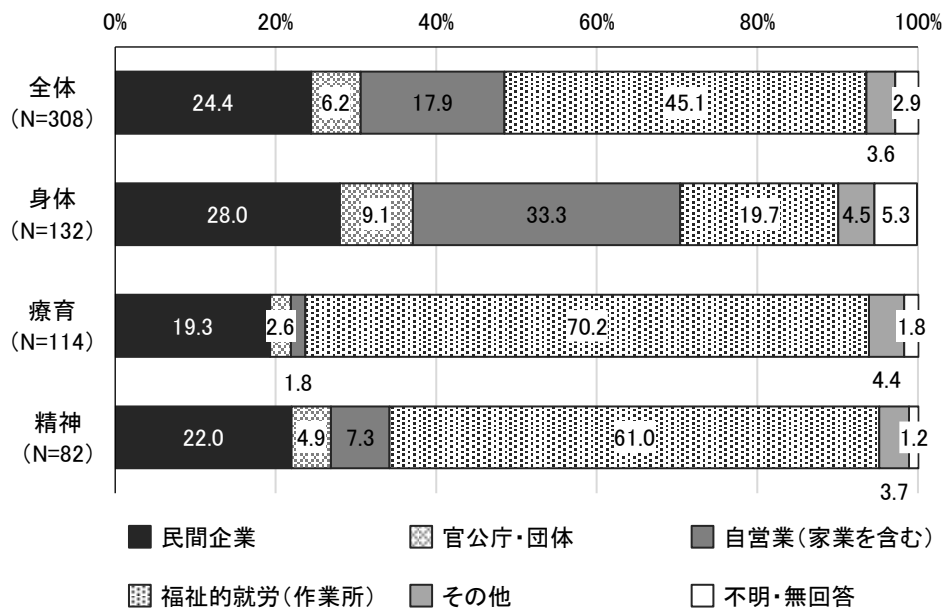
内容	件数
施設で過ごしている	19
生活介護事業を利用している	15
自宅で過ごしている	12
農作業	11
家事・買い物	10
働いていない	4
寝ている	3
家事をしながら趣味をしている	2
テレビやラジオの視聴、友人との電話	2
運動、ドライブ	2
家族の介護をしている	2
ベッドや車いすでの生活	2
何もしていない	2
自宅で療養している	2
入院している	2
特別養護老人ホームに入っている	2
作業所に行っている	2
家でパソコン出品用製品の制作をしている	1
自宅で読書、リハビリ、自主トレに取り組んでいる	1
今まで働いて自立したことがない	1
闘病生活	1
年金暮らし	1
高齢者施設に入居	1

問 30 で「1～2」と回答した「仕事をしている」方のみ

問 31(1) 就労先 (SA)

就労先についてみると、「福祉的就労(作業所)」が 45.1%と最も高く、次いで「民間企業」が 24.4%、「自営業(家業を含む)」が 17.9%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「自営業(家業を含む)」が 33.3%、【療育】では「福祉的就労(作業所)」が 70.2%、【精神】では「福祉的就労(作業所)」が 61.0%とそれぞれ最も高くなっています。

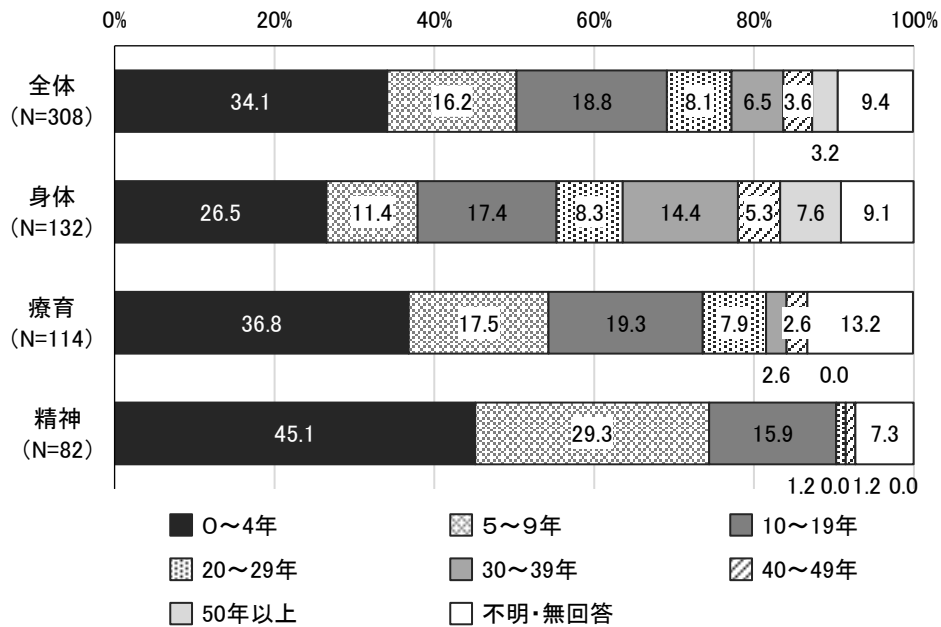


内容	件数
病院関係	2
介護補助員として働いている	1
生活介護事業所	1
福祉事業所	1
NPO 法人	1
花木採取	1
自宅で内職	1
会社	1
アパート型の施設を利用したい	1

問 31(2) 現在の仕事の就労期間(数量)

現在の仕事の就労期間についてみると、「0～4年」が34.1%と最も高く、次いで「10～19年」が18.8%、「5～9年」が16.2%となっています。

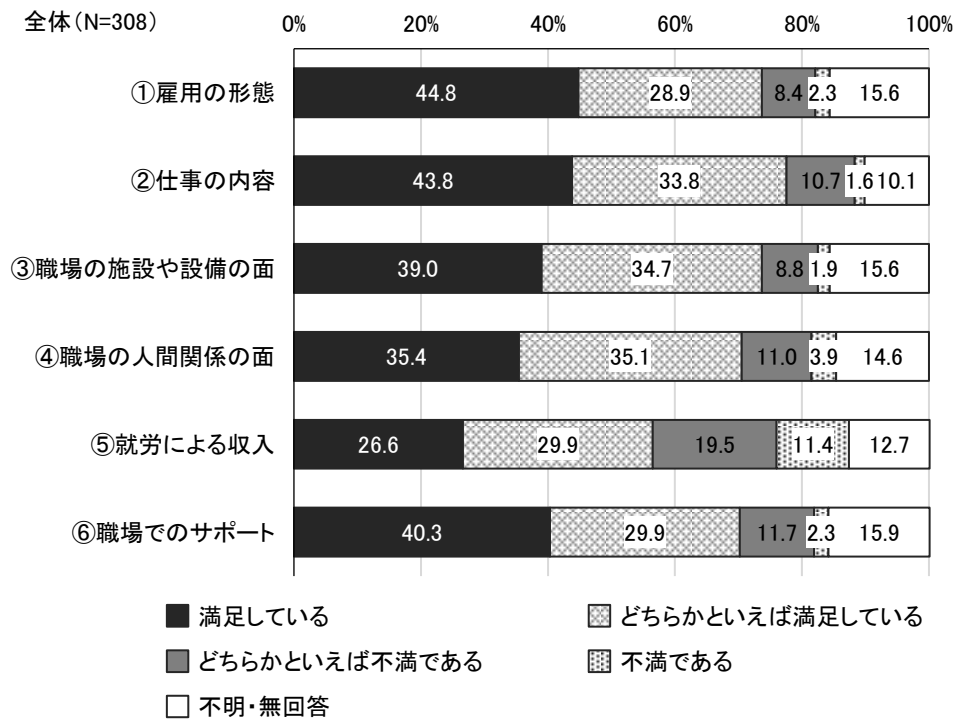
また、所持手帳別にみると、【身体】では「0～4年」が26.5%、【療育】では「0～4年」が36.8%、【精神】では「0～4年」が45.1%とそれぞれ最も高くなっています。



問 31(3) 現在の仕事や職場に対する満足度(SA)

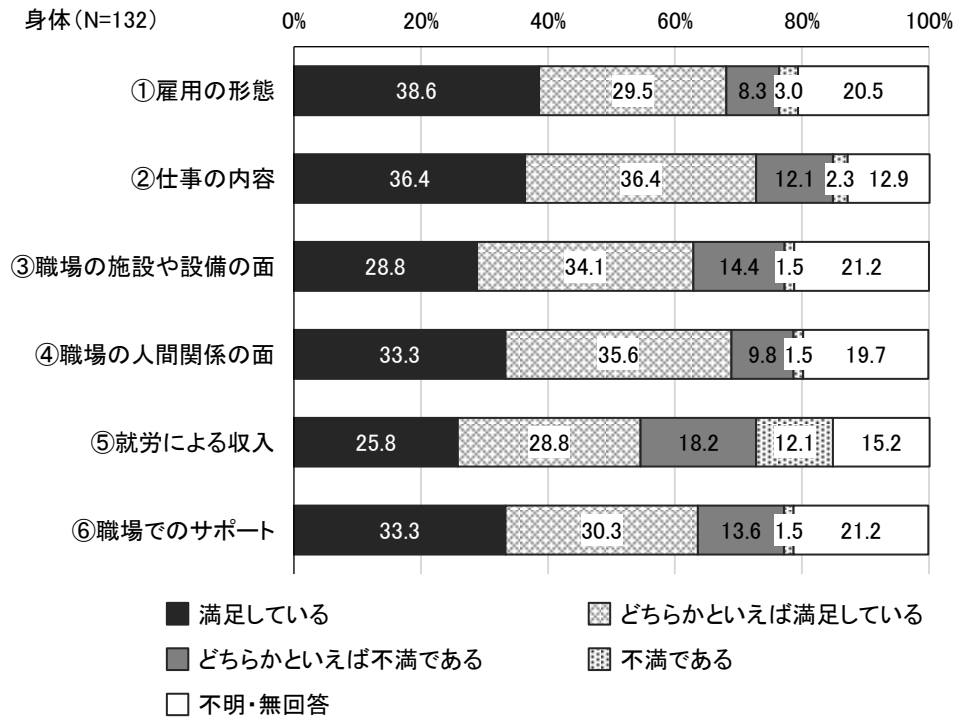
現在の仕事や職場に対する満足度についてみると、『①雇用の形態』『②仕事の内容』『③職場の施設や設備の面』『④職場の人間関係の面』『⑥職場でのサポート』は「満足」(「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計)が7割以上となっています。

また、『⑤就労による収入』は「不満」(「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計)が30.9%と他の項目よりも高い割合となっています。



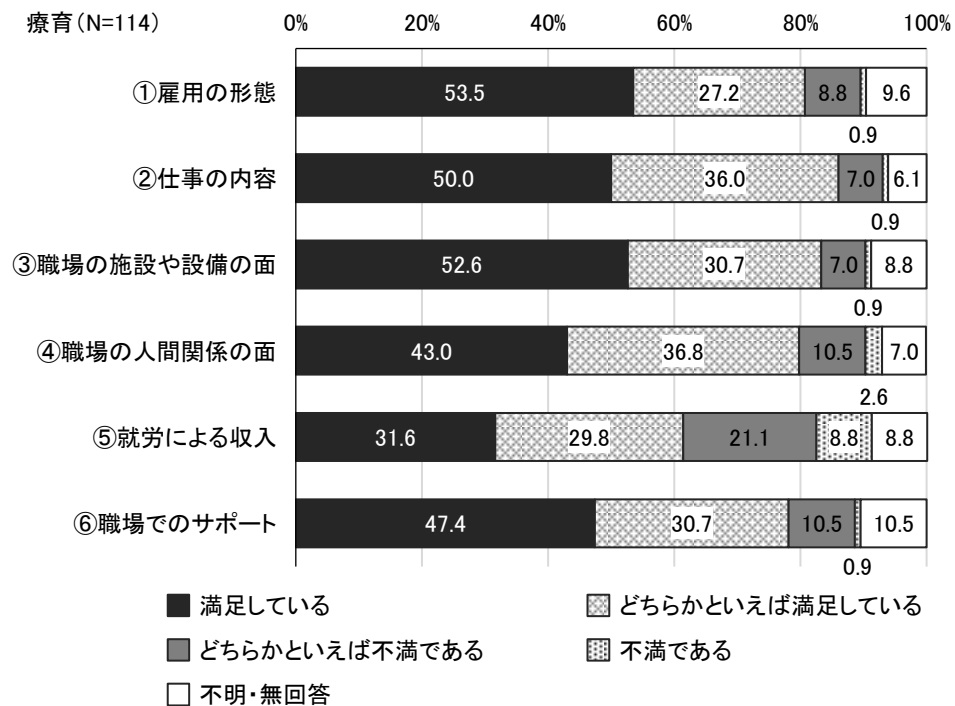
身体障害者手帳所持者の現在の仕事や職場に対する満足度についてみると、『①雇用の形態』『②仕事の内容』『③職場の施設や設備の面』『④職場の人間関係の面』『⑤就労による収入』『⑥職場でのサポート』のすべての項目で「満足」が5割以上となっています。

また、『⑤就労による収入』は「不満」が30.3%と他の項目よりも高い割合となっています。



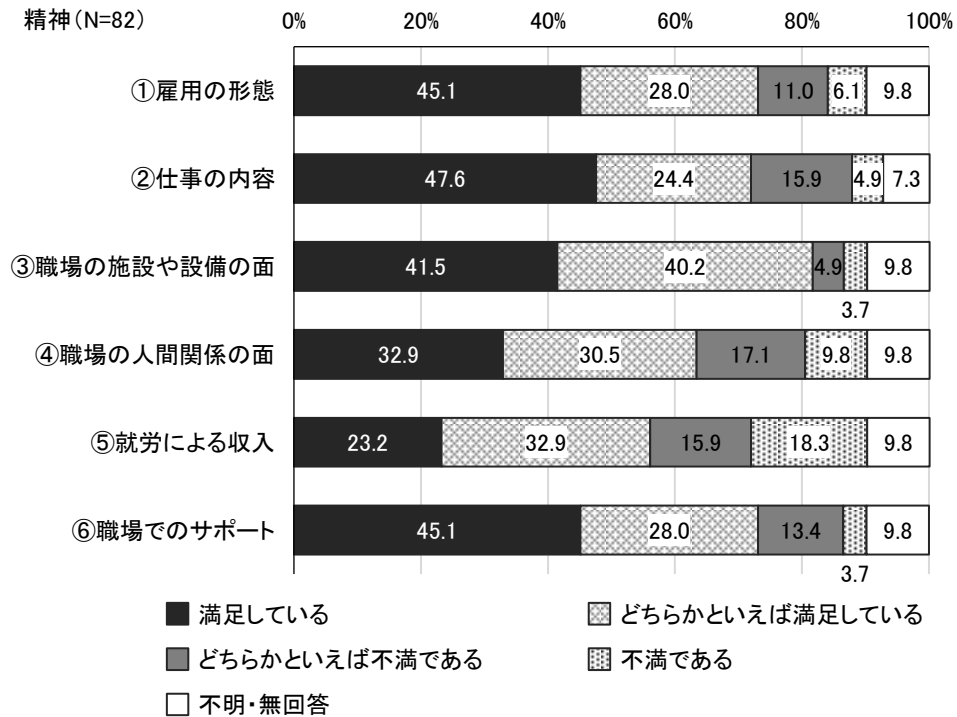
療育手帳所持者の現在の仕事や職場に対する満足度についてみると、『①雇用の形態』『②仕事の内容』『③職場の施設や設備の面』『④職場の人間関係の面』『⑤就労による収入』『⑥職場でのサポート』のすべての項目で「満足」が6割以上となっています。

また、『⑤就労による収入』は「不満」が29.9%と他の項目よりも高い割合となっています。



精神障害者保健福祉手帳所持者の現在の仕事や職場に対する満足度についてみると、『①雇用の形態』『②仕事の内容』『③職場の施設や設備の面』『⑥職場でのサポート』で「満足」が7割以上となっています。

また、『⑤就労による収入』は「不満」が34.2%と他の項目よりも高い割合となっています。

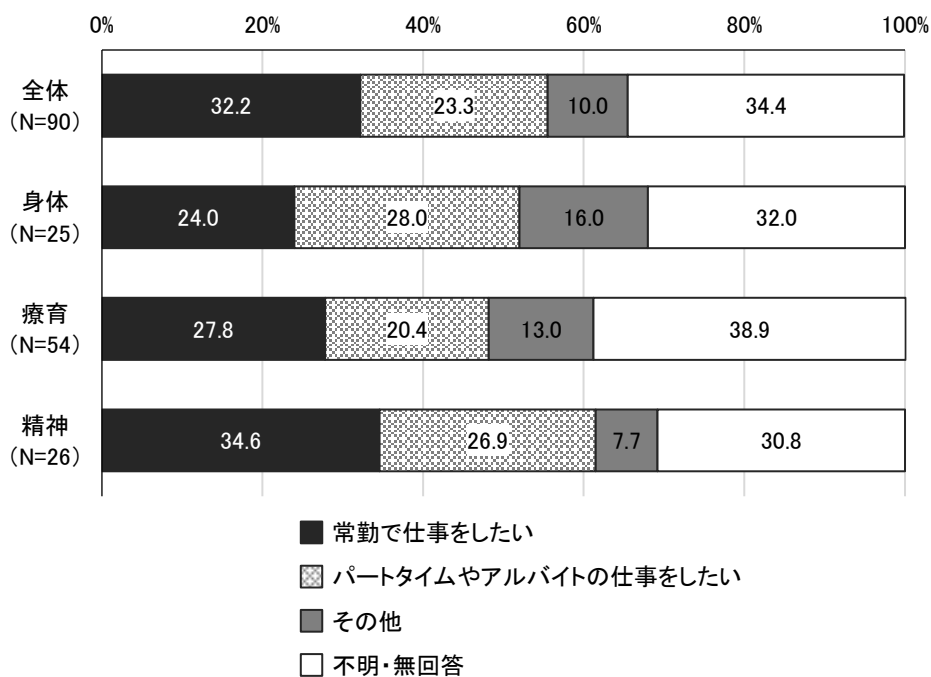


問 30 で「3. 現在は仕事をしていないが探している」または「4. 学校等へ通っている(幼稚園・保育所を含む)」と回答した方のみ

問 32 ①就労の形態(希望)(SA)

就労の形態(希望)についてみると、「常勤で仕事をしたい」が 32.2%と最も高く、次いで「パートタイムやアルバイトの仕事をしたい」が 23.3%、「その他」が 10.0%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「パートタイムやアルバイトの仕事をしたい」が 28.0%、【療育】では「常勤で仕事をしたい」が 27.8%、【精神】では「常勤で仕事をしたい」が 34.6%とそれぞれ最も高くなっています。

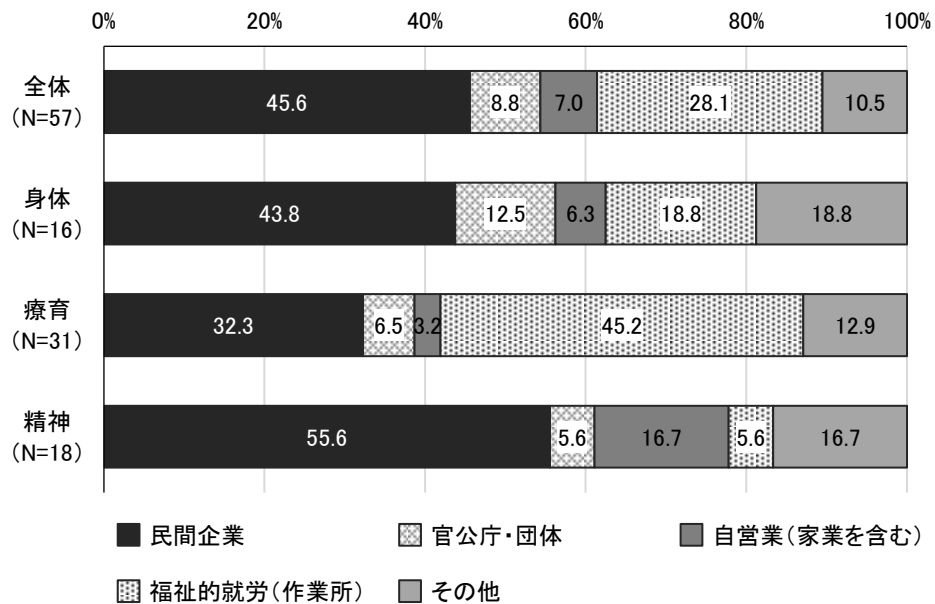


問 32 ②就労先(希望)(SA)

②就労先(希望)についてみると、「民間企業」が 45.6%と最も高く、次いで「福祉的就労(作業所)」が 28.1%、「その他」が 10.5%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「民間企業」が 43.8%、【療育】では「福祉的就労(作業所)」が 45.2%、【精神】では「民間企業」が 55.6%とそれぞれ最も高くなっています。

※「不明・無回答」は除く



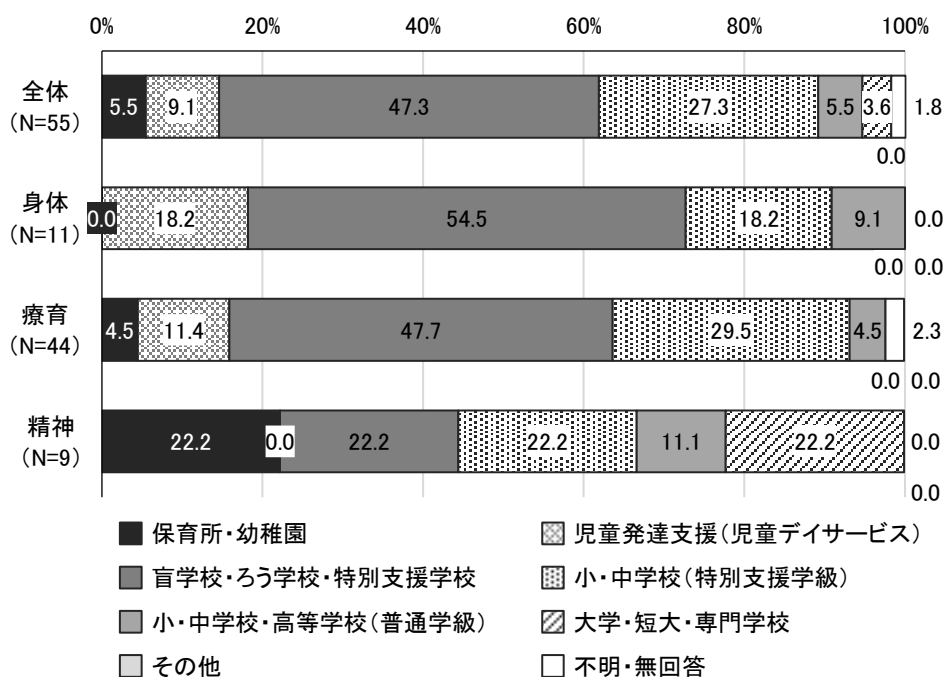
内容	件数
内職がしたい	2
自宅勤務	2
会社	1
どこでも良い	1
週3回位でできる仕事	1

問 30 で「3. 現在は仕事をしていないが探している」と回答した方のみ

問 33(1) あなたの通所・通学先は次のどれにあたりますか(SA)

通所・通学先についてみると、「盲学校・ろう学校・特別支援学校」が 47.3%と最も高く、次いで「小・中学校(特別支援学級)」が 27.3%、「児童発達支援(児童デイサービス)」が 9.1%となっています。

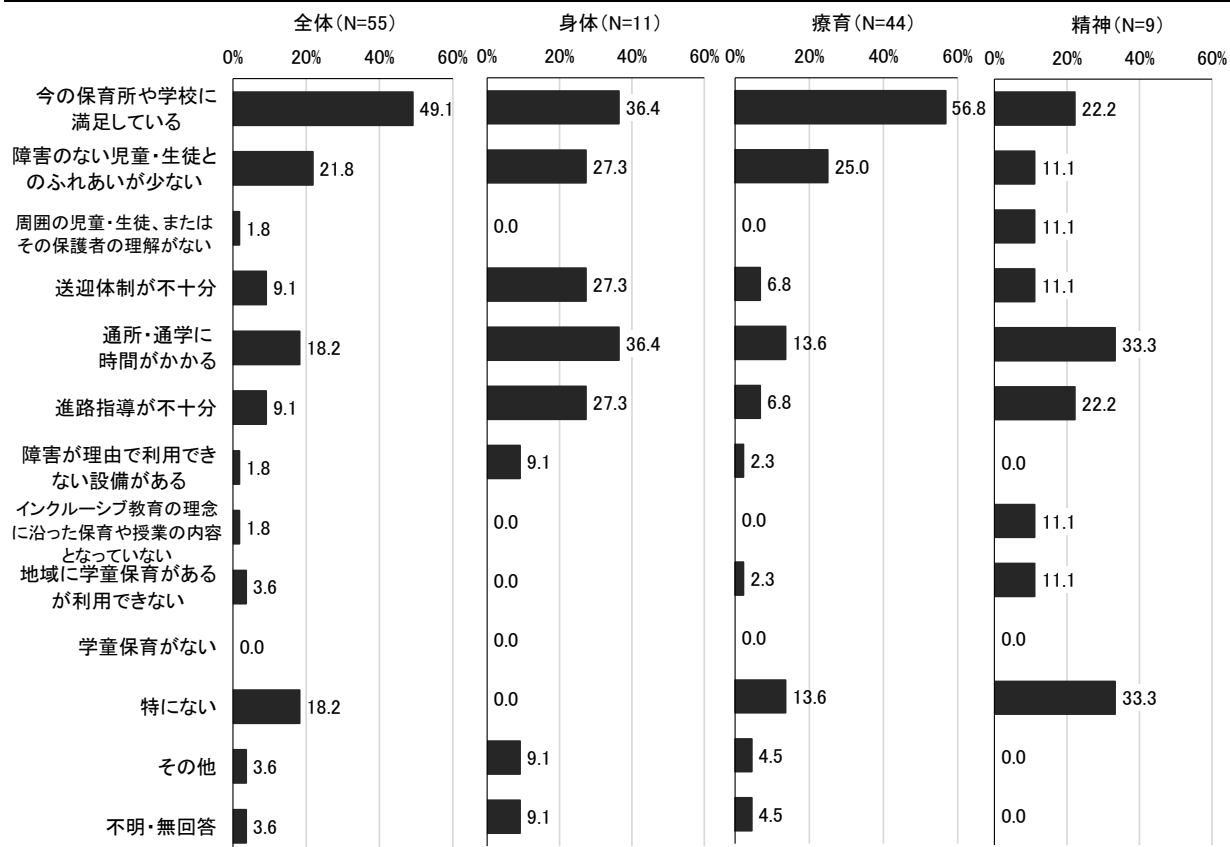
また、所持手帳別にみると、【身体】では「盲学校・ろう学校・特別支援学校」が 54.5%、【療育】では「盲学校・ろう学校・特別支援学校」が 47.7%、【精神】では「保育所・幼稚園」が 22.2%とそれぞれ最も高くなっています。



問 33(2) 通所・通学していて感じることは何ですか(MA)

通所・通学していて感じることにしてみると、「今の保育所や学校に満足している」が 49.1%と最も高く、次いで「障害のない児童・生徒とのふれあいが少ない」が 21.8%、「通所・通学に時間がかかる」が 18.2%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「今の保育所や学校に満足している」「通所・通学に時間がかかる」がともに 36.4%、【療育】では「今の保育所や学校に満足している」が 56.8%、【精神】では「通所・通学に時間がかかる」「特にない」がともに 33.3%とそれぞれ最も高くなっています。



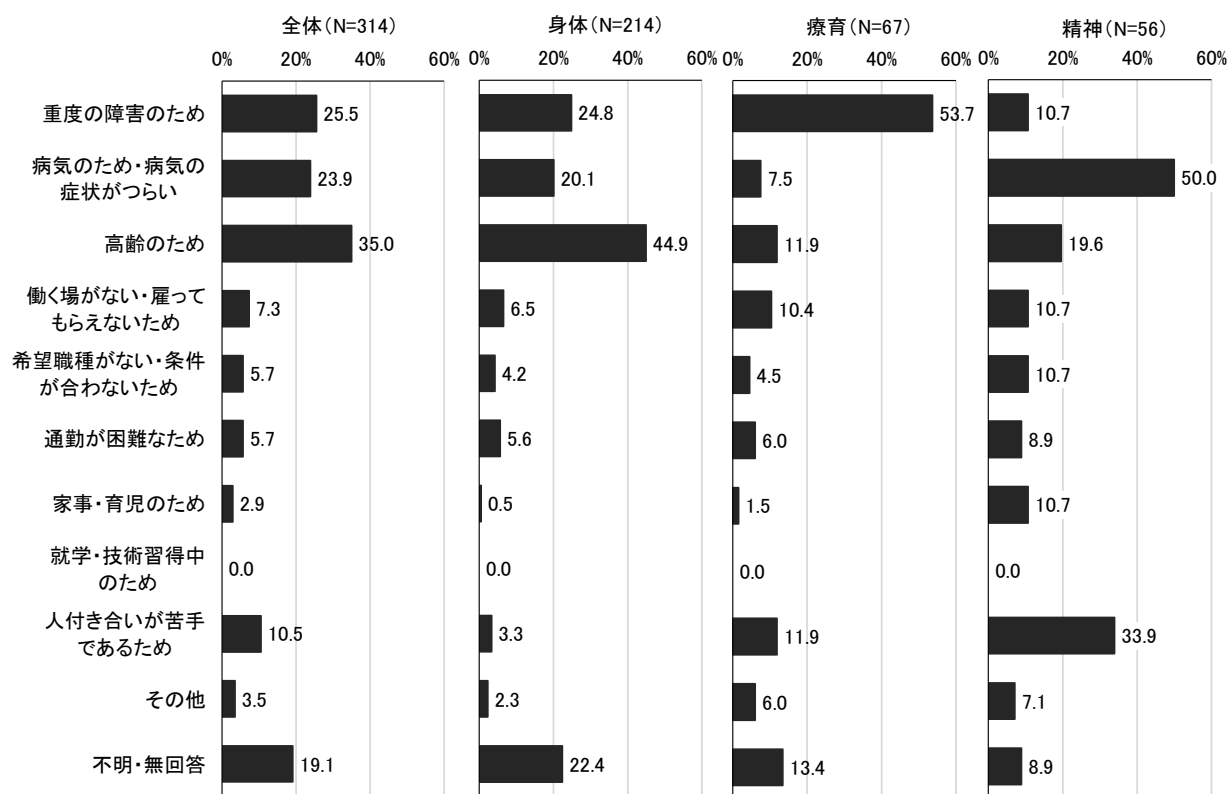
内容	件数
医療的ケアがあることで行ける時間が決まってしまう(短い)	1

問 30 で「5. 働きたくても働けない」または「6. 就労を希望していない」と回答した方のみ

問 34 働けない理由は何ですか(MA)

働けない理由についてみると、「高齢のため」が 35.0%と最も高く、次いで「重度の障害のため」が 25.5%、「病気のため・病気の症状が辛い」が 23.9%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「高齢のため」が 44.9%、【療育】では「重度の障害のため」が 53.7%、【精神】では「病気のため・病気の症状が辛い」が 50.0%とそれぞれ最も高くなっています。

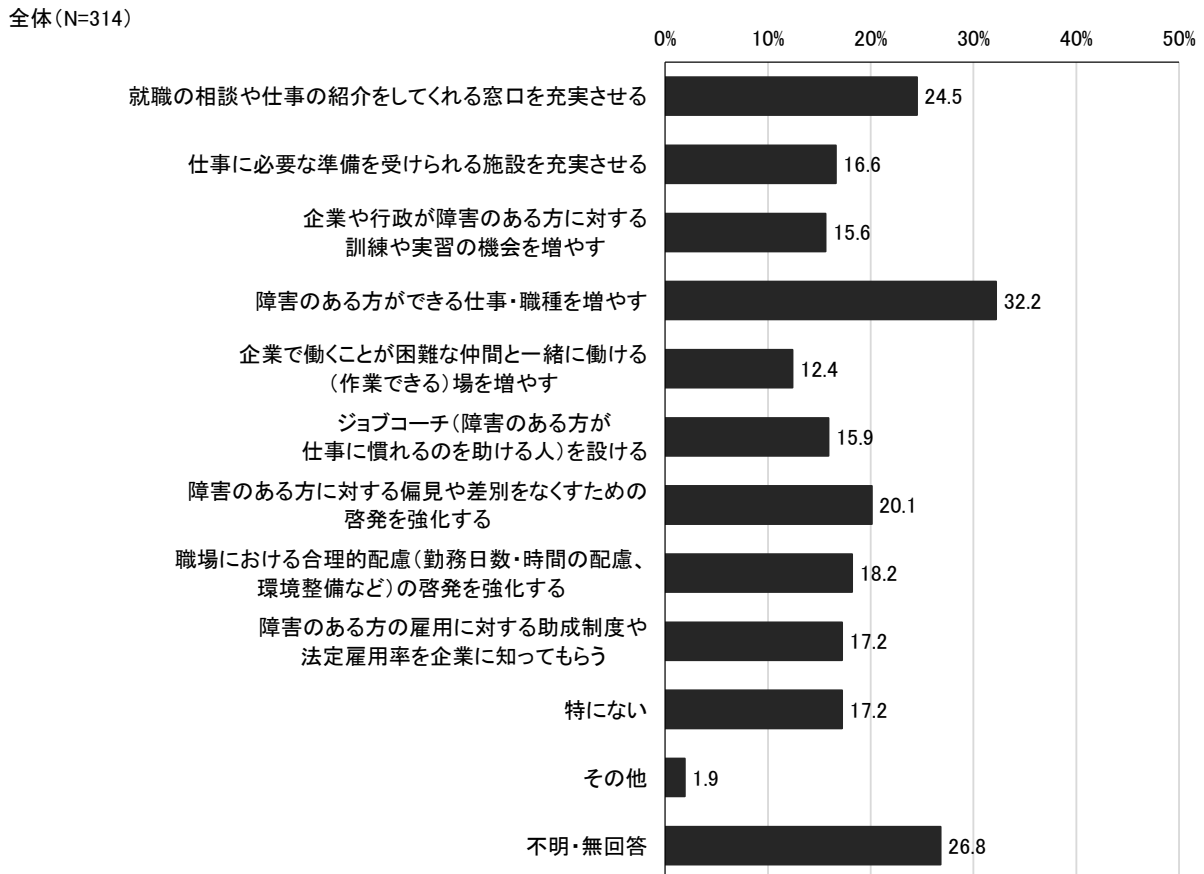


内容	件数
現状のままが良いため	2
骨折してリハビリを受けている	1
ケガの後遺症	1
知的障害で歩行困難	1
気分が安定せず、毎日予定通りには働けないため	1
双極性障害であるため調子が悪くなると仕事に行けなくなるため	1
ストレスを増やしたくないため	1
施設に入所しているため	1
年金生活	1
働かなくても生活できるため	1

問 35 企業などで安心して働ける環境づくりに向けて、どのようなことが必要だと思いますか(MA)

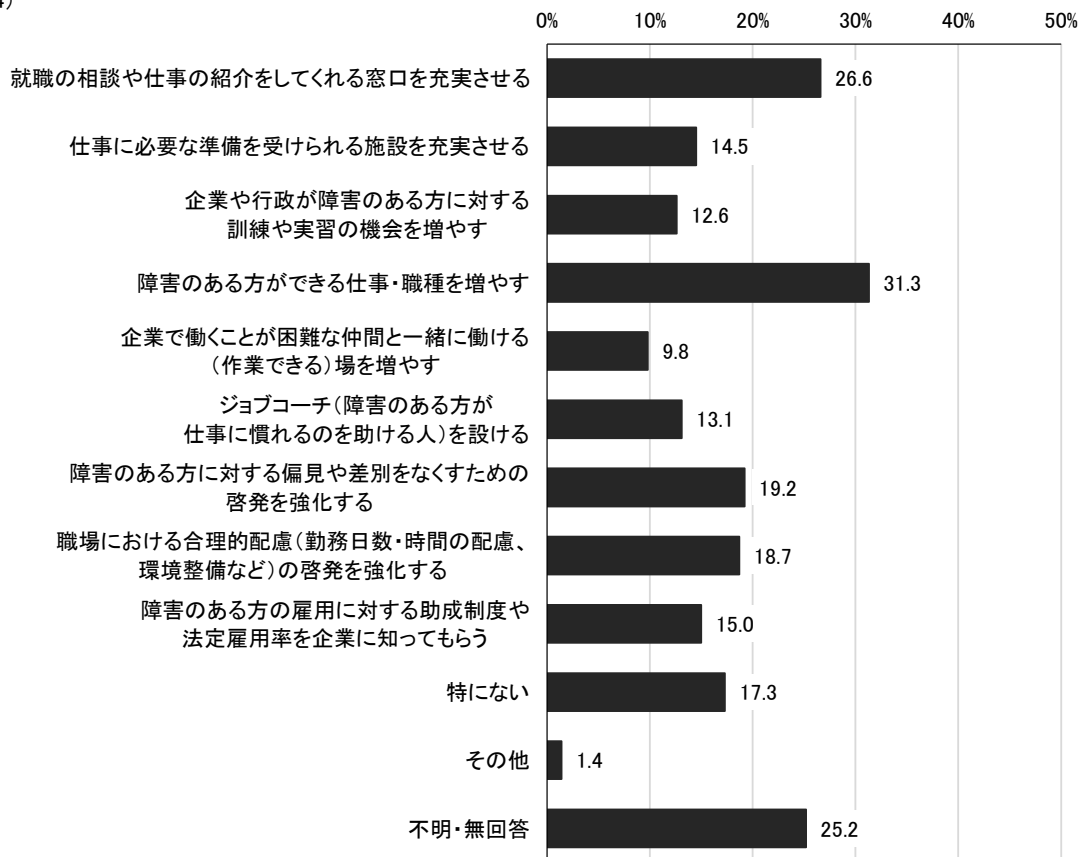
企業などで安心して働ける環境づくりに向けて必要だと思うことについてみると、「障害のある方ができる仕事・職種を増やす」が 32.2%と最も高く、次いで「就職の相談や仕事の紹介をしてくれる窓口を充実させる」が 24.5%、「障害のある方に対する偏見や差別をなくすための啓発を強化する」が 20.1%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「障害のある方ができる仕事・職種を増やす」が 31.3%、【療育】では「障害のある方ができる仕事・職種を増やす」が 32.8%、【精神】では「障害のある方ができる仕事・職種を増やす」が 44.6%とそれぞれ最も高くなっています。

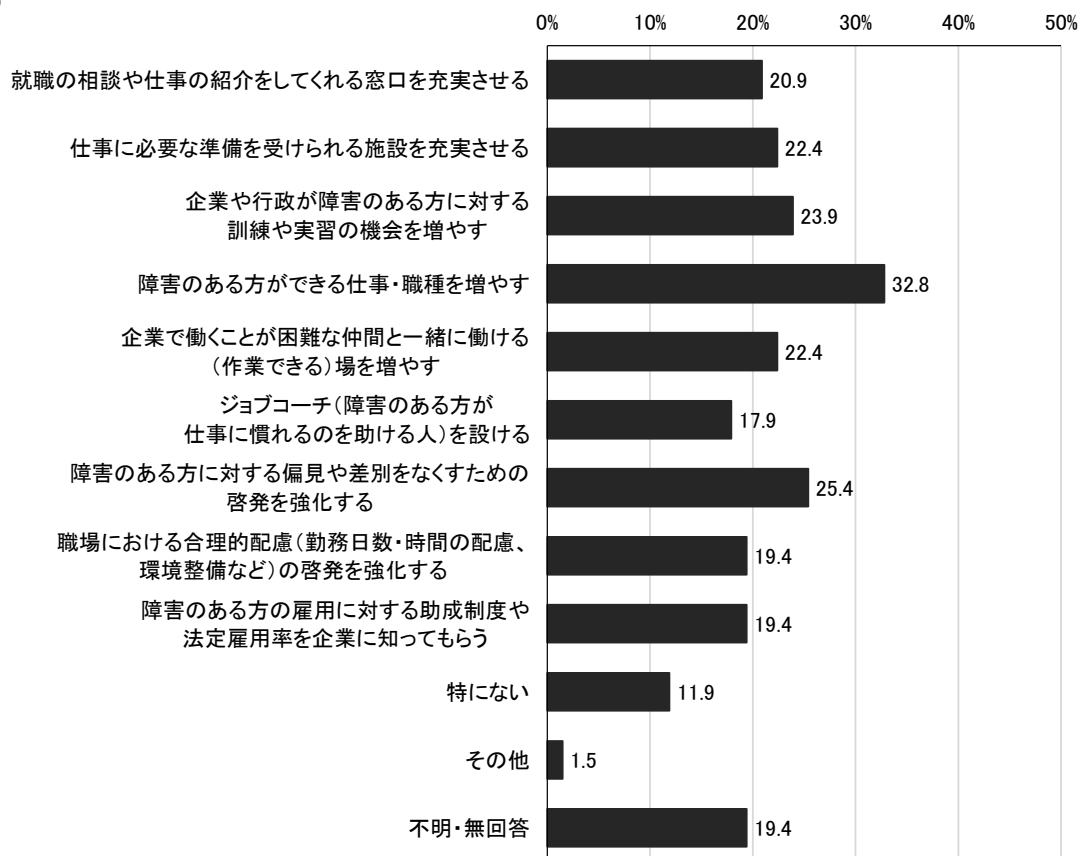


内容	件数
企業などが障害者への対応を知らない	1
障害への理解、個人の理解をしてほしい	1
障害の度合いによって必要なことは変わると思う	1
平常時より個々に応じたメンタルヘルスケアを行い、働くことへの意欲を高める	1
自宅で短時間でできる仕事が障害者にも割り当ててほしい	1
社会保険や労働環境の整備	1

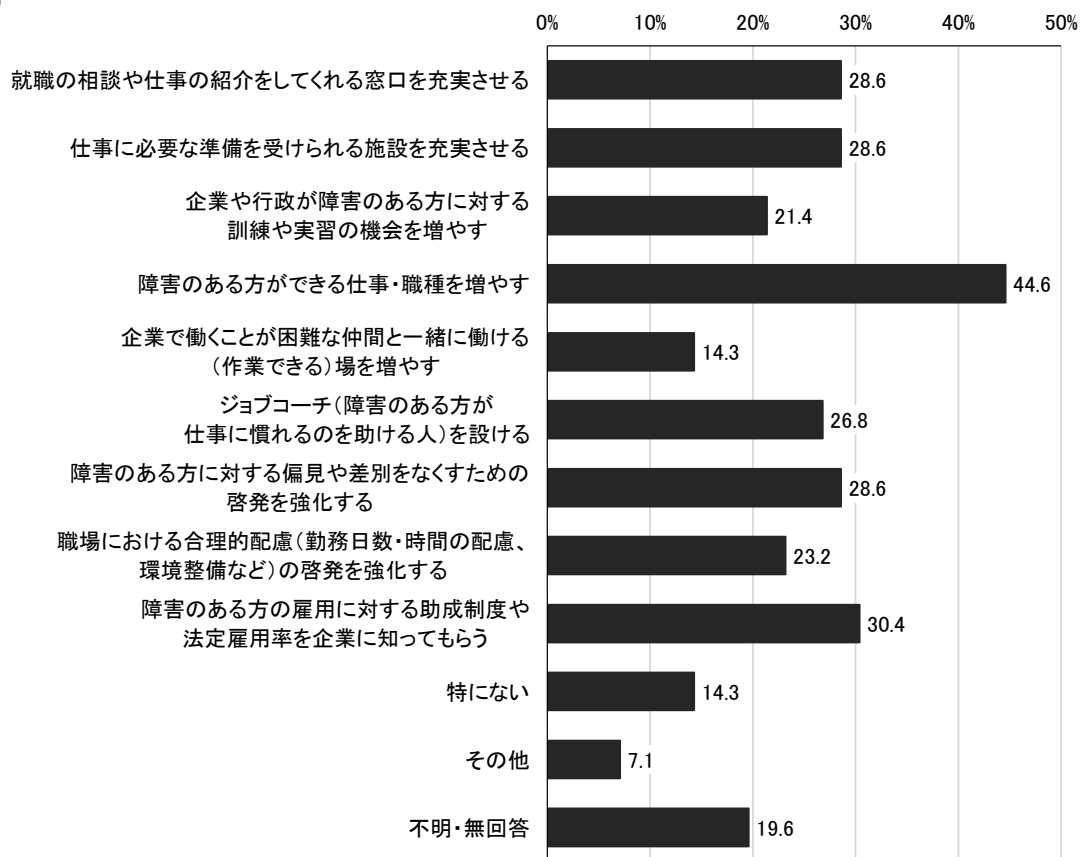
身体 (N=214)



療育 (N=67)



精神(N=56)

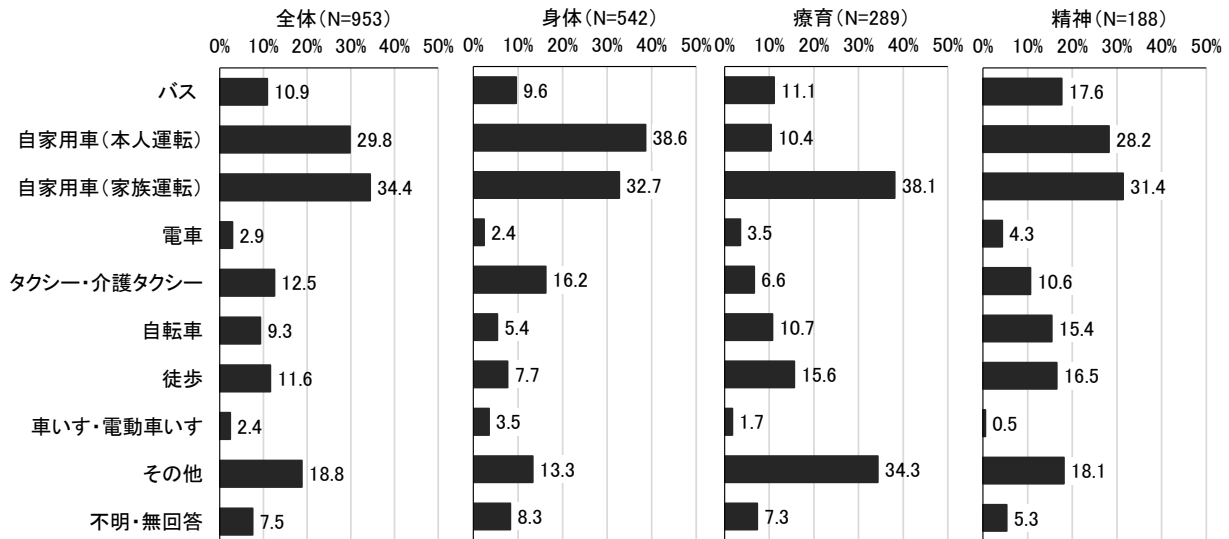


VI 生活全般について

問 36 通勤や通学、施設や病院への通院など、外出する上での交通手段は何ですか(MA)

通勤や通学、施設や病院への通院など、外出する上での交通手段についてみると、「自家用車(家族運転)」が 34.4%と最も高く、次いで「自家用車(本人運転)」が 29.8%、「タクシー・介護タクシー」が 12.5%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「自家用車(本人運転)」が 38.6%、【療育】では「自家用車(家族運転)」が 38.1%、【精神】では「自家用車(家族運転)」が 31.4%とそれぞれ最も高くなっています。

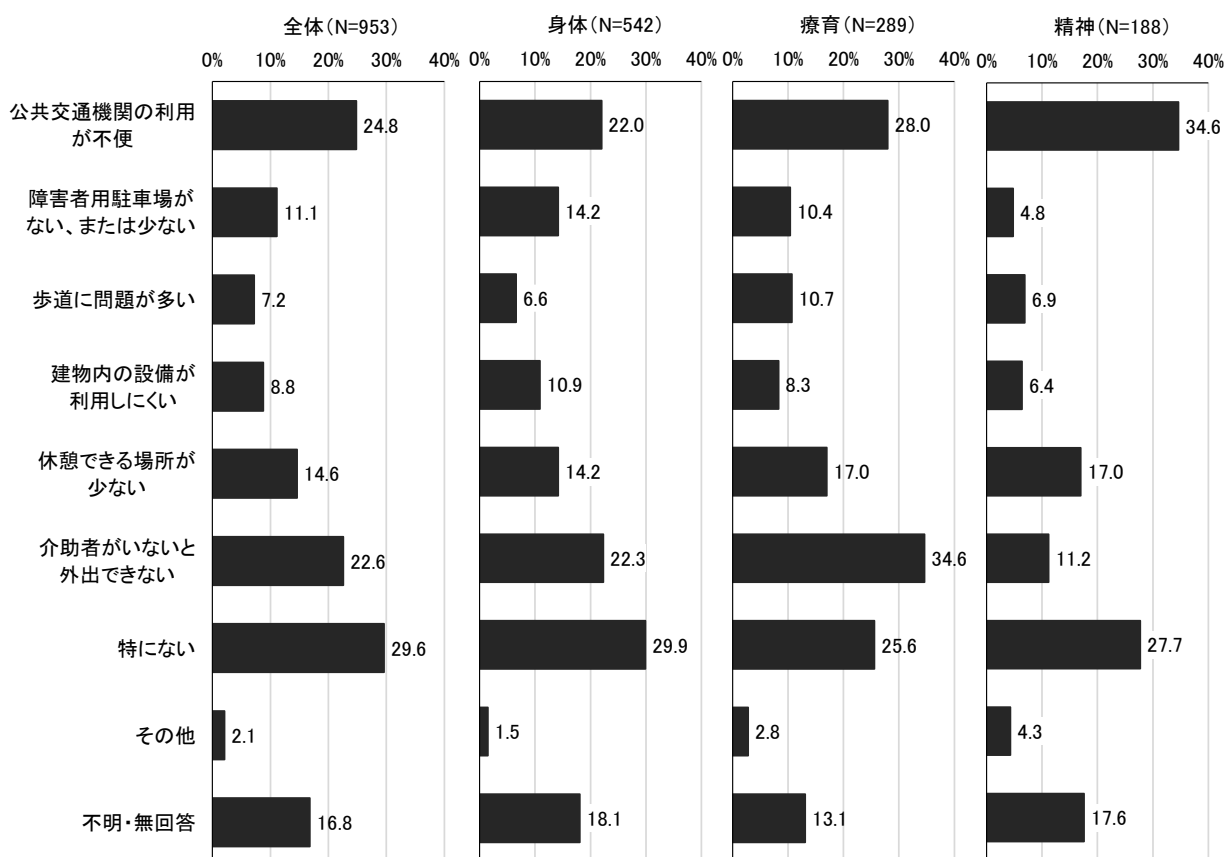


内容	件数
施設の車	75
バイク	48
送迎	7
作業所の車	5
友人・知人が運転する車	5
グループホームの車	2
近所の人にさせてもらう	1
ホームヘルパーが運転する車	1
通所介護の送迎車	1
自家用車(職員運転)	1
親戚の車	1

問 37 外出の時、不便に感じたり困ることはありますか(MA)

外出の時、不便に感じたり困ることについてみると、「特にない」が 29.6%と最も高く、次いで「公共交通機関の利用が不便(路線がない、バスの便が少ない、乗降が難しいなど)」が 24.8%、「介助者がいないと外出できない」が 22.6%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「特にない」が 29.9%、【療育】では「介助者がいないと外出できない」が 34.6%、【精神】では「公共交通機関の利用が不便(路線がない、バスの便が少ない、乗降が難しいなど)」が 34.6%とそれぞれ最も高くなっています。



内容	件数
障害者専用の駐車スペースに一般車両が駐車されていて利用できない	4
体調が悪いときの外出	2
雨の日は困る	1
普段の外出手段は自転車のため、自転車のタイヤがパンクしたり、大雨時などの徒歩は負担になること	1
ゴミ箱がない	1
歩道にベンチがない	1
道幅が狭い	1
自転車で右を逆走する学生がこわい	1
坂道が多いところにバスの停留所がないこと	1

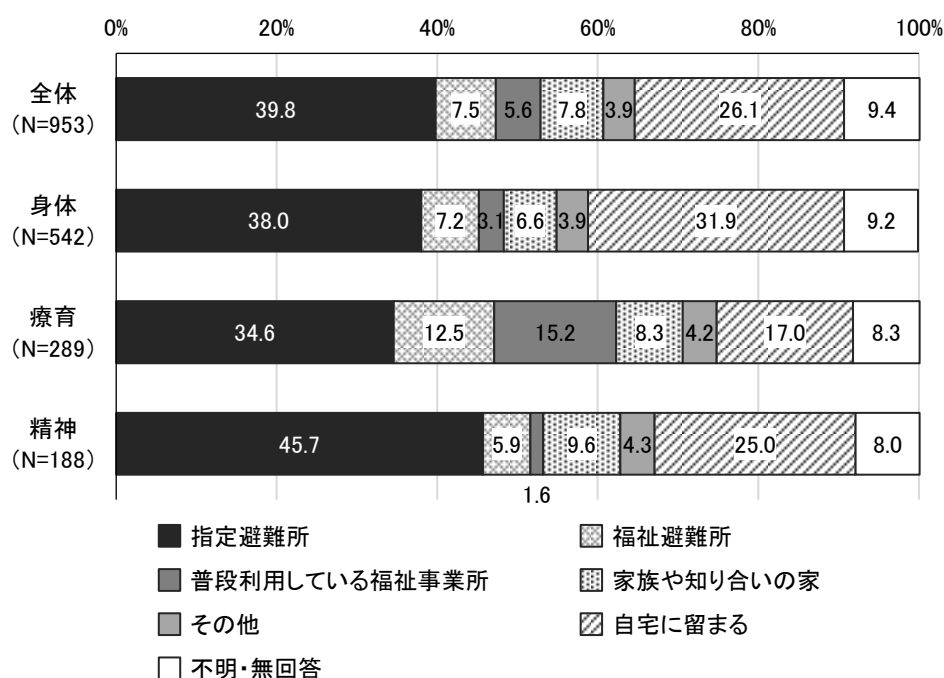
内容	件数
遠出や天気が悪いときに困る。遠くに行けずに待てない。	1
近くに電器店やビデオ店がない	1
家族が介助者である	1
歩行補助杖が立てかけられない時。道路に陥没しているところがあるため危険に感じる。	1
タクシーの割引率が低い	1
タクシーの利用	1
ガソリン代の支出	1
車いすのためどこにも行けない	1

Ⅶ 災害時などの緊急時の避難について

問 38 地震や津波などの大規模災害が発生した時、あなたはどこに避難しますか(SA)

地震や津波などの大規模災害が発生した時、どこに避難するかについてみると、「指定避難所」が39.8%と最も高く、次いで「自宅に留まる」が26.1%、「家族や知り合いの家」が7.8%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「指定避難所」が38.0%、【療育】では「指定避難所」が34.6%、【精神】では「指定避難所」が45.7%とそれぞれ最も高くなっています。

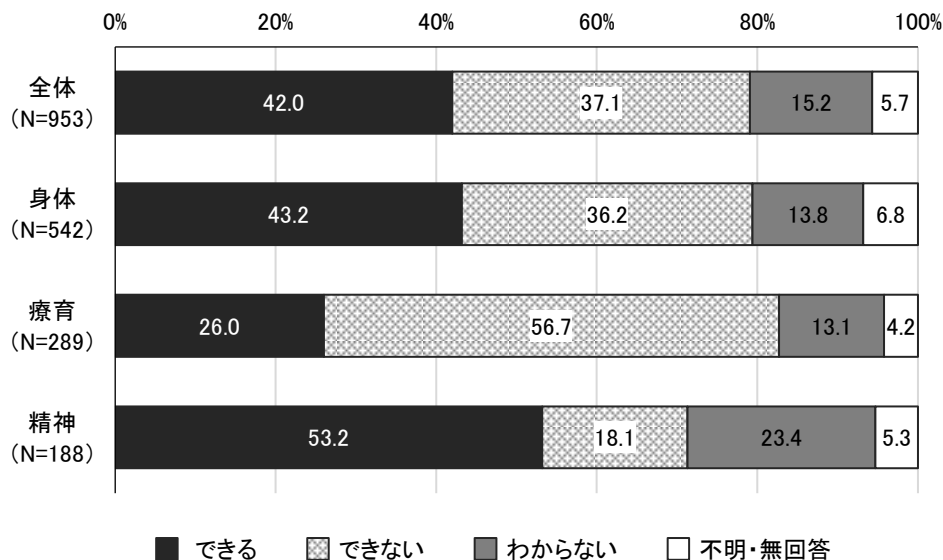


内容	件数
入所施設	6
学校	2
指定避難所にしたいが、どこにあるのかわからない。災害の程度が軽く済めば自宅に留まりたい。	2
グループホーム近くの避難所	1
南部センター	1
津波避難タワー	1
職場	1
福祉関係の人に車で送ってほしい。	1
夫と一緒に行動する。	1
介護してくれる人がいるところ	1
高所	1
確かな安全場所など近くにない。	1
確実な介助者がいなければ避難するのは困難である。	1
避難することができない。寝たきりのような生活をしている。	1

問 39(1) 地震など被害発生時、一人で避難することができますか(SA)

一人で避難することができるかについてみると、「できる」が 42.0%と最も高く、次いで「できない」が 37.1%、「わからない」が 15.2%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「できる」が 43.2%、【療育】では「できない」が 56.7%、【精神】では「できる」が 53.2%とそれぞれ最も高くなっています。

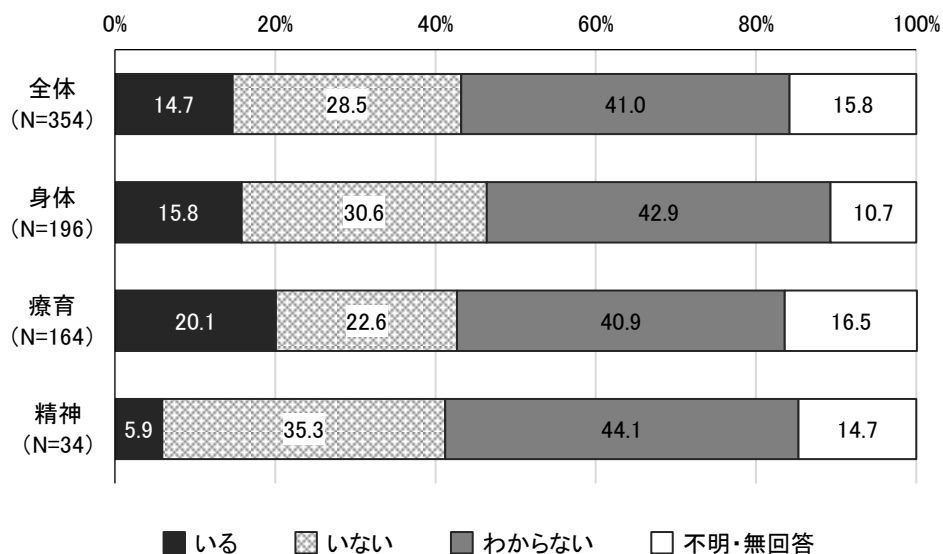


問 39(1)で「2. できない」と回答した方のみ

問 39(2) ご家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所に助けてくれる方はいますか(SA)

近所に助けてくれる方はいるかについてみると、「わからない」が 41.0%と最も高く、次いで「いない」が 28.5%、「いる」が 14.7%となっています。

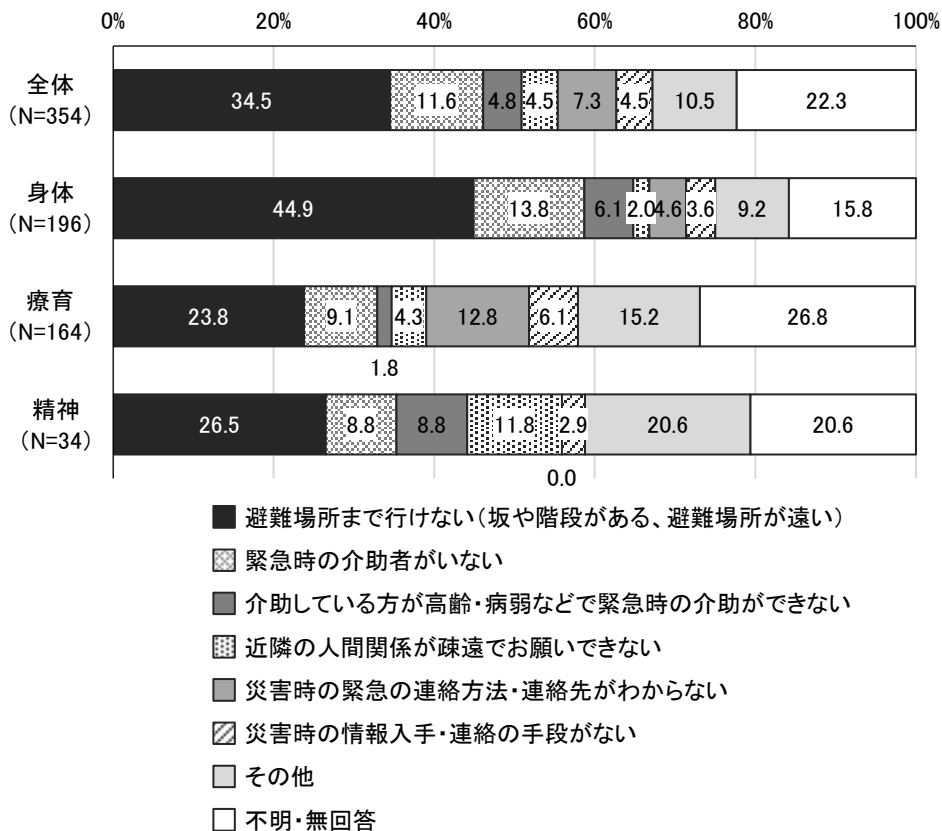
また、所持手帳別にみると、【身体】では「わからない」が 42.9%、【療育】では「わからない」が 40.9%、【精神】では「わからない」が 44.1%とそれぞれ最も高くなっています。



問 39(3) 避難するのに困ることは何ですか(SA)

避難するのに困ることについてみると、「避難場所まで行けない(坂や階段がある、避難場所が遠い)」が34.5%と最も高く、次いで「緊急時の介助者がいない」が11.6%、「災害時の緊急の連絡方法・連絡先がわからない」が7.3%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「避難場所まで行けない(坂や階段がある、避難場所が遠い)」が44.9%、【療育】では「避難場所まで行けない(坂や階段がある、避難場所が遠い)」が23.8%、【精神】では「避難場所まで行けない(坂や階段がある、避難場所が遠い)」が26.5%とそれぞれ最も高くなっています。

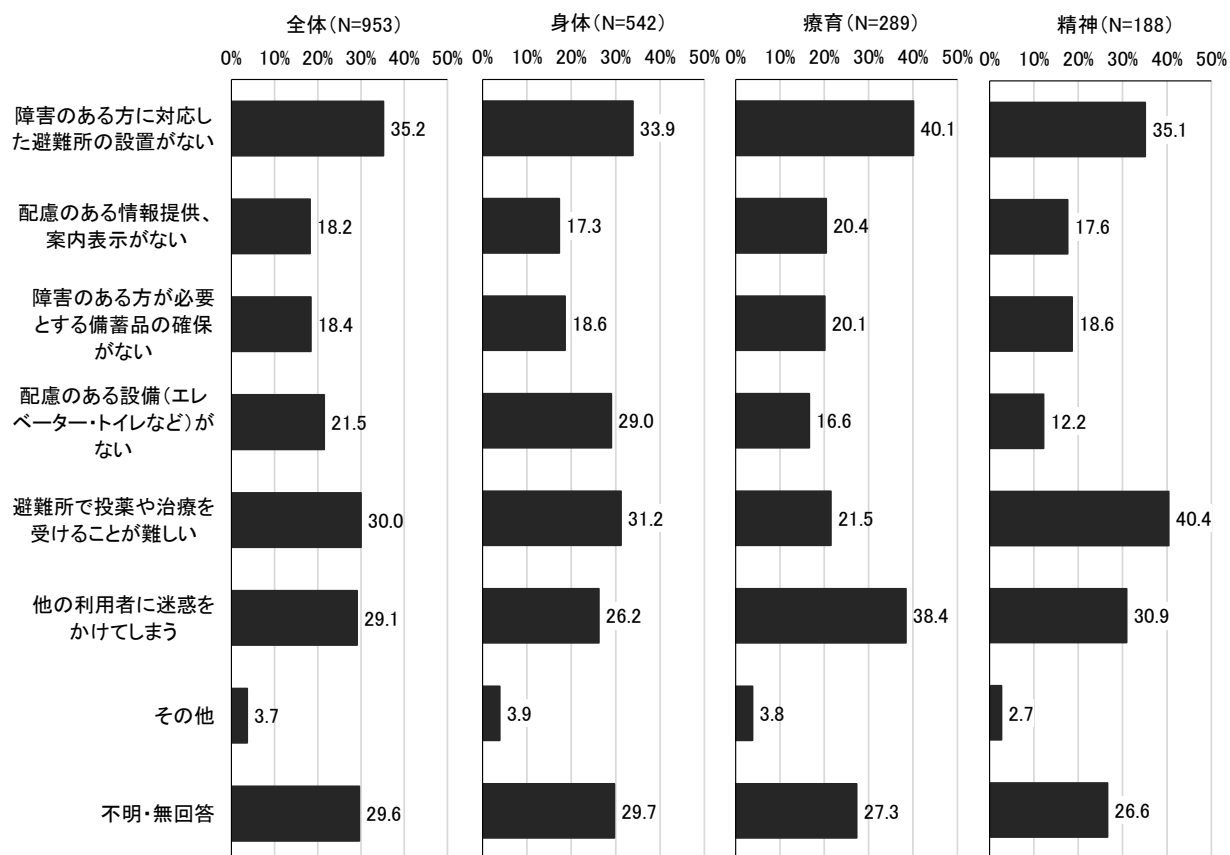


内容	件数
入所施設が避難所のため困ることはない。	5
施設職員任せになる。	5
自分でどう行動すれば良いのかわからない。	3
動けないこと。	2
緊張度やどの程度で避難すべきなのかわからない。	2
緊急時でも目の前のことを終えないと次へ移れない傾向がある。	1
避難すること自体がわからない。	1
難聴であること。	1
歩行が困難なこと。	1
歩行時にふらつきがあるため、介助を必要とするケースがあるかもしれないこと。	1
聴覚過敏や人ごみが苦手なため福祉避難所であっても入室できるかわからない。	1
避難先で他の人と一緒にはいられない。	1
じっとしていないため周囲に迷惑がかかる。	1
対人が苦手なため人が集まる場所には行きたくない。	1
障害特性を理解してくれるのか不安である。	1
自立生活ができない。	1
車で避難できない場合は、車いすでの移動は困難だと思う。	1
車に乗れない。	1
現在、足腰の治療を受けていること。	1
訓練はしているが不安。	1
近所に高齢者が多い。	1
飼っている犬のこと。	1

問 40 避難所における生活や支援について不安に思うことはありますか(MA)

避難所における生活や支援について不安に思うことについてみると、「障害のある方に対応した避難所の設置がない」が 35.2%と最も高く、次いで「避難所で投薬や治療を受けることが難しい」が 30.0%、「他の利用者に迷惑をかけてしまう」が 29.1%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「障害のある方に対応した避難所の設置がない」が 33.9%、【療育】では「障害のある方に対応した避難所の設置がない」が 40.1%、【精神】では「避難所で投薬や治療を受けることが難しい」が 40.4%とそれぞれ最も高くなっています。



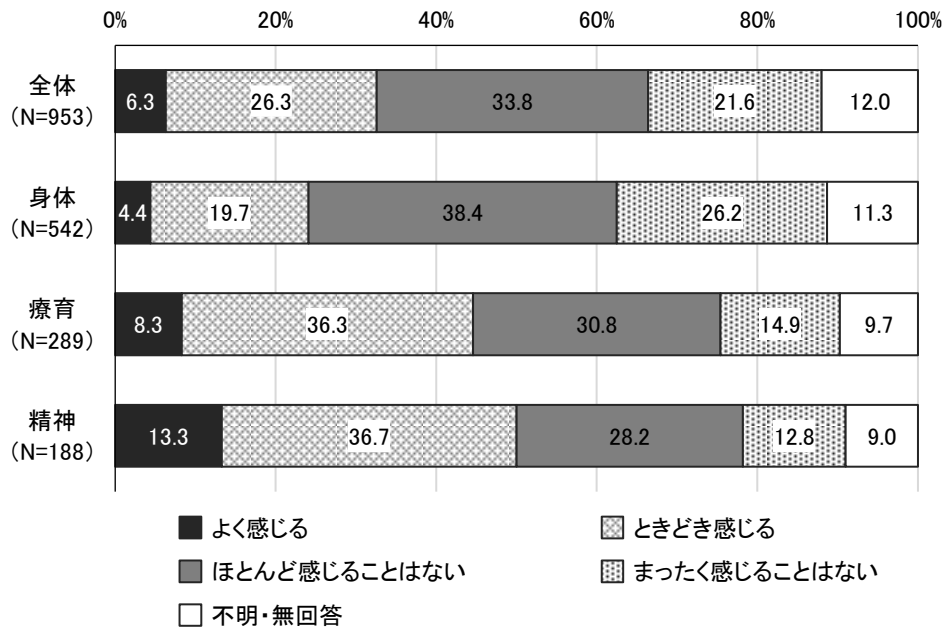
内容	件数
食事のこと	2
避難生活の経験がないため、すべてにおいて不安に思う	1
避難所の場所から何を持って行けば良いのかすべてにおいてわからない	1
現在、入所施設での避難が基本であるが、万が一施設が被災した場合の避難所のこと	1
服用している薬がなくなってしまうこと	1
障害者用のベッドがない	1
介助者の不足	1
難聴であること	1
ストマ交換が難しい	1
健常者とは同じようにはいかないこと	1
環境の変化により状態が悪化し、普段できていることもできなくなる場合がある	1
一般的な生活は不可能	1
免疫が低下している病気のため、感染症が心配である	1
他の人の行動が気になってしまい落ち着けない	1
他者の中で眠れない	1
周囲となじめないこと	1
プライバシーの確保が困難なこと	1
情報を集めるのが困難なこと	1
ペットの同伴ができる避難所がない	1

Ⅷ 差別や偏見について

問 41 日常生活において、障害があるために差別や偏見、疎外感を感じることがありますか(SA)

日常生活において、障害があるために差別や偏見、疎外感を感じる経験についてみると、「ほとんど感じることはない」が33.8%と最も高く、次いで「ときどき感じる」が26.3%、「まったく感じることはない」が21.6%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「ほとんど感じることはない」が38.4%、【療育】では「ときどき感じる」が36.3%、【精神】では「ときどき感じる」が36.7%とそれぞれ最も高くなっています。

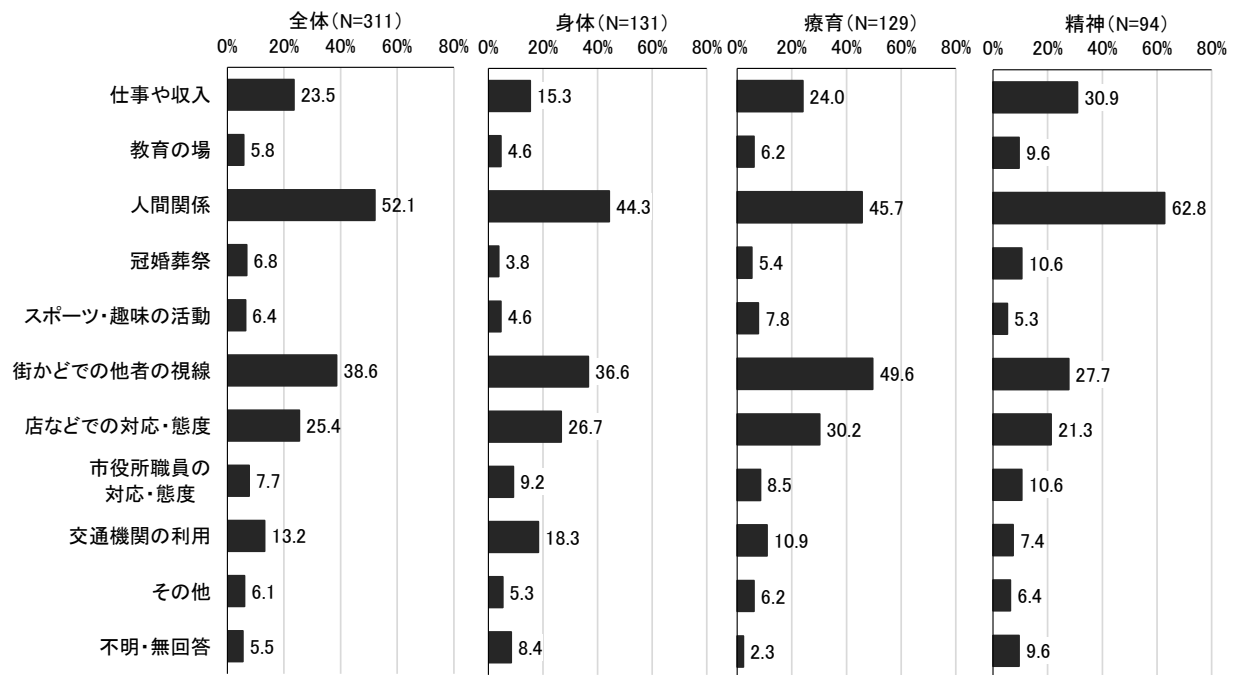


問 41 で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」と回答した方のみ

問 42 どのような時に偏見や疎外感を感じますか(MA)

どのような時に偏見や疎外感を感じるかについてみると、「人間関係」が 52.1%と最も高く、次いで「街かどでの他者の視線」が 38.6%、「店などでの対応・態度」が 25.4%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「人間関係」が 44.3%、【療育】では「街かどでの他者の視線」が 49.6%、【精神】では「人間関係」が 62.8%とそれぞれ最も高くなっています。

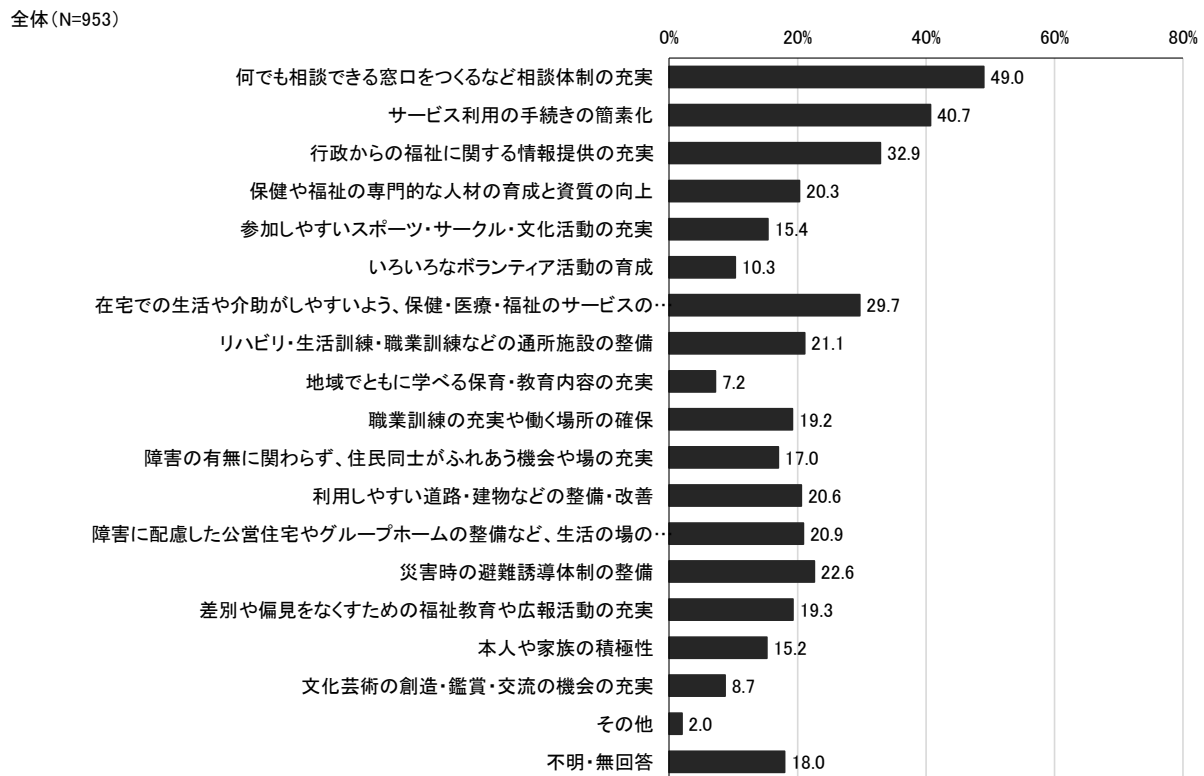


内容	件数
病院	2
病院で他者の視線	2
他の患者からの非難	1
職場の雇用者の態度	1
福祉の制度	1
駐車場での迷惑駐車を指摘した時の態度	1
近隣	1
道路、通路など	1
過去にあったこと	1
インターネット視聴時	1

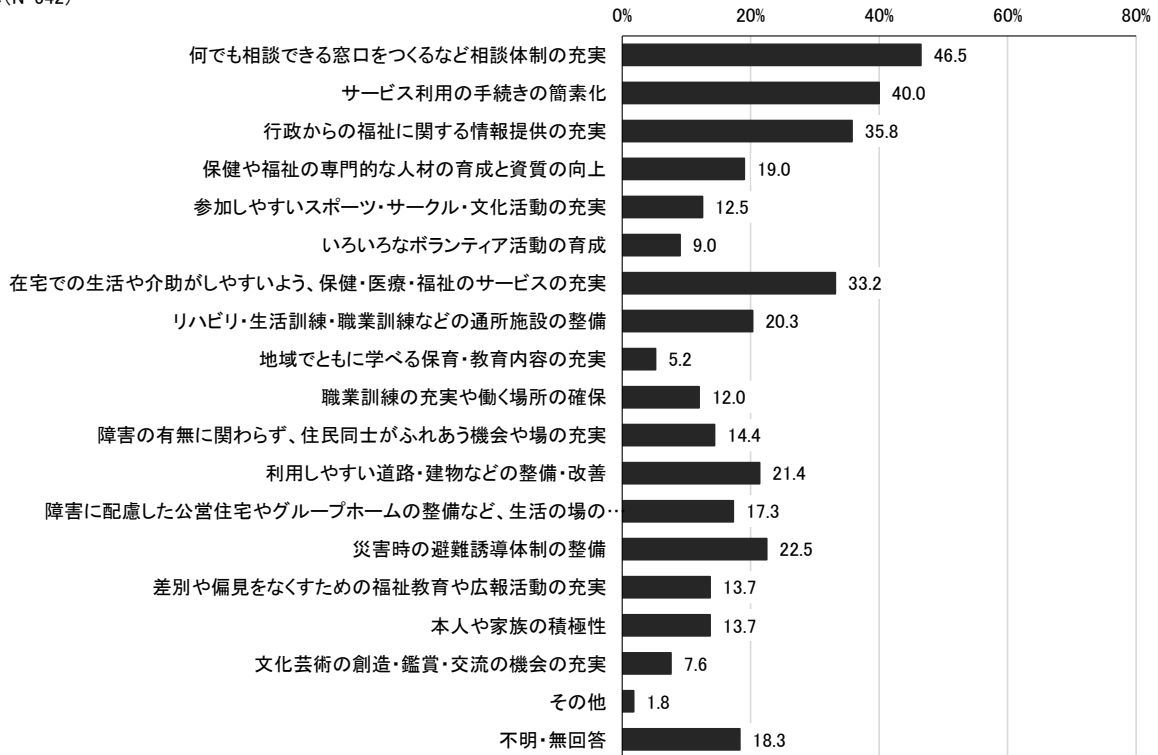
問 43 障害のある方にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だと考えますか (MA)

障害のある方にとって住みよいまちをつくるために必要なことについてみると、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 49.0%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」が 40.7%、「行政からの福祉に関する情報提供の充実」が 32.9%となっています。

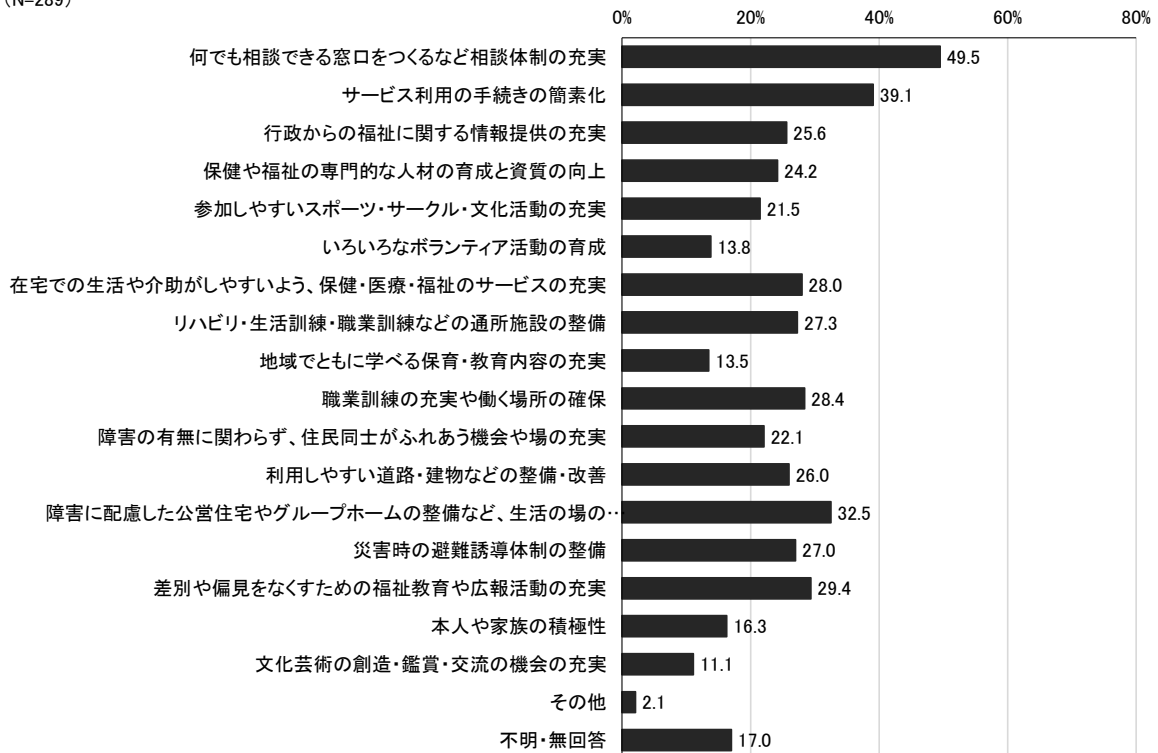
また、所持手帳別にみると、【身体】では「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 46.5%、【療育】では「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 49.5%、【精神】では「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 60.1%とそれぞれ最も高くなっています。



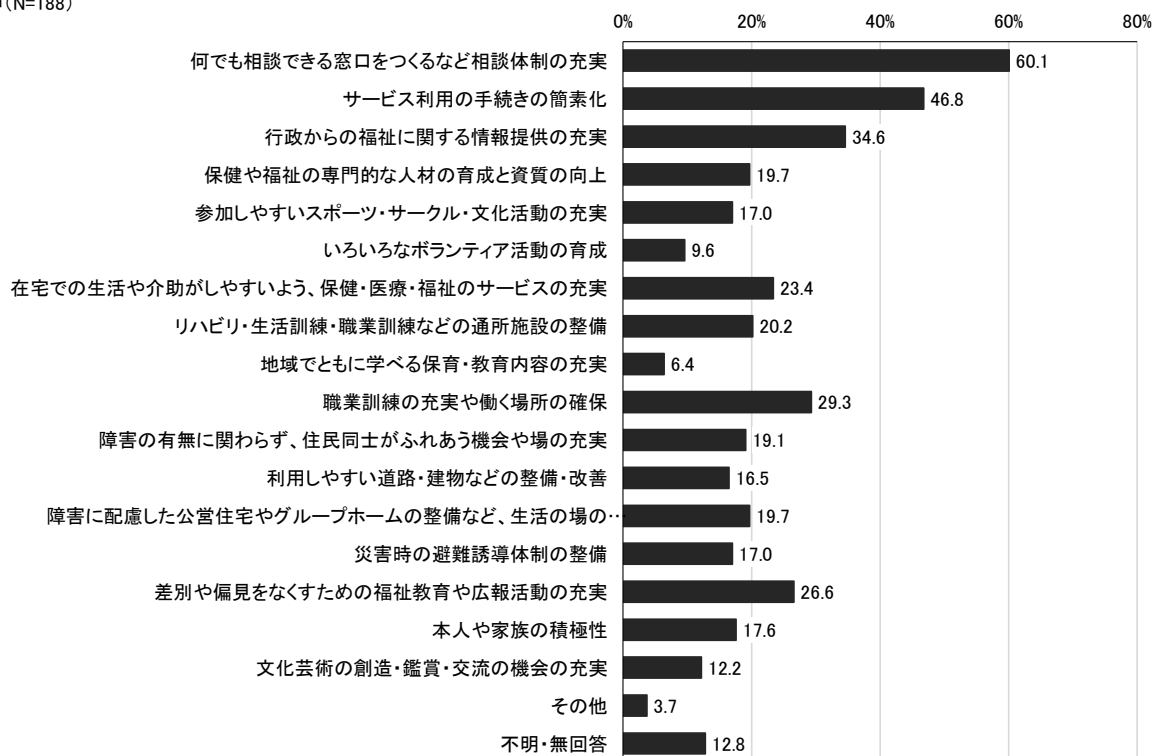
身体 (N=542)



療育 (N=289)



精神 (N=188)



内容	件数
住民の心が大切。やさしさあふれるまちにしたい。	1
相手の立場になって、しっかりと向き合って対応してくれること	1
排他的にならず親しみを持って接してくれること。	1
基本的な人権の周知(言ってはいけないこと、してはいけないこと)	1
まずは心のバリアフリー、障害者だけでなく社会的弱者に対しても。	1
家族の協力、話し合い。	1
身内の人以外で色々相談してくれる人	1
職場のすべての従業員に対して障害者雇用とは何かを理解させる取り組み	1
作業所に行くのがこわいため、作業所の職員の教育	1
障害者の行き過ぎた権利の主張や制度の乱用をなくす	1
AIの利用	1
書類の更新提出時期は寒すぎる時期や暑すぎる時期は避けてもらい、障害者が提出するときに苦にならないように配慮してほしい。また様々な書類の更新時期はまとめて行ってほしい。	1
歩いて行ける距離で買い物ができる場所がほしい。	1
家の前に車を駐車するときは一言声をかけてほしい。	1
金がない、受けられない	1
現在は必要だと考えない。	1

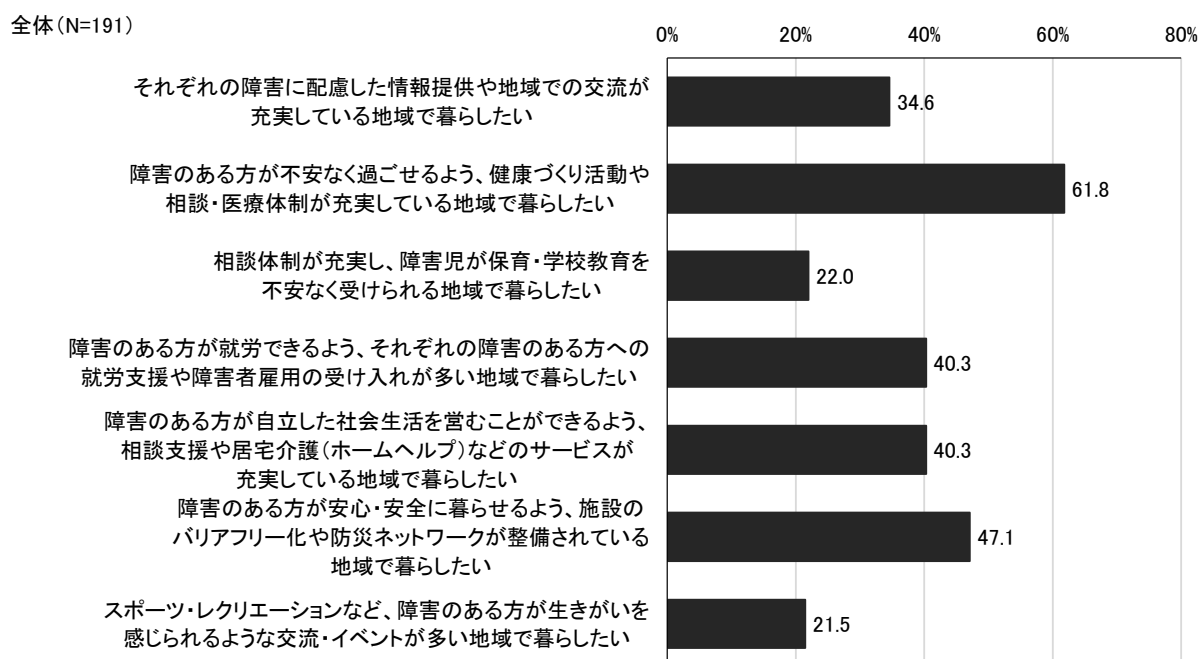
IX 障害者施策に対する希望と実態について

問 44 障害者施策で、特に重要だと思うこと(MA)

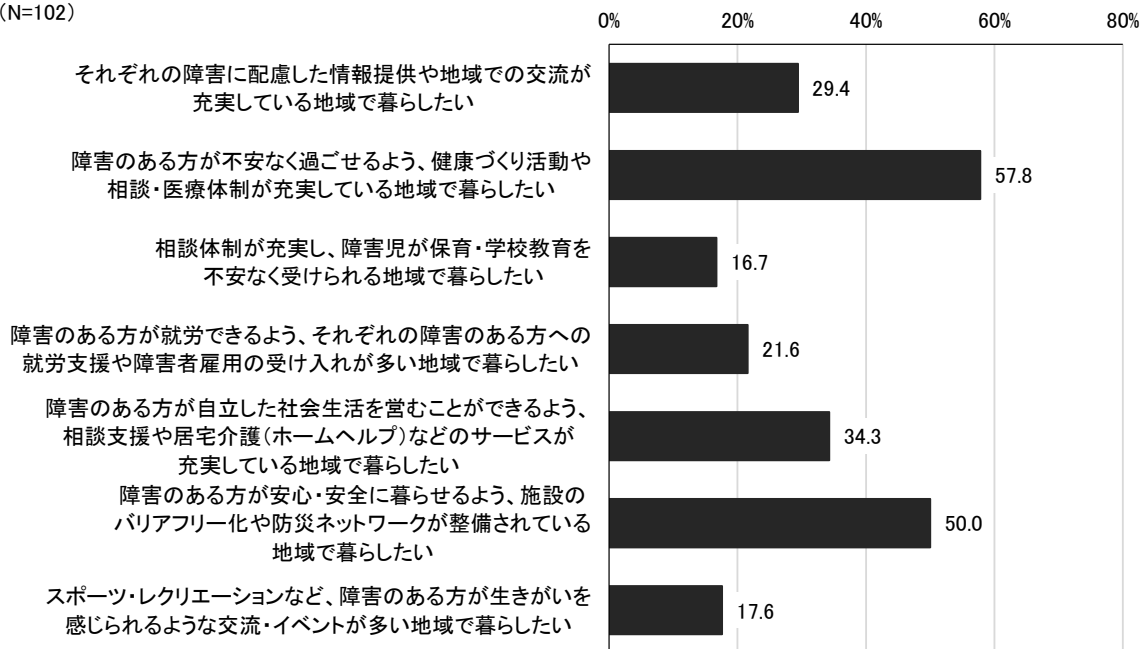
障害者施策で、特に重要だと思うことについてみると、「障害のある方が不安なく過ごせるよう、健康づくり活動や相談・医療体制が充実している地域で暮らしたい」が 61.8%と最も高く、次いで「障害のある方が安心・安全に暮らせるよう、施設のバリアフリー化や防災ネットワークが整備されている地域で暮らしたい」が47.1%、「障害のある方が就労できるよう、それぞれの障害のある方への就労支援や障害者雇用の受け入れが多い地域で暮らしたい」「障害のある方が自立した社会生活を営むことができるよう、相談支援や居宅介護(ホームヘルプ)などのサービスが充実している地域で暮らしたい」が 40.3%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「障害のある方が不安なく過ごせるよう、健康づくり活動や相談・医療体制が充実している地域で暮らしたい」が 57.8%、【療育】では「障害のある方が不安なく過ごせるよう、健康づくり活動や相談・医療体制が充実している地域で暮らしたい」が 56.7%、【精神】では「障害のある方が不安なく過ごせるよう、健康づくり活動や相談・医療体制が充実している地域で暮らしたい」が 65.9%とそれぞれ最も高くなっています。

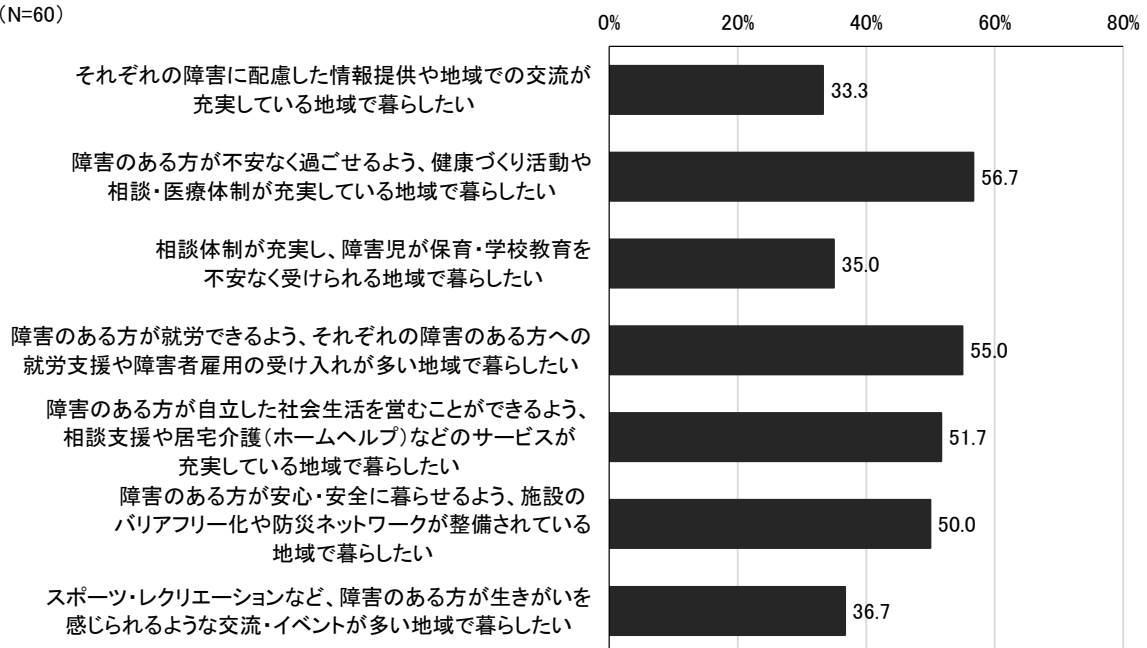
※不明・無回答は除く



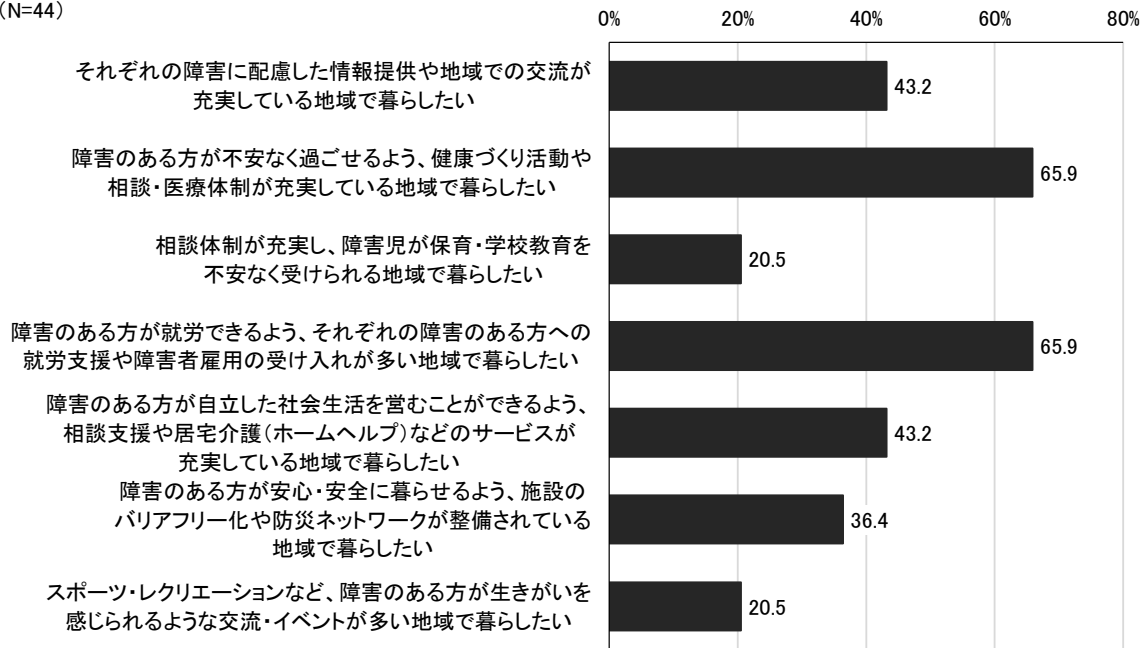
身体(N=102)



療育(N=60)



精神(N=44)

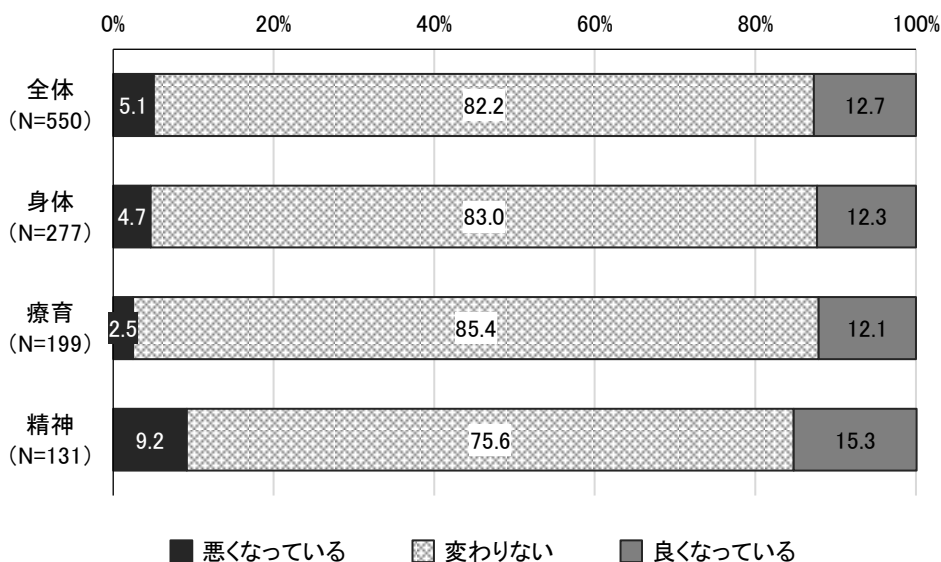


問 44-1 『それぞれの障害に配慮した情報提供や地域での交流が充実している地域で暮らしたい』の実態(SA)

『それぞれの障害に配慮した情報提供や地域での交流が充実している地域で暮らしたい』の実態についてみると、「変わらない」が 82.2%と最も高く、次いで「良くなっている」が 12.7%、「悪くなっている」が 5.1%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「変わらない」が 83.0%、【療育】では「変わらない」が 85.4%、【精神】では「変わらない」が 75.6%とそれぞれ最も高くなっています。

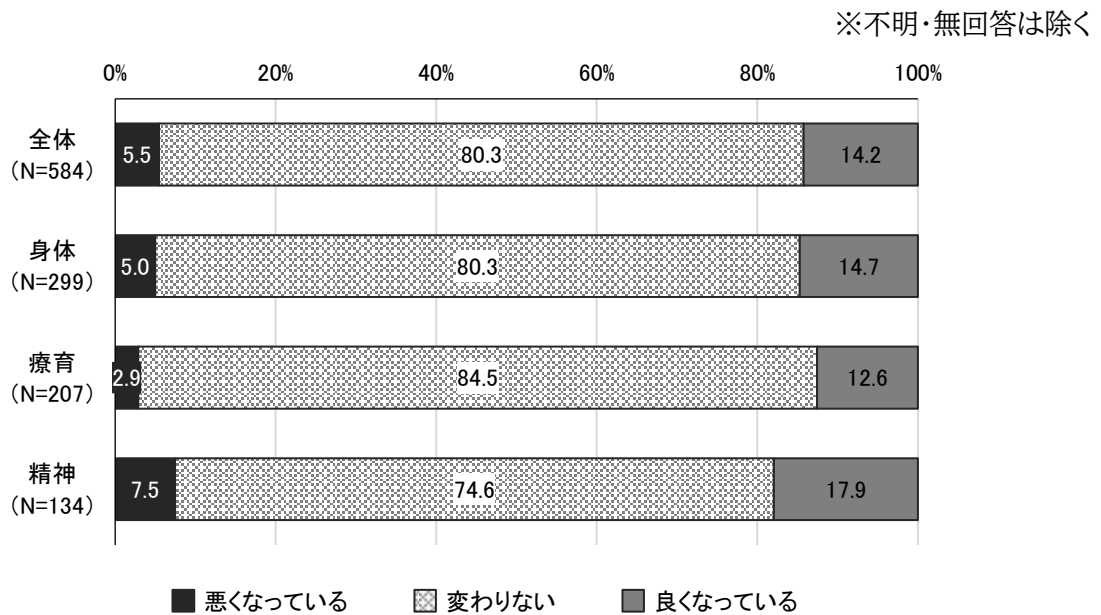
※不明・無回答は除く



問 44-2 『障害のある方が不安なく過ごせるよう、健康づくり活動や相談・医療体制が充実している地域で暮らしたい』の実態(SA)

『障害のある方が不安なく過ごせるよう、健康づくり活動や相談・医療体制が充実している地域で暮らしたい』の実態についてみると、「変わらない」が 80.3%と最も高く、次いで「良くなっている」が 14.2%、「悪くなっている」が 5.5%となっています。

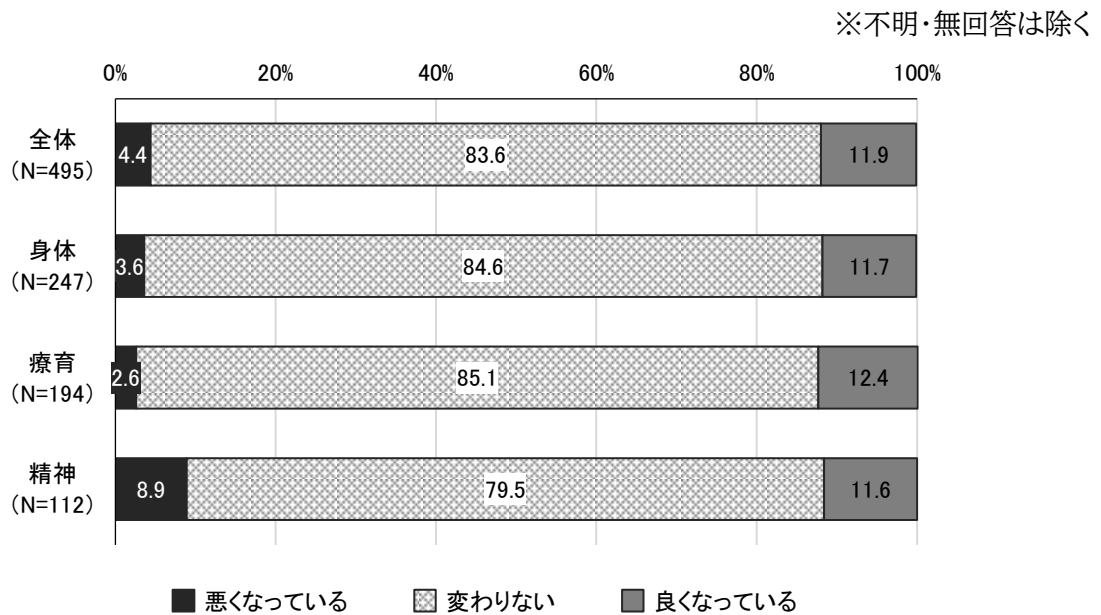
また、所持手帳別にみると、【身体】では「変わらない」が 80.3%、【療育】では「変わらない」が 84.5%、【精神】では「変わらない」が 74.6%とそれぞれ最も高くなっています。



問 44-3 『相談体制が充実し、障害児が保育・学校教育を不安なく受けられる地域で暮らしたい』の実態(SA)

『相談体制が充実し、障害児が保育・学校教育を不安なく受けられる地域で暮らしたい』の実態についてみると、「変わらない」が 83.6%と最も高く、次いで「良くなっている」が 11.9%、「悪くなっている」が 4.4%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「変わらない」が 84.6%、【療育】では「変わらない」が 85.1%、【精神】では「変わらない」が 79.5%とそれぞれ最も高くなっています。

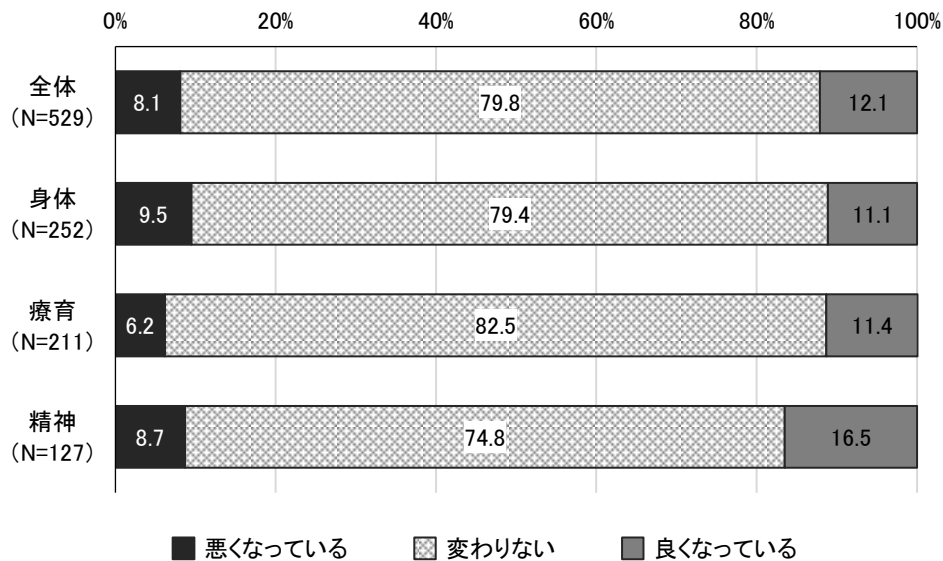


問 44-4 『障害のある方が就労できるよう、それぞれの障害のある方への就労支援や障害者雇用の受け入れが多い地域で暮らしたい』の実態(SA)

『障害のある方が就労できるよう、それぞれの障害のある方への就労支援や障害者雇用の受け入れが多い地域で暮らしたい』の実態についてみると、「変わらない」が79.8%と最も高く、次いで「良くなっている」が12.1%、「悪くなっている」が8.1%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「変わらない」が79.4%、【療育】では「変わらない」が82.5%、【精神】では「変わらない」が74.8%とそれぞれ最も高くなっています。

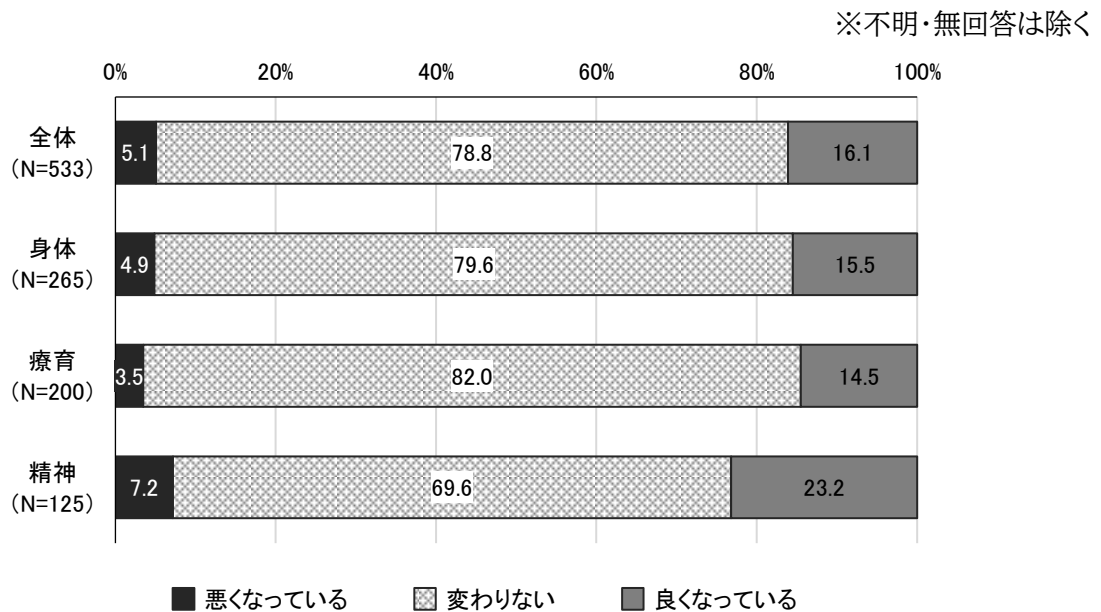
※不明・無回答は除く



問 44-5 『障害のある方が自立した社会生活を営むことができるよう、相談支援や居宅介護(ホームヘルプ)などのサービスが充実している地域で暮らしたい』の実態(SA)

『障害のある方が自立した社会生活を営むことができるよう、相談支援や居宅介護(ホームヘルプ)などのサービスが充実している地域で暮らしたい』の実態についてみると、「変わらない」が78.8%と最も高く、次いで「良くなっている」が16.1%、「悪くなっている」が5.1%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「変わらない」が79.6%、【療育】では「変わらない」が82%、【精神】では「変わらない」が69.6%とそれぞれ最も高くなっています。

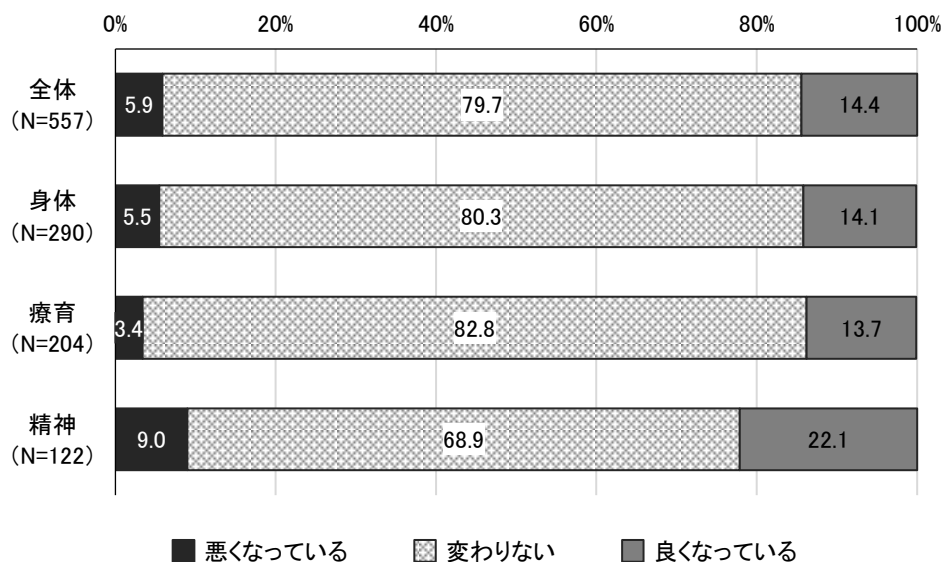


問 44-6 『障害のある方が安心・安全に暮らせるよう、施設のバリアフリー化や防災ネットワークが整備されている地域で暮らしたい』の実態(SA)

『障害のある方が安心・安全に暮らせるよう、施設のバリアフリー化や防災ネットワークが整備されている地域で暮らしたい』の実態についてみると、「変わらない」が 79.7%と最も高く、次いで「良くなっている」が 14.4%、「悪くなっている」が 5.9%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「変わらない」が 80.3%、【療育】では「変わらない」が 82.8%、【精神】では「変わらない」が 68.9%とそれぞれ最も高くなっています。

※不明・無回答は除く

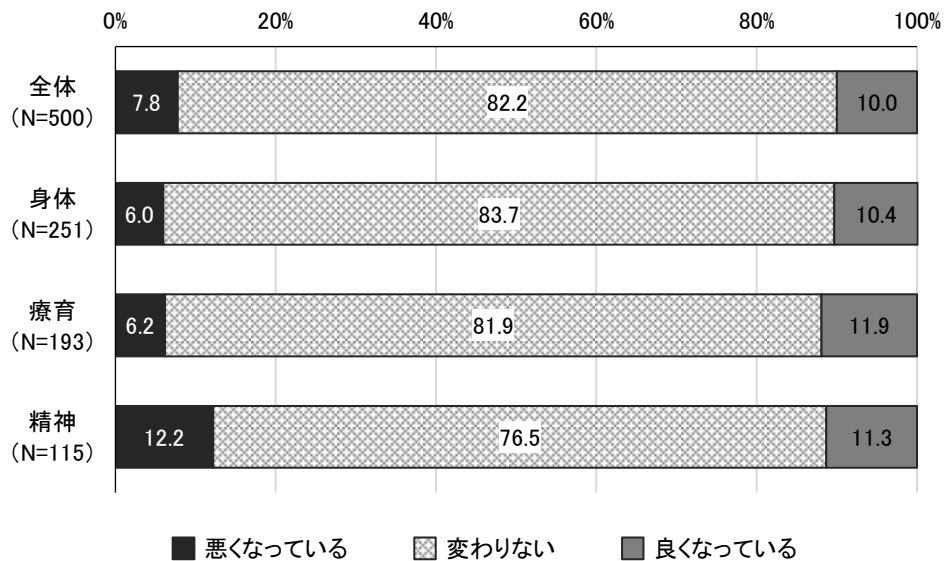


問 44-7 『スポーツ・レクリエーションなど、障害のある方が生きがいを感じられるような交流・イベントが多い地域で暮らしたい』の実態(SA)

『スポーツ・レクリエーションなど、障害のある方が生きがいを感じられるような交流・イベントが多い地域で暮らしたい』の実態についてみると、「変わらない」が 82.2%と最も高く、次いで「良くなっている」が 10.0%、「悪くなっている」が 7.8%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「変わらない」が 83.7%、【療育】では「変わらない」が 81.9%、【精神】では「変わらない」が 76.5%とそれぞれ最も高くなっています。

※不明・無回答は除く

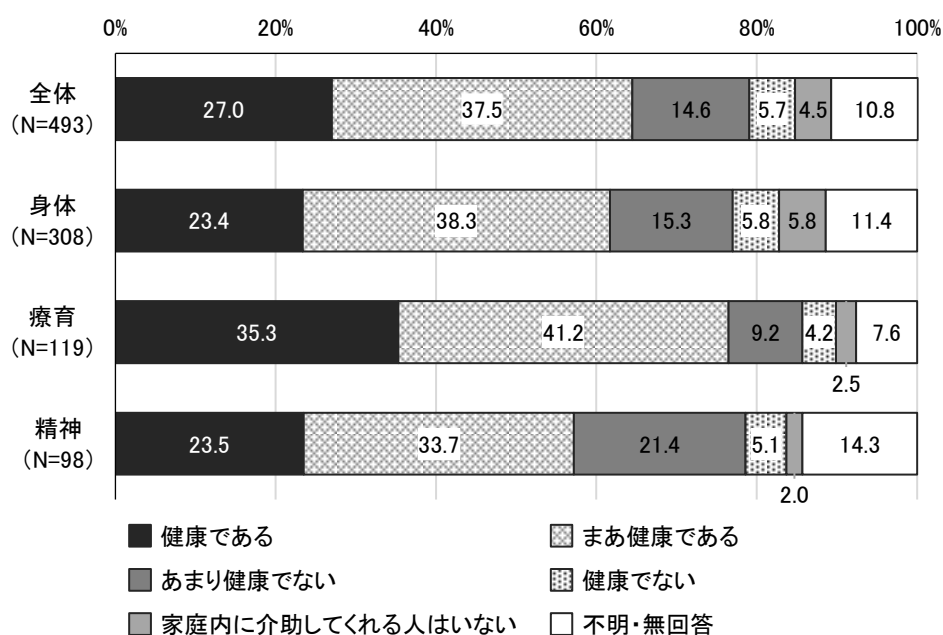


X 家庭内の主な介助者の方の状況について

問 45 介助者の方の健康状態はいかがですか(SA)

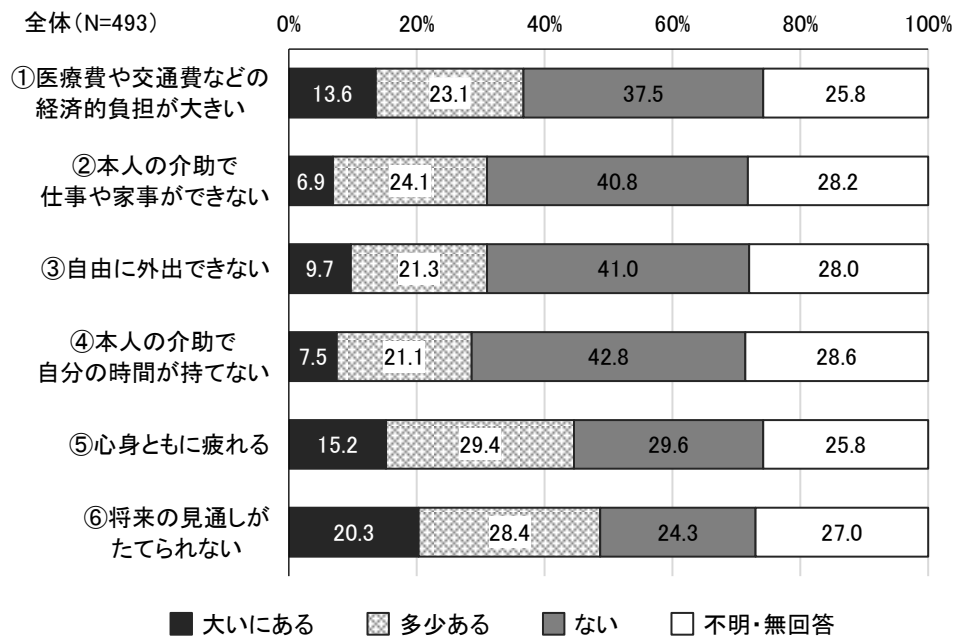
介助者の方の健康状態についてみると、「まあ健康である」が 37.5%と最も高く、次いで「健康である」が 27.0%、「あまり健康でない」が 14.6%となっています。

また、所持手帳別にみると、【身体】では「まあ健康である」が 38.3%、【療育】では「まあ健康である」が 41.2%、【精神】では「まあ健康である」が 33.7%とそれぞれ最も高くなっています。

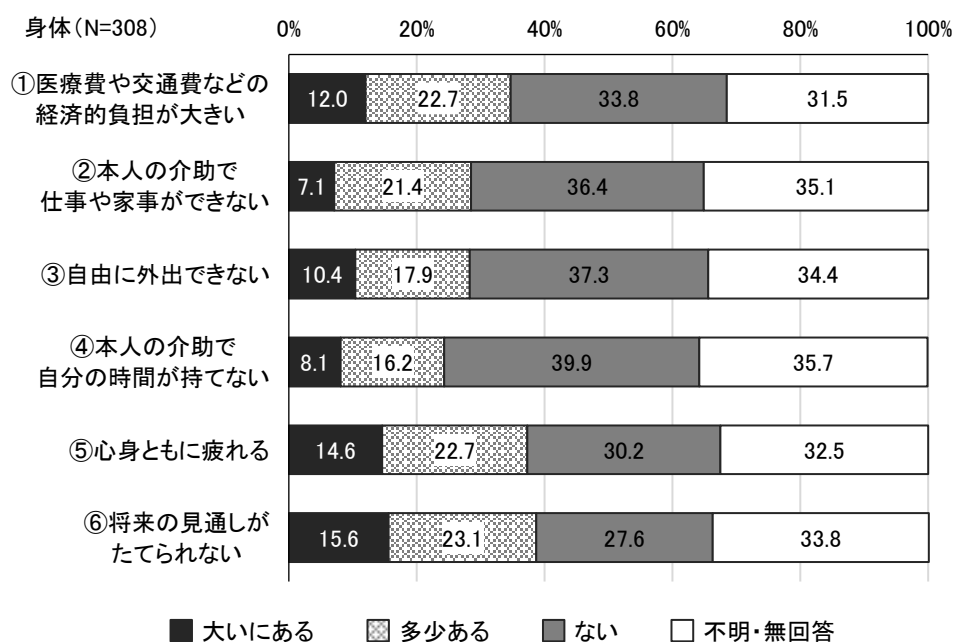


問 46 介助者として当てはまるもの(SA)

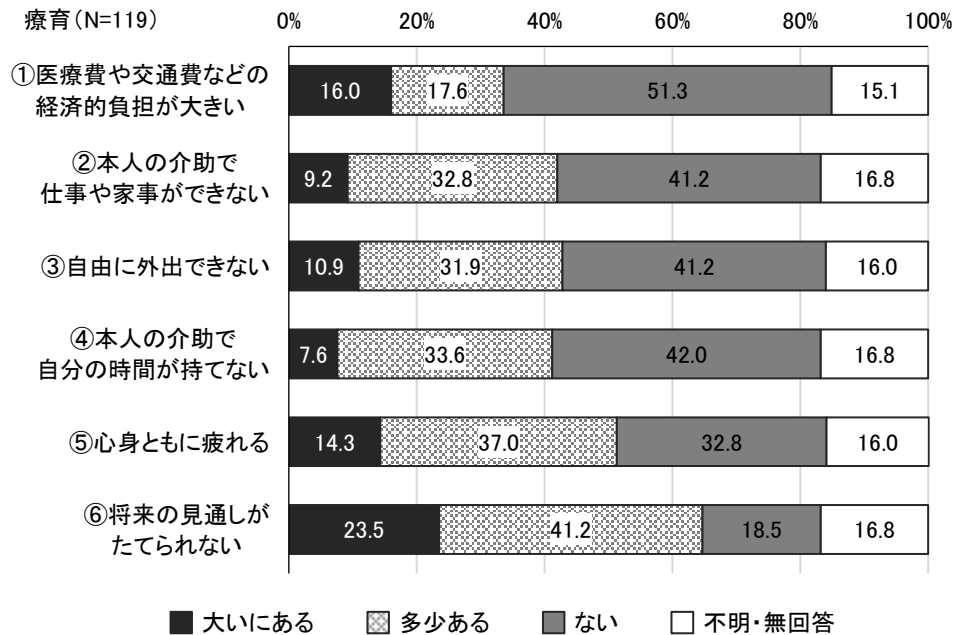
介助者として当てはまるものについてみると、『①医療費や交通費などの経済的負担が大きい』『②本人の介助で仕事や家事ができない』『③自由に外出できない』『④本人の介助で自分の時間が持てない』については、「ない」が「ある」(「大いにある」と「多少ある」の合計)を上回っていますが、『⑤心身ともに疲れる』『⑥将来の見通しがたてられない』については、「ある」が高い割合を占めています。



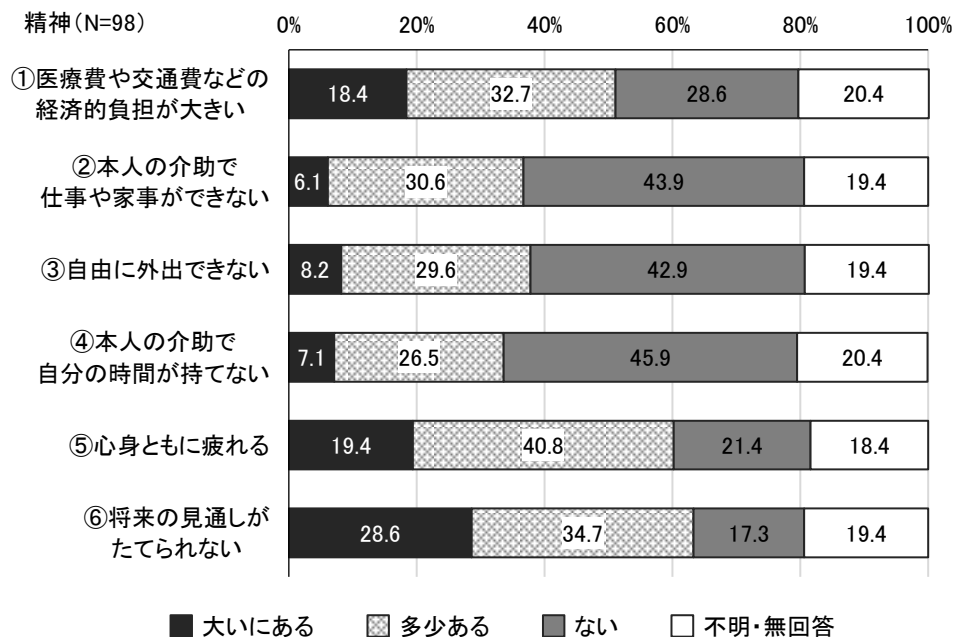
身体障害者手帳所持者の介助者として当てはまるものについてみると、『①医療費や交通費などの経済的負担が大きい』『⑤心身ともに疲れる』『⑥将来の見通しがたてられない』については、「ある」(「大いにある」と「多少ある」の合計)が「ない」を上回っていますが、『②本人の介助で仕事や家事ができない』『③自由に外出できない』『④本人の介助で自分の時間が持てない』については、「ない」が高い割合を占めています。



療育手帳所持者の介助者として当てはまるものについてみると、『②本人の介助で仕事や家事ができない』『③自由に外出できない』『⑤心身ともに疲れる』『⑥将来の見通しがたてられない』については、「ある」（「大いにある」と「多少ある」の合計）が「ない」を上回っていますが、『①医療費や交通費などの経済的負担が大きい』『④本人の介助で自分の時間が持てない』については、「ない」が高い割合を占めています。



精神障害者保健福祉手帳所持者の介助者として当てはまるものについてみると、『①医療費や交通費などの経済的負担が大きい』『⑤心身ともに疲れる』『⑥将来の見通しがたてられない』については、「ある」（「大いにある」と「多少ある」の合計）が「ない」を上回っていますが、『②本人の介助で仕事や家事ができない』『③自由に外出できない』『④本人の介助で自分の時間が持てない』については、「ない」が高い割合を占めています。



自由回答

■アンケートについて

内容	件数
このアンケートはわかりにくく難しい。	7
アンケートの量が多いので、簡素化してほしい。	3
アンケートが在宅を基本とした質問内容になっている。施設入所者向けのアンケートを用意してほしい。	3
質問の言葉の意味を本人に理解してもらうのに時間がかかり大変である。意見をいやすためにも当事者が困らないアンケートづくりをしてほしい。	2
すべての障害者をひとくくりにして質問をすると回答が微妙にずれているように感じる。誤った解釈をしている可能性があると思う。このようなアンケートは、それぞれの障害者(身体や精神など)向けにつくらないと回答は困難に感じる。	2
このアンケートは大人と子どもの障害者が一緒になっているためわかりづらい。分けてほしい。年齢に合った内容や質問をしてほしい。	2
ニーズの掘り起こし、把握は重要だと思う。アンケート結果や意見を踏まえて今後の課題として取り組んでほしい。	2
このアンケートも点字にしてほしい。	1
このアンケート調査を読んで回答するのが疲れる。時間がかかりすぎる量がある。本人は高齢者のため度々質問することができない。代筆している家族が大変である。	1
このアンケートで説明しても本人に伝わらない箇所が多く、記入できないところもあったため、年齢別でアンケートをした方が良いと思う。	1
障害者がもっと理解しやすいアンケート内容にして、支援者や介助者が本人とは別に回答できるように分けたほうが良いと思う。	1
調査をしてどのような方策に利用するのかわかりにくい。障害者の種類によつての調査方法にしたほうが良いと思う。色々な質問で答えにくい点が多く、わかりにくい。	1
問45、46の質問は本人も見ると答えにくい。	1
この調査そのものの項目が多く、不必要に疲れてしまう。障害のある人は大なり小なり障害へのコンプレックスを抱えている。それを繰り返す調査の必要性は理解できるが、あまり気分が良いものではない。	1
アンケートが上から目線で送られてきている。本人は字が書けないため次回からアンケートは送らないでほしい。	1
アンケート対象者ではないと思う。	1
障害者になってから時間が経過していないため自覚がなく、回答に困った部分があった。	1

■就労・賃金について

内容	件数
仕事を増やしてほしい。	2
仕事がなかなかない。ハローワークが窓口になるが、健常者と同じ条件で探しくい。本当の障害者専門で探したい。	1
高校卒業後に受け入れてくれる作業所がなかなか見つからず不安な思いをした。毎年、卒業生の受け入れ施設がほとんどない。施設を求めて県外に出る人も今後増えると思う。	1
作業所 A 型が非常に少なく、B 型ではとても生活していけない。賃金も最低賃金とはやる気に欠ける。賃金があるだけでしたが、年金だけでは生活できない。仕事を増やしてほしい。	1
障害者に対する支援の難しさがあると思う。世話をしてくれている親も高齢になり、自分自身も疲れる時がある。ケアマネジャーも丁寧に対応してくれているが、少し厳しいと感じる。特にお金の面が厳しい。障害のため判断能力が厳しいところもあるが、もし市で簡単な仕事があれば雇用してほしい。	1
医療的ケアが必要な障害者を受け入れてくれる施設や作業所を充実させてほしい。高校卒業後は作業所で仕事をしたいと思うが、現在利用できる作業所がない。	1
就労支援の職種が少ないと思う。対人関係がどうしても苦手な人がいるため、サポートしてくれる人や場が増えれば良いと思う。	1
市内で就職したかったが、できなかった。資格がなくてもできる仕事が少ない。	1
障害者が働くにあたって賃金が安すぎる。和歌山県の最低賃金は時給で830円だと思うが、作業所の時給は430円で、毎日働いても月に4万円程度にしかない。健常者と同じように一生懸命働いている障害者にも同じだけの賃金を支払うべきである。	1
仕事で新しい人が入ってきたら公平に仕事を回してほしい。仕事内容や時給の面でも改善してほしい。せめて時給は860円ぐらいにしてほしい。自分にばかり負担がかかっている。	1
B 型作業所の賃金をもう少し改善してほしい。	1
普通に最低賃金が支払われる職場で働きたい。	1
仕事の能力に応じて賃金の見直しも考えてほしい。	1
公共施設にパート従業員として採用されたが、健常者とは違って形だけの雇用で本当に必要とされていないと感じたため退職した。健常者と比べて労力がかかり、面接から大変な力が必要であることが理解されていない。障害者に対して思いやる心が持てる職場環境にしてほしい。	1

■社会参加について

内容	件数
うつ病を患っているが、絵を描くためだけに生きている。絵を発表する機会を多く設けてほしい。	1
社会との関わりは人付き合いが苦手なためこわい。しかし社会とのつながりや友人などがほしい。	1

■市について

内容	件数
障害者に対してはもちろん、普段の人間関係においてやさしさや、あたたかさの感じられる市になり、人間教育を重視してほしい。田辺市全体がやさしいまちになるよう努力すべき。人にやさしいまちをスローガンに進めてほしい。	2
一部の市職員の中に障害者の立場になって対応してくれない人がいる。事務的でマニュアル通りで心がこもっていない。また、生活保護を受けている人の中に不正に受けている人がいると思う。医師の診断書だけで判断せず、平等に扱ってほしい。	1
やすらぎ対策課の障害福祉で対応してくれた人から失礼な言葉を言われた。	1
知り合いが窓口の近くにいた場合、プライバシー本当に守られているのか不安になることがある。家族にも病気のことを知らせていないこともあるため、こういった書類を送るときは、障害福祉室から来たことがわからないような封筒にしてほしい。	1
5市町村のときは障害者に対して月額3千円の障害者手当があったが、合併後に打ち切りになったのはなぜなのか知りたい。	1
色々な面で助けられているためありがたいが、国がさらに考えて施設などを助けてもらいたい。	1
グループホームのような施設を増やしてほしい。	1
グループホームなど地域移行を望んでいるが、世話人などの人手不足で困難なようである。それらについて施策があるのか知りたい。	1
就業対応が厚くなされる地方行政であればありがたい。	1
市で障害者を対象にした催しなどを計画しているが、障害者が自分の力で会場まで移動することは不可能に近い。付き添ってもらう家族は仕事があるため頼みにくく、都合が合わないことも多い。参加できないと思うとがっかりする。障害者はそれだけ周囲に気をつけて迷惑をかけないように遠慮している。	1
1つの窓口でいつでも気軽に相談できる体制が充実できれば安心、安全に暮らしていけると思う。	1
新生児(障害児)を持つ母親は不安が多いと思うため、同じようにかつて障害児を育てた母親から色々な話が聞けるように連絡先などを登録してもらいコミュニケーションが取れるようにしてほしい。これらの情報を田辺市だけではなく、上富田、白浜、みなべなどで共有できれば良いと思う。	1

内容	件数
障害者になってから1度も行政からの訪問がない。相談もできない。	1
福祉課が家に来てほしい。	1
住む地区によって施策が脆弱に感じられる。特に障害が重くなればなるほど、生活面や就労面で暮らしにくさを感じる。住み慣れた地区で暮らしていけるように、同じ施策であっても可能な限り地区間での格差をなくしてほしい。	1
田辺市のことはよく知らないが、南部町では1人暮らしの高齢者の救急時の対策を取っている。本人も高齢者になり1人暮らしで難しい病気を抱えているため、救急時に押しボタンで誰かに知らせる仕組みを考えてほしい。	1
田辺市民総合センターが福祉避難所になっているが、津波の際には侵水域となっているため他の場所も検討した方が良いと思う。	1
市役所関連のホームページが古くて見づらく検索しづらい。障害者関連の書類申請や必要なことがほとんど見つからず、要約しすぎた短文のためわかりづらい。サイト内サーチも使いづらく、結局こちらが部署ごとに電話をして情報をまとめたが、情報が共有されておらず一ヶ所にまとまっていない。申請内容一覧だけではなく、大き目の文字で明るい色でわかりやすい手順をホームページに記載してほしい。もしくはそれらを1つにまとめて仲介する担当者があると意思疎通がしやすい。リサーチすることは障害者にとっては負担で、介助する人が代わりに行えばよいが介助する人も健康であるとは限らないことも想定してほしい。今回のアンケートで障害者施策があることを初めて知ったため、もう少し市民に周知されるように工夫してほしい。質問で施策に対する実態を聞かれたが、以前から行われていたことも知らないため回答するのに正直困った。	1
書類の手続きを簡単にしてほしい。	1
市役所から借りた車いすを不要になっても返却しない人がいるため、もう少し管理を徹底してほしい。他に利用したい人がいると思う。	1
障害者と言っても色々あり難しい面がある。福祉行政に協力したいと思うが、自分のことに精一杯で行政任せになっている。	1
市の対応がよいため快く毎日が過ごせている。	1

■支援全般について

内容	件数
働ける時間は本当に少ない。ひとり親支援はあっても色々制限があるため常勤で働けない。居場所がないと感じることが多い。前向きには思うが心が折れそうになる。両親に負担もかけたくないため助けてほしい。	1
高齢になってくるため、早めに施設に入りたい。	1
現在は多少の不便はあっても1人でなんとか暮らせているが、将来、病気が悪化した時が心配である。子どもは他県にいるため施設の世話なると思う。	1
本人は重度障害者であるため、親亡き後でも安心できるように介護を受けながら暮らせるグループホームができてほしい。現状では重度障害者が通所や入所できる施設は少なすぎる。様々な選択ができるように障害者目線で考えてほしい。	1
介護者が高齢になり本人以外にも親の介助もしている。施設料金を安くしてほしい。	1
家族が介助できなくなったら障害施策へ入れてほしい。	1
田辺市には色々な支援があり感謝している。相談に乗ってくれる人もいて助けてもらっている。今は親がいるため大丈夫だが、1人暮らしするときにはグループホームや家事などの生活支援をしてほしい。	1
親が高齢になった時に障害のある人は施設やグループホーム等への入所が望ましいと思うが、そうではなくショートステイやデイサービスを利用しながら自宅で暮らせるシステムがあれば良いと思う。そのためにも使いたいときに使えるショートステイの場があれば安心して障害のある子どもも暮らせると思う。例えばホームステイのようなもので登録制にして宿泊させてもらえるようになれば良いと思う。	1
ショートステイも医療的ケアのことで利用が難しい状態である。改善されることを望んでいる。	1
以前はショートステイを月3、4回ほど利用できていたが、指導員の人員不足により月1回しか利用できず、子どもも残念がっている。予定表を見ても1回しか利用できないため子どもも迷っている。休日は1人で外出できないため家族で過ごしているが、さらに色々な人たちと外で色々な体験ができれば良いと思う。今後は少しでも指導員が多くなれば良いと思う。	1
来年3月に支援学校を卒業する。4月から社会で生活をするが、希望する入所施設やグループホームなどは空きがなく、今とても不安に思っている。もう少しすべての福祉サービスについて余裕があれば良いと思う。福祉の現場も大変であることは十分理解しており、いつも感謝している。	1
自分も家族も楽しくより良い生活が送れるようにサポートなど充実させてほしい。	1
放課後等デイサービスが16時半までのため、現在シングルマザーであることから迎えが困難なことが多い。仕事で時間が過ぎる時はキッズサポートに頼むが、経済的負担が大きい。またサポーターの都合がつかず、頼めないこともある。保育所のように放課後等デイサービスも19時まで預かってほしい。	1

就学前の障害のある子どもを土日祝日でも預かってもらえるところが増えてほしい。	1
支援学校に行くほどでもなく、普通学校に行くには支援が必要といった状態のときに、中学までは支援学級があるため困ったことは相談ができる。しかし高校に進学するときには支援学校以外の選択肢が見つかりにくい。支援学校には物足りなさを感じ、自分が行こうと思う高校に入るには誰かの手助けが必要な部分がある。義務教育ではないためないかも知れないが、進学した後に相談できる窓口があれば知りたい。	1
町内会に入っていないと市からの広報情報が入ってきにくい。子どもが同居しているためインターネットで調べてはもらえるが、町内会費を払えない人はどうするのか気になっている。(紀伊民報も購読していない)	1
成年後見制度など親や親族などがいないため、1人になった障害者はどうすれば良いのか、現在どのように行われているのか知りたい。そのような情報を教えてくれたり相談できる場所を教えてください。障害者支援センターや相談支援事業所よりも気軽に行ける所や目的、相談が決まっていなくても情報が受けられる所が欲しい。	1
支援のことを知らなかったため、わからないことが多かった。	1
障害者が施策やサービスなどをさらに知ることができることが大切だと思うので、情報を得やすい環境づくりが必要だと思う。今は不便ではないが年齢とともに世話になることがあると思うので、どんなサービスがあり、どんな人が受けられるかを知っておきたい。	1
自身の病気(双極性障害)に対する具体的施策がわからないため情報を直接郵送して教えてください。	1
利用者にあったサービスが必要な時に受けられることや、どのようなサービスがあるのかわかりやすく表示してほしい。説明時、利用者が受けられるサービスがどれなのか簡単にわかりやすく説明してもらいたい。	1
個々にあったサービスを提案してほしい。友人にサービスなどを聞くことが多い。	1
病院に行ったり、リハビリに行ったりすることが多いため、サービス手続きの簡素化を行ってほしい。頻繁にあるため自分の時間が持てない。	1
風邪をひいても精神薬との兼ね合いで内科だけでは処方してもらえない。あらゆる面でスムーズに行かない。	1
脱走や徘徊などで突然、行方がわからなくなることがあるため、そのような恐れがある人のために本人のことを事前に登録しておける窓口のようなものがあれば良いと思う。発見して保護してくれた人も連絡しやすくなり便利だと思う。	1
介助者自身の体力がなくなり、本人を介助するのがつらくなってきている。	1
外で出ることや人に会うことができない。今すぐどうするという答えは出ないが、将来は福祉の世話になると思う。	1
行き届いた介護を受けていると思う。満足している。	1

今利用している訪問看護で大変助かっている。週3回の入浴と健康管理や会話など。	1
--	---

■経済的支援について

内容	件数
障害者に対応する方法や経済的支援の多様性。	1
老後の資金に不安があるため、老後の生活に困らない程度の年金あるいはサービスがほしい。	1
身体障害の等級に関係なく医療費の補助をしてほしい。現在、2ヶ月に1回の通院代は2万5千円前後を支払っている。身体障害者手帳の4級以下はサービスの保障が少ない。	1
障害者の等級に関係なく、年金は60歳からにしてほしい。	1
障害者年金が少ないため年金法を改正して3倍ぐらいにしてほしい。生活ができない。	1
パートだけの収入では生活ができないため、他に収入ができる補助がほしい。	1
何をするにしても資金が必要である。お金がなくては障害者を幸福をすることはできない。また障害者が自分の力で幸福になれない。その力がない。障害者の周りの人(家族)はほとんど疲弊していることを行政は知らない。そのため家族が制度の内容を理解し、申請することが非常に困難である。障害の重症度をを問わず、資金援助が必要である。また申請方法は今まで以上に簡易にすべきである。経済面で余裕ができれば、障害者の家族も少しは楽になると思う。家族が疲れていては障害者のスキルなどを上げることはできない。	1
プレミアム商品券などを増やしてほしい。	1
病気になってから今までのように仕事以外でアルバイトができなくなり収入が少なくなったため、医療費を負担してもらえことや通院時に使うETCの割引が非常に助かっている。この制度はなくさないでほしい。今も仕事に復帰できておらず、通院は継続しているため本当にありがたいと思っている。	1

■移動支援について

内容	件数
福祉タクシーを運行してほしい。薬の副作用で運転ができないため、タクシーを利用をするが等級が足りないためサービスが受けられない。公共バスの本数は少なく費用がかかる。	1
20年以上、透析で通院しているが、福祉の面で色々と悪くなっていると感じる。交通費などの自己負担額が他市と比較して大きくなっている。交通の利便性にもよるが通院だけではなく、買い物にもタクシーを利用しなければいけない人がいる。支給されているタクシー券だけは補いきれない。新庁舎の前に、まずは苦しんでいる人たちのために力を入れてほしい。	1

視覚障害者に対する配慮が足りないことがある。やすらぎまで行くのにタクシー代がかかり体力がない。	1
田辺地方にない病院に行かなければならないときなど車の運転ができないため、乗り合いで行けるようなサービスがほしい。電車移動だと介助者が1人だとトイレも行けない。	1
タクシーの利用時の割引率が障害の度合いによって変わるため安くしてほしい。タクシーを利用しやすくなれば外出の機会は増えると思う。	1
外出時にタクシーを利用する際に福祉タクシー券を使用しているが、1回あたり500円のため交通費負担が大きいと感じている。	1
将来、自転車に乗れなくなれば公共交通機関のバスが近くにないためタクシー移動になる。年金収入では高額になるため利用しにくい。乗り合いタクシーなど移動手段を考慮してほしい。	1
また買い物や用事などで車に乗せてくれたり、障害者が気付かないようなサービスを考えてほしい。バイクで買い物に行ったりするが、高齢になり不安である。障害者の子を持つ親が安心して子を残していけるように、親亡き後の障害者がひとりぼっちにならないようにしてほしい。今は障害者の友人も多くなり幸せである。友人や仲間がいるのは良いことである。	1
無料で病院まで送迎してほしい。	1
近くにバス停やコンビニがあれば良いと常日頃から思っている。	1
車いすで移動することが多いため、歩道におうつがある危険を感じることもある。歩道ができるだけ平らになるように整備してほしい。	1
住民バスが車対応になり便利になった。	1

■相談について

内容	件数
身近で気軽に相談に乗ってくれたり、悩みを聞いてくれる専門職の人がいてほしい。認知症が進行しており介護者である妻の負担が大きいため現在は施設で世話になっているが、施策が整えば自宅で最後まで暮らしたい。	1
困ったときにいつでも相談できる場所があれば安心、安全に暮らせると思うため、そのような体制が充実することを望んでいる。	1
気楽にカウンセリングしてもらえる機関があれば良いと思う。外出が無理なため電話などで対応してほしい。	1
色々なことが相談できて、まとめてくれるところがほしい。	1
仕事と介護の両立のための制度について。介助者の勤める会社は理解してもらえない。心身共に疲れている。相談窓口が近くにほしい。	1
色々相談できる窓口を多くつくってほしい。色々な個人情報などもあるため個別訪問など専門的な人が来てほしい。	1

こころの医療センターに長年通院している。どうにか1人暮らしをしているが、今後どうなるのか心配である。書類の手続きのことなど気軽に相談ができるところがほしい。今は叔母がいてくれるが、高齢になり介助してもらえなくなるのは間近である。	1
専門の医師が少ないため、治療や薬についての不安など他の意見や相談を聞いてくれるところがほしい。	1

■資質向上について

内容	件数
施設職員の態度がこわいため、施設をよく調べてほしい。市役所の人が施設に来ても、その時だけ施設職員の態度が変わるため利用者に直接話を聞いてほしい。すべての利用者に対して馬鹿にするような扱いでこわい。	1
障害者雇用をしている事業所の従業員に障害者のことを理解してもらえる取り組みを考えてほしい。	1
看護師のサービスが悪い。もう少しやさしい看護師になってほしい。	1
精神科の看護師の中に身体的欠陥を突いてきたり、乱暴に腕を引っ張る人がいた。自分ではどうすることもできないことなので深く傷ついた。	1
介護職の待遇が少しでも良くなってほしい。	1

■適正化について

内容	件数
治療を必要としている人でも受けていない人がいる。そういった人たちに対する方法を考える。	1
介護認定を見直してほしい。介護サービスを必要としない人が利用している。もう一度調査して障害児福祉の人たちに力を入れて支援をしてほしい。	1
バイクで買い物に出かけたり、元気に歩けるような人が介護サービスを受けている。ホームヘルパーを家政婦のように利用したり、介護車でデイサービスに出かけている。このようなサービスは間違っていると思う。自分だけの意見ではないと思う。しっかりと調べたうえで、もっと苦しんでいる人にサービスが行き渡るようにしてほしい。	1

■理解・啓発について

内容	件数
障害者に対する差別や偏見がゼロになるように取り組んでほしいと思う。	1
障害者と健常者が同様に扱われ、障害者にとってさらに暮らしやすく周りの理解があり、宗教などに頼らなくてもさらに心が安心して暮らせる社会になってほしい。障害者はどうしても知識が得難く知らないことばかりであるため、周りに理解がある人が増えてほしい。	1
行政がどんな施策を行っても、この地方特有の「余所者」に対する排他的な雰囲気があるため移住してくる人はつらい思いをする。行政は積極的に有力な企業を誘致し、それに伴って優秀な「余所者」を増やしながらか田辺市民の性格を変えていくしか方法はないと思う。	1
障害者にアンケートで聞くよりも、実際に車いすで行動したり、アイマスクをして杖をついて歩行するなど障害者になる疑似体験をしてみしてほしい。障害者の苦しみや悲しみ、つらさが少しでもわかると思う。その行動する気持ちから心が通じた福祉ができると思う。	1
健常者から上から目線や自分とは違うという思いを感じる。障害者に対する理解力もない。	1
現在、介助は必要なく困ったこともない。今まで通り暮らしていきたい。障害者とレッテルを貼ってひとまとめにせず、個人差があることも理解してほしい。	1
数年前に比べて障害福祉は進んでいると感じるが、まだまだ周囲の理解や施策はどうにかならないかと思うことがある。「障害児」それだけで眉をひそめる人がいる。距離も置かれる。預かってもらえるのはありがたいが、シングルマザーには厳しい。	1
障害者にさせられたことが何十年が経過したとしても良くならず苦勞して生活している。	1
言葉に出せなくても障害者に対する偏見の目はまだまだある。その目を気にすることがあり、理解してくれる人にしか本当のことを話せない。今よりさらに住みやすいまちになれば良いと思う。	1
障害者同士の差別があることや、自尊心の扱いを考える。誰もが自分も障害者になるかもしれないということを考えておく。	1
ある人から障害者の結婚に対する差別的発言を受けて、ひどく傷ついたことがあった。障害者はなりたくてなったわけではない。障害者も一生懸命生きている。夫を亡くし、この先どう生きて行けば良いのか毎日考えてしまう。他にも嫌な思いをした。	1
仕事の上で差別などが少しあると感じるため、これをなくす方向に向かってほしい。例えば運転免許証を所持しているが、障害者枠で就職しているため運転させてもらえないことがある。	1

内容	件数
障害者や高齢者のみならず、弱者に対する疎外感を感じることがある。地域の閉鎖的な感覚は県民性かも知れないが、それだから尚更、障害のことや高齢になることに対する啓蒙する機会をさらに増やしてほしい。表面上だけ理解しているように見せるのではなく、心底からの理解を1人でも多くの人に望みたいと思う。「自分ではない」、「特別な人たちがそうなる」、「遺伝である」と思うかもしれないがそれは違うと思う。明日は我が身である。	1
本人の回答を確認して間違っていると思われるところもあったが、そのままにした。高次脳機能障害のため記憶力に乏しいため色々難しいことが日々あるが、何とかやっけていけている。様々なタイプの障害者がいる以上、すべての人に平等に対応できる制度や仕組みというものは実際上困難であると思う。大事なことは市民1人1人が助け合う気持ちを持つことだと思う。立派な制度や便利な介助・補助用具よりも相手を思いやる心が一番大切だと思う。	1
人工透析を受けているが人から馬鹿にされて困っている。相談する相手もいない。	1
障害者手帳の等級の線引きがわからない。	1
最近ではペットを飼っている人が多く、家族の一員であると思っている人が多くいる。しかし避難所にはペットを連れて行けないことになっているため、自宅や車での避難となり危険が伴うことになると思う。各地域に何ヶ所かペット同伴が可能な避難所を開いてほしい。	1

■配慮について

内容	件数
障害者専用駐車場スペースで「車いす」のみの表示しかない。	1
雨の日は非常に困るため、車の乗り降りができるスペースを増やしてほしい。	1
車いすで出かける場所が限られている。トイレがなかったり、外に食べに行ける店も少ない。さらに障害者の駐車スペースに明らかに障害者ではない人の車が停まっていることが多い。娘が2歳で本人である夫が車いすのため2人連れでゆっくり買い物をしたり外食ができない。	1
主に紀南病院にかかっているが、障害者用駐車場に屋根がなく雨の日などは大変である。オムツを替えたくてもベッドがない。赤ちゃん用のベッドでは小さすぎる。	1
市内のすべての病院には障害者のおむつ替えをするところがない。	1
災害時の高齢者や障害者の避難場所での配慮や運営について考えてほしい。障害の程度によって問題はあがるが、食事や排せつの問題は深刻である。	1
息子は自閉症で聴覚過敏がある。災害時の避難場所に行くと人が多いためパニックを起こしてしまうと思う。段ボールの仕切りではなく、別室を用意してほしい。	1
災害時の福祉避難所が近くになく、また地域柄に障害者に対する偏見が強いため避難所にも行けない。福祉避難所をわかりやすいマップにしてほしい。	1

内容	件数
小学校で手話教室があるが1年に1回では理解してもらえない。また障害者の集いには参加できるが、町内会の集いには手話通訳者がいないため参加できない。子どもも大人も含めて手話教室をさらに行ってほしい。最低でも公民館に1人は手話通訳者がいるようにしてほしい。公民館で講演があった場合は手話通訳者は2～3名必要である。市に1人だけだと人手が足りない。障害者たちは知識がないのではなく、経験する場を奪われている。身体障害者連盟には聴覚部がない。手話のできない聴覚障害者も困っていると思う。	1

■不安について

内容	件数
親亡き後に1人になる本人の将来のことが不安であるが、相談するところがない。今まで色々な人たちに聞いてみたが解決方法が見つからない。	1
親亡き後の本人は生きていけないと思う。これは施策や制度の問題ではない。	1
障害のため引きこもりの人が高齢になり、親も亡くなった場合の生活や、さらに近所づきあいもなく、経済的なことや日常生活の支援は誰が行うのかなどを考えないと、家族や親族の負担が重くなるだけだと思う。	1
本人が毎日仕事ができるのは福祉センターや勤務先の人たちのおかげであり感謝している。ただ将来、本人が1人になった時、手帳の認定の手続きや色々な申請が本人にはできないため不安である。	1
知的障害者である本人と母との2人暮らしである。母も病気のため、本人が家事を主に行っている。作業所に通っているが、やはり将来が不安である。自宅は持ち家で、田辺市在住の姉が週に2回位来てくれている。	1
作業所である程度訓練してから就職したい。しかし年齢的に就職するのは難しいと思う。父親亡き後のことが心配である。	1
主な介助者が高齢で死亡した後のことが気になる。また本人が高齢になったり病気になったときに心配である。	1
介助者である親がいなくなったときのことが心配である。本人に兄弟はいるが県外に住んでいるため1人になってしまう。ほとんどの日常生活のことは自分ができるが、考えることや理解することが遅いと思う。	1
ショートステイ、グループホーム、入所施設が足りない。将来、親が高齢になったとき不安で仕方がない。田辺市は海拔の低いところが多い。自宅は高台だが作業所は低いところにあるため津波が一番最初にくるところだと言われている。施設も古いいため不安である。	1
一番世話になっている兄夫婦が高齢になってきているため、将来、面倒をみてくれないと思うと不安である。自立援助でホームヘルパーを派遣をしてくれるため助かっている。	1

内容	件数
精神障害者の兄を長年面倒をみてきたが、自分も高齢になり大変である。今、本人は福祉施設に入所しているが、病院の送迎や市役所からの書類の返信など対応することが難しくなった。自分自身も糖尿病のため、これから先のことを考えると憂鬱である。長い期間になるため疲れてきた。	1
今、現在の時点では自宅で妻の介助を受け、デイサービスを利用しながら過ごしているが、お互いに介助の経験や知識がないため、何年後かには運動神経や体力が低下して介助が維持していけるのか不安である。	1
老々介護の状態で介護者が病気になったときのことを考えると不安要素が多く、ストレスがたまる。	1
今はまだすべてのことが1人で行えるが、将来のことを考えると不安である。	1
まだまだ子どもが小さいため何をして何をすべきかまだわからないが、親としてもどのような大人になってどうなっていくのかがわからない。	1
今のところは介助者としてはまあ健康ではあるが、あと10数年先のことを考えると不安である。施設入所やグループホーム入所を希望しているが、今のところ不足していると聞き大変不安である。親としてどのように行動すれば良いのか教えてほしい。	1
だんだん年を重ねるごとに色々な不安が募る。本人である夫は歩行困難になり外出が難しい。息子も統合失調症で、今は作業所へ行っているが、片付けや洗濯、食事をつくることなどあまりできないため不安である。	1
高齢者の2人暮らしだが、子どもが2人おり子どもの配偶者も含めて世話をよくしてくれる。この頃は物忘れが多少多くなってきたと感じる。火の元だけは注意をしている。去年、手首を骨折して右手が一切不自由になり字がうまく書けなくなった。	1
自宅では身の回りのことはできるが、避難時や外出時はできないことが増える。	1
現在、本人が人間関係のことで悩んでいる。相談しても解決方法が見つからず、親としても困っている。	1
ケアマネジャーは親切で良く世話をしてくれている。施設の人たち大変良くしてくれて感謝している。災害のことを考えると迷惑をかけるのが心苦しい。近所も高齢者ばかりのため、お互いに自分の心配をしなければならない状態である。ケアマネジャーと相談して良い方向に向かうようにしたい。	1

■新型コロナウイルス感染症について

内容	件数
現在、放課後等デイサービスを利用しているが、医療ケア(吸引、胃ろう)があるため利用時間が朝10時からと決められている。他児は9時から利用している。看護師が送迎に出ていないため10時となっている。新型コロナウイルス感染症の影響で学校が休校の間は9時出勤の仕事のため間に合わない以前から10時までの間は日中ショートを利用していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で預かってもらえない。自分の時間に合った色々なサービスがあれば助かる。	1
リハビリに行きたいが、新型コロナウイルス感染症の影響のためあまり家から出たくない。ホームヘルパーが来てくれて助かっているが、ホームヘルパーが感染していないか不安である。	1

■その他

内容	件数
いつもありがとうございます。	2
認知症があるため、すべて施設に任せている。	1
認知症が少しずつ進行している夫を支え、自分自身も身体的に老いを感じているが、今のところ元気に過ごしている。様々なアンケートに参加しているが、自分も頑張らなければいけないと感じる。今後も支援を続けてほしい。	1
約10年前から歩行困難になり、現在は息子と2人で生活をしている。息子も昨年の秋にガンになり手術した後も通院をしている。あまり迷惑をかけないように自分でできる範囲でがんばっている。息子も仕事をしながら通院し、面倒をみてくれている。若い人たちには買い物に行くと助けてくれ感謝している。	1
自宅にいる息子の支援をしながら生活しているが、やがて行き詰まるときが来ると思う。生きている限り世話にならないように努めて常に身の回りの整理をしようと思う。暑さと新型コロナウイルス感染症に負けないでがんばりたい。	1
膝関節痛はあるが、大難を小難と思って感謝してあまり不足を口にせず暮らしている。世話になり大変感謝している。今後もお願いしたい。	1
現状に満足している。	1
本人は自分でできることはできるだけ行うようにしている。介護者である親も病気になり体に不安を持っているが、本人も気をつけてくれている。これからも2人で力を合わせて頑張っていきたい。気になることや不便に思うことがあれば相談に乗ってほしい。	1
できる限りのことをする。	1
自分は統合失調症ではないと思う。薬の影響だと思う。	1
昨年1月に障害者手帳が交付されたが、普通の生活を送っているため障害者という意識がない。現在は健常者だと思っている。	1
人が嫌い。	1

内容	件数
平和な暮らしができるように願っている。	1
オークワオーシティは長く営業してほしい。	1